

1997（平成9年）年度

講義内容

全学共通科目

駒澤短期大学

1997(平成9)年度 学年暦

二 は全学休業日

日	月	火	水	木	金	土
4月(平成9年)						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
5月						
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
6月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					
7月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
8月						
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
9月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

3日~7日 教務部(新入生)オリエンテーション
 4日~7日 在校生成績発表
 8日 入学式
 9日~11日 新入生オリエンテーション
 9日~10日 外国語科目履修事前登録日
 7日~12日 在校生在籍確認
 12日 前期授業開始
 12日~18日 在校生成績質疑応答
 14日~15日 教養教育科目等履修事前登録日
 14日~18日 事前登録結果発表日
 23日~25日 履修届受付
 ※学科により曜日が異なる

12日~17日 履修届訂正期間
 26日 卒業論文論題受付開始
 (~6月10日)

10日 卒業論文論題受付締切(正午)

12日~18日 中間試験および
 前期終了科目定期試験
 ※授業平常どおり
 前期授業最終日
 19日 生涯スポーツ実習集中授業
 20日~24日 夏季休業開始(~9月15日)
 21日 前期終了科目定期試験欠試験
 24日 (追試験申込)受付締切
 27日~29日 全学休業

8日~18日 全学休業

1日~5日 前期補講期間
 8日~12日 生涯スポーツ実習(シーズン・ゴルフ)
 16日 後期授業開始
 18日~19日 前期終了科目定期試験成績発表
 成績質疑応答および再試験申込受付
 24日~26日 外国語指定届受付
 ※仏教・文(除英米文・社会)・経済学部
 26日 前期終了科目追再試験(~10月2日)
 ※授業平常どおり
 25日~26日 専攻コース指定届受付
 (歴史学科1年次生)

日	月	火	水	木	金	土
10月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
11月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
12月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
1月(平成10年)						
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
2月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
3月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

15日 第115回開校記念日

4日~10日 編入学試験願書受付
 11日~14日 転部・転科試験願書受付
 19日~20日 教職課程資格講座受講
 登録ガイダンス

1日~10日 卒業論文受付
 ※最終日は正午まで
 7日 編入学・転部・転科試験
 21日 冬季休業開始
 (~10年1月7日)
 22日~24日 後期補講口
 21日~25日 生涯スポーツ実習集中授業

8日 後期授業再開
 14日 後期授業最終日
 16日~24日 定期試験(専門・教職科目)
 26日~31日 定期試験
 (宗教・教養教育・
 外国語・保健体育科目)

5日 定期試験欠試験(追試験申込)
 受付締切
 5日 卒業論文口頭試問
 16日~17日 成績発表(学部4年次生・短大生)
 および再試験申込受付
 16日~20日 生涯スポーツ実習
 (シーズン・スキー)
 20日~26日 退・再試験

19日 卒業生名簿発表
 25日 卒業式
 26日~31日 春季休業

講義内容(短大)

目次

I 全学共通科目

1 宗教教育科目	3
2 教養教育科目	
(1) 人文分野	15
(2) 社会分野	37
(3) 自然分野	65
(4) 総合分野	93
3 外国語科目	107
4 保健体育科目	169

II 全学共通科目 (夜間開講)

1 宗教教育科目	197
2 教養教育科目	
(1) 人文分野	201
(2) 社会分野	209
(3) 自然分野	219
3 外国語科目	229
4 保健体育科目	235

1 宗教教育科目

《必修科目》

仏教と人間	(石井 公成)	3
仏教と人間	(袴谷 憲昭)	4
仏教と人間	(奥野 光賢)	5
仏教と人間	(木村 誠司)	5
仏教と人間 (前期)	(角田 泰隆)	6
仏教と人間 [再クラス]	(石井 清純)	6
仏教と人間 [再クラス]	(田中 良昭)	7
仏教と人間 [再クラス] (前期)	(石井 公成)	7

《選択科目》

文化と宗教	(長谷部 八朗)	11
社会と宗教	(佐藤 憲昭)	11
坐 禅 (前期), (後期)	(木村 誠治)	12
日本仏教史 (前期)	(石井 公成)	12

2 教養教育科目

(1) 人文分野

文 学 (1), (2)〔日本文学「古典」〕	(平野 由紀子) ……………	15
文 学 (3), (4)〔日本文学「古典」〕	(増尾 聡 哉) ……………	16
文 学 (5), (6)〔日本文学「近代」〕	(川島 淳 史) ……………	16
文 学 (7)〔日本のことば〕	(齋藤 明 美) ……………	17
文 学 (8)〔外国文学「アメリカ文学」〕	(田中 保) ……………	17
文 学 (9)〔外国文学「フランス文学」〕	(前田 祝 一) ……………	18
文 学 (10)〔外国文学「中国文学」〕	(田熊 信 之) ……………	18
文 学 (12)〔日本文学「近代」〕	(小林 治) ……………	19
歴史学 (1)〔日本中世史〕	(粟野 俊 之) ……………	19
歴史学 (2)〔中国古典考古学〕	(茂沢 方 尚) ……………	20
歴史学 (3)〔東洋古代史〕	(茂沢 方 尚) ……………	20
歴史学 (4)〔西洋近現代史〕	(渡辺 知) ……………	21
歴史学 (5)〔日本近世史〕	(木槻 哲 夫) ……………	21
歴史学 (6)〔日本近代史〕	(立川 章 次) ……………	22
芸術学 (1)〔日本美術〕	(中島 亮 一) ……………	22
芸術学 (2)〔西洋美術〕	(矢野 陽 子) ……………	23
芸術学 (3)〔音楽〕	(赤羽 由規子) ……………	23
哲学 (1), (2), (3)〔西洋思想の源流〕	(寺田 誠一・久保 陽一・戸田 洋樹) ……	24
哲学 (4), (5), (6)〔近代の人間観と世界観〕	(国嶋 一則・戸田 洋樹・仲正 昌樹) ……	24
哲学 (7), (8), (9)〔現代文明と人間〕	(久保 陽一・丸山 豊樹・大石紀一郎) ……	25
論理学 (1), (3), (4), (8)〔科学方法論と現代論理学〕	(大石紀一郎・仲正 昌樹・伊古田 理・小宮山 隆) ……	25
論理学 (2), (5), (6), (7)〔科学方法論と現代論理学〕	(寺田 誠一・戸田 洋樹・丸山 豊樹・山口 祐弘) ……	26
科学史 (1)〔科学と技術〕	(山本 敦 之) ……………	27
科学史 (2)〔近代科学の成立と展開〕	(小宮山 隆) ……………	28
倫理学 (1), (2)〔人間観〕	(国嶋 一 則) ……………	28
倫理学 (3)〔価値観〕	(国嶋 一 則) ……………	29
倫理学 (4)〔自由論〕	(国嶋 一 則) ……………	29
倫理学 (5)〔制度とモラル〕	(久保 陽 一) ……………	30
倫理学 (6)〔東洋倫理〕	(末木 恭 彦) ……………	30
宗教学 (1)〔比較宗教文化〕	(松田 文 雄) ……………	31
宗教学 (2)〔聖と俗〕	(佐々木 宏 幹) ……………	31
宗教学 (3)〔思想と儀礼〕	(佐藤 憲 昭) ……………	32
宗教学 (4)〔組織と運動〕	(洗 建) ……………	32
人文地理学 (1), (2)〔風土と文化〕	(矢野 陽 子) ……………	33
人文地理学 (3), (4)〔空間と行動〕	(多田 統 一) ……………	33

2 教養教育科目

(2) 社会分野

社会学 (1) [現代社会を考える]	(呉 炳 三)	37
社会学 (2) [現代社会を考える]	(橋 爪 敏)	37
社会学 (3) [現代文化を考える]	(橋 爪 敏)	38
社会学 (4) [現代文化を考える]	(呉 炳 三)	38
社会学 (5) [社会生活を考える]	(岩 上 真 珠)	39
社会学 (6) [社会生活を考える]	(橋 爪 敏)	39
統計学 (1) [社会現象の統計的分析]	(稲 葉 敏 夫)	40
統計学 (2) [社会現象の統計的決定]	(日 下 泰 夫)	40
文化人類学 (1) [文化と人間]	(佐 藤 憲 昭)	41
文化人類学 (2), (3) [文化と人間]	(藤 崎 康 彦)	41
文化人類学 (4) [諸民族とコスモロジー]	(杉 井 純 一)	42
文化人類学 (5), (6) [諸民族とコスモロジー]	(村 武 慶)	42
文化人類学 (7) [社会変化と価値観]	(小 川 順 敬)	43
文化人類学 (8), (9) [社会変化と価値観]	(内 山 明 子)	44
法学・憲法 (1) [法と社会生活]	(長谷川 日出世)	44
法学・憲法 (2), (3) [法と社会生活]	(和 知 恵 一)	45
法学・憲法 (4) [法と社会生活]	(鷄 徳 啓 登)	46
法学・憲法 (5) [法と権利]	(和 知 恵 一)	47
法学・憲法 (6) [法と権利]	(西 修)	48
法学・憲法 (7), (11) [法と権利]	(茂 野 隆 晴)	49
法学・憲法 (12) [法と権利]	(光 田 督 良)	50
法学・憲法 (8) [法と国家]	(新 田 浩 司)	51
法学・憲法 (9) [法と国家]	(齋 藤 洋)	51
法学・憲法 (10) [法と国家]	(織 田 晃 子)	52
政治学 (1) [社会生活とデモクラシー]	(小 林 正 敏)	53
政治学 (2) [政治システムと政治参加]	(上 條 末 夫)	54
政治学 (3) [国際社会と日本]	(浦 田 早 苗)	55
経済学 (1) [現代社会と市場経済]	(浅 田 統一郎)	55
経済学 (2) [現代経済と人間]	(松 井 柳 平)	56
経済学 (3), (4) [現代経済理解へのガイド]	(小 野 俊 夫)	57
社会科学論 [社会認識の思想]	(大 石 雄 爾)	58
教育学 [デス・エデュケーション]	(柳 堀 素 雅 子)	59
教育心理 [大学生の心理 — 教育臨床心理学の立場から —]	(北 島 步 美)	59
社会学 (前期)	(橋 爪 敏)	60
法学 (後期)	(織 田 晃 子)	60
心理学 (前期)	(北 川 公 路)	61

2 教養教育科目

(3) 自然分野

生物学 (1), (2) [生態と進化]	(清水 善和)	65
生物学 (3) [生物と環境]	(中村 敏枝)	65
地球科学 (1) [地球の歴史と未来]	(宇和川 正人)	66
地球科学 (2), (3), (4) [古環境の復元]	(猪郷 久義)	67
地球科学 (5), (6) [自然景観の成り立ち]	(市川 清士)	67
自然環境論 (1), (2), (3), (4), (10) [自然と災害]	(宇和川 正人)	68
自然環境論 (5), (7) [環境と保全]	(漆原 和子)	68
自然環境論 (6) [環境と保全]	(村田 昌彦)	69
自然環境論 (8), (9) [環境と保全]	(安羅岡 一男)	69
自然環境論 (11) [宇宙から見た地球環境]	(篠原 正雄)	70
自然誌 (1) [現代の自然像]		
(篠原 正雄・清水 善和・漆原 和子・三好 重明)		71
自然誌 (2) [現代の自然像]		
(篠原 正雄・清水 善和・漆原 和子・三好 重明)		72
数学 (1) [無限と連続]	(三好 重明)	73
数学 (2), (3) [図形とベクトル]	(福田 賢一)	73
情報数学 [情報と論理]	(三好 重明)	74
物理学 (1), (2) [光と物質]	(篠原 正雄)	74
化学 [衣食住の化学]	(斉藤 佑尚)	75
宇宙科学 (1), (2) [星と銀河]	(篠原 正雄)	75
コンピュータ基礎 (1), (5) [コンピュータと情報]	(三好 重明)	76
コンピュータ基礎 (2), (3) [コンピュータと情報]	(竹田 洋一)	77
コンピュータ基礎 (4) [コンピュータと情報]	(佐久間 拓也)	78
人類学 (1), (2) [人類の進化]	(遠藤 萬里)	78
心理学 (1) [ヒューマン・ウォッチング]	(高橋 良博)	79
心理学 (2) [ヒューマン・ウォッチング]	(横山 剛)	79
心理学 (3) [ヒューマン・ウォッチング]	(北川 公路)	80
心理学 (4) [ヒューマン・ウォッチング]	(牧野 晋)	81
心理学 (5), (7) [人間関係を考える]	(高橋 良博)	82
心理学 (6) [人間関係を考える]	(鈴木 順一)	82
心理学 (8) [人間関係を考える]	(北川 公路)	83
心理学 (9) [心を科学する]	(高橋 良博)	84
心理学 (10) [心を科学する]	(軽部 幸浩)	84
心理学 (11) [心を科学する]	(北川 公路)	85
心理学 (12) [心を科学する]	(中丸 茂)	86
基礎物理学 (前期)	(清水 忠良)	87
基礎化学 (後期)	(田島 隆)	88
計算機言語概論 (前期)	(杉田 徹)	89
基礎数学 (前期)	(清水 忠良)	89
基礎生物学 (後期)	(清水 善和)	90

2 教養教育科目

(4) 総合分野

総合Ⅲ (1)〔人権と社会問題〕	(ピアス, D. M.)	93
総合Ⅲ (2)〔欧米の教育と日本の教育〕	(岡崎 寿一郎)	93
総合Ⅲ (3)〔現代中国文学を読む〕	(前期: 釜屋 修・後期: 塩旗伸一郎)	94
総合Ⅳ (1)〔南インドの宗教と社会〕	(西村 祐子)	95
総合Ⅳ (2)〔アメリカの黒人問題〕	(中尾 俊光)	96
総合Ⅳ (3)〔ポスト・モダンの世界〕	(丸小 哲雄)	97
総合Ⅴ (1)〔イギリス文化探訪〕	(川股 陽太郎)	98
総合Ⅴ (2)〔ドイツ文化論〕	(柴野 博子)	99
総合Ⅴ (3)〔スペイン語圏の歴史と文化の諸相〕	(上野 勝広)	99

3 外国語科目

《必修・選択必修科目》

〔英語〕

英語 I	(田中保)	107
英語 I	(大川浩)	107
英語 I	(町田尚子)	108
英語 I	(高野秀夫)	108
英語 I	(吉沢栄治郎)	109
英語	(町田尚子)	109
英語	(田中保)	110

〔ドイツ語〕

ドイツ語 I	(吾妻雄次郎)	113
ドイツ語 I	(吉田文子)	113
ドイツ語	(吾妻雄次郎)	114
ドイツ語	(吉田文子)	114

〔フランス語〕

フランス語 I	(竹田正純)	117
---------	--------	-----

〔中国語〕

中国語 I	(伊禮智香子)	121
中国語 I	(弘兼加奈子)	121

〔スペイン語〕

スペイン語 I	(佐藤紘子)	125
---------	--------	-----

《必修・選択必修科目 再履修クラス》

英語 I	〔再クラス〕(本間俊一)	129
英語	〔再クラス〕(伊勢村定雄)	129
ドイツ語 I	〔再クラス〕(百済勇)	130
ドイツ語	〔再クラス〕(百済勇)	130
フランス語 I	〔再クラス〕(浜崎設夫)	131
中国語 I	〔再クラス〕(李雲)	131
スペイン語 I	〔再クラス〕(佐藤麻里乃)	132

《選 択 科 目》

英 文 講 読〔英語聖書〕	(清 水 祐 次)	135
英 文 講 読	(矢 島 直 子)	135
英 文 講 読	(前 田 脩)	136
時事英語研究	(河 内 賢 隆)	136
時事英語研究	(林 明 人)	137
時事英語研究	(宇都宮 秀 和)	137
マルチ・メディア	(落 合 和 昭)	138
マルチ・メディア	(大 庭 直 樹)	139
マルチ・メディア	(西 村 祐 子)	140
英 会 話 Ⅱ	(ピアス, D. M.)	141
英 会 話 Ⅱ	(ベンディネリィ, P. A.)	141
英 会 話 Ⅱ	(シグラー, P. M.)	142
英 会 話 Ⅲ	(ランダー, J. S.)	143
英 会 話 Ⅲ	(ウェルズ, J. K.)	143
英 会 話 Ⅲ	(デンドウ, G.)	144
英 語 LLⅡ	(ピアス, D. M.)	145
英 語 LLⅡ	(西 村 祐 子)	145
英 語 LLⅡ	(風 間 則比古)	146
英 語 LLⅢ	(岩 山 義 春)	147
英 語 LLⅢ	(西 村 祐 子)	147
英 語 LLⅢ	(大 澤 ひさ子)	148
ド イ ツ 語 IA (選)	(栗 原 万 修)	148
フ ラ ン ス 語 IA (選)	(井 田 清 子)	149
中 国 語 IA (選)	(河 村 昌 子)	149
ス ペ イ ン 語 IA (選)	(ナバローポロ, L. S.)	150
ド イ ツ 語 IB (選)	(織 田 繁 美)	150
フ ラ ン ス 語 IB (選)	(遠 山 博 雄)	151
中 国 語 IB (選)	(小 川 隆)	151
ス ペ イ ン 語 IB (選)	(瓜谷 アウロラ)	152
ド イ ツ 語 Ⅱ (選)	(志 真 斗美恵)	152
フ ラ ン ス 語 Ⅱ (選)	(伊 藤 な お)	153
中 国 語 Ⅱ (選)	(曾 根 博 隆)	153
ス ペ イ ン 語 Ⅱ (選)	(ナバロ, ホワン J.)	154
英 語 I	(田 中 保)	154
英 語 I	(大 川 浩)	155
英 語 I	(町 田 尚 子)	155

英 語 I	(高 野 秀 夫)	156
英 語 I	(吉 沢 栄治郎)	156
ド イ ツ 語 I	(吉 田 文 子)	157
ド イ ツ 語 I	(吾 妻 雄次郎)	157
フ ラ ン ス 語 I	(竹 田 正 純)	158
中 国 語 I	(伊 禮 智香子)	158
中 国 語 I	(弘 兼 加奈子)	159
ス ペ イ ン 語 I	(佐 藤 紘 子)	159
英 語 II	(伊 藤 幸 一)	160
英 語 II	(滝 静 寿)	160
英 語 II	(吉 沢 栄治郎)	161
英 語 II	(熊 崎 久 子)	161
ド イ ツ 語 II	(吾 妻 雄次郎)	162
フ ラ ン ス 語 II	(加 藤 節 子)	162
中 国 語 II	(天 野 節)	163
ス ペ イ ン 語 II	(丹 羽 昌 一)	163

4 保健体育科目

《必修科目》

スポーツ実技「ソフトボール」	(田中佳孝)	169
スポーツ実技「室内球技」	(村松 誠・秋田 浩一)	169
スポーツ実技「テニス」	(高橋俊介)	170
スポーツ実技「ゴルフ」	(三幣晴三)	171
スポーツ実技「卓球」	(秋田浩一)	172
スポーツ実技「屋外球技」	(高橋俊介)	173
保健理論(前期)〔短放〕	(吉田 稔)	173

《必修科目・再履修クラス》

スポーツ実技〔再クラス〕	(長濱友雄)	174
スポーツ実技(前期),(後期)〔再クラス〕		
スポーツ実技〔再クラス〕	(竹田幸夫)	175
スポーツ実技(前期),(後期)〔再クラス〕		

《選択科目》

生涯スポーツ実習 1・2 (前期),(後期)	(長濱友雄)	179
生涯スポーツ実習 3・4 (前期),(後期)	(大石武士)	180
生涯スポーツ実習 5 (前期),(後期)	(大石武士)	180
生涯スポーツ実習 6・7 (前期),(後期)	(宮沢栄作)	181
生涯スポーツ実習 8 (前期),(後期)	(宮沢栄作)	182
生涯スポーツ実習 9・10 (前期),(後期)	(長濱友雄)	183
生涯スポーツ実習 12・13 (前期),(後期)	(牧野 茂)	184
生涯スポーツ実習(シーズン・スキー)	(竹田幸夫)	185
生涯スポーツ実習(シーズン・ゴルフ)	(三幣晴三)	186
生涯スポーツ実習(集中・前期)	(江口淳一)	187
生涯スポーツ実習(集中・後期)	(江口淳一)	188
生涯スポーツ実習(集中・後期)	(三幣晴三)	189
保健体育理論(前期)	(田中佳孝)	190
保健体育理論(前期)	(村松 誠)	191

Ⅱ 全学共通科目 (夜間開講)

1 宗教教育科目

仏教と人間 (前期)〔再クラス〕	(大西龍峯)	197
------------------	--------	-----

2 教養教育科目

(1) 人文分野

文 学〔日本文学-古典-〕	(山下哲郎)	201
文 学〔日本文学-近代-〕	(大泉政弘)	201
歴 史 学〔日本近代史〕	(林 彰)	202
歴 史 学〔中国古代史〕	(茂澤方尚)	202
歴 史 学〔中国古代思想史〕	(茂澤方尚)	203
哲 学〔西洋思想の源流〕	(河谷 淳)	203
哲 学〔近代の人間観と世界観〕	(伊古田 理・小宮山 隆)	204
論 理 学〔科学方法論と現代論理学〕	(丸山 豊 樹)	204
論 理 学〔科学方法論と現代論理学〕	(山本 敦 之)	205
倫 理 学〔西洋倫理学〕	(末木 恭彦・河谷 淳)	205

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と社会生活〕	(長谷川 日出世)	209
法学・憲法〔法と権利〕	(光 田 督 良)	210
経 済 学〔現代経済と人間〕	(明 瀬 政 治)	211
社 会 学〔現代社会を考える〕	(橋 爪 敏)	211
社 会 学〔現代文化を考える〕	(橋 爪 敏)	212
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	(杉 井 純 一)	213
文化人類学〔文化と人間〕	(安 倍 幸)	214
政 治 学〔政治システムと政治参加〕	(宝 利 尚 一)	214
政 治 学〔国際社会と日本〕	(山 田 敦)	215
統 計 学〔社会現象と統計的決定〕	(日 下 泰 夫)	215
社会科学論〔社会認識の思想〕	(阿 部 弘)	216

(3) 自然分野

心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	(鈴木 順一)	219
心理学〔人間関係を考える〕	(鈴木 順一)	219
生物学〔生物と環境〕	(中村 敏枝)	220
生物学〔生態と進化〕	(清水 善和)	220
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	(三好 重明)	221
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	(竹田 洋一)	222
地球科学〔自然景観の成立ち〕	(漆原 和子)	223
地球科学〔自然景観の成立ち〕	(村田 昌彦)	223
自然環境論〔環境と自然保護〕	(清水 善和)	224
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	(篠原 正雄)	224
情報数学〔情報と論理〕	(三好 重明)	225

3 外国語科目

《選択必修科目》

英 語 I・〔再クラス〕 (岡 崎 寿一郎)	229
英 語 II (石 原 孝 哉)	229
ド イ ツ 語 I・〔再クラス〕 (柴 野 博 子)	230
フ ラ ン ス 語 I・〔再クラス〕 (八 木 明 美)	230
中 国 語 I・〔再クラス〕 (宮 本 厚 子)	231
ス ペ イ ン 語 I・〔再クラス〕 (丹 羽 昌 一)	231
ロ シ ア 語 I・〔再クラス〕 (廣 田 英 靖)	232

《選択科目》

英 会 話 I (イセトーブ・スーザンバージ)	232
-------------------------	-----

4 保 健 体 育 科 目

健康・スポーツ論（前期）	（長 濱 友 雄）	235
健康・スポーツ論（前期）	（竹 田 幸 夫）	236
健康・スポーツ実習（卓球）	（宮 沢 栄 作）	237
健康・スポーツ実習（トレーニング&ニュースポーツ）		
	（大 石 武 士）	238
健康・スポーツ実習（バドミントン）	（広 谷 五 郎）	239
健康・スポーツ実習（バドミントン）	（三 幣 晴 三）	240
健康・スポーツ実習（卓球）	（丸 山 精 一）	241
健康・スポーツ実習（空手道）	（和 田 實 正）	242

I 全学共通科目

1 宗教教育科目

必修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いし い こう せい 石 井 公 成	短 国 1 必	4

講義のねらい

釈尊に始まる仏教の基本的な立場、インド・中国・朝鮮・日本などの仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について十分な理解を得、宗教に関する様々な問題について自分で調べ、また考えることができるようになることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

原始仏教の基本的な立場を明らかにしたうえで、仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について講義する。その際は、受容と変容の過程に注意し、仏教以外の宗教との違いやまた呪術的な習俗とのかかわりなどにも注意する。

履修上の留意点

一人一人に頻繁に質問を行うほか、問題によっては討論を行うこともあるため、進んで取り組む態度が必要である。

成績評価の方法

試験の成績を重視し、あわせて講義に積極的に参加しようとしたかどうかを考慮する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

平川彰著『インド・中国・日本 仏教通史』春秋社 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	はかま 袴 や 谷 のり 憲 あき 昭	短 国 1 必	4

講義のねらい

“Un enfant n'est pas un homme (子供は人間ではない)”とパスカルは言い、デカルトもまた、その主著『方法序説』の第2部で、これと同じ考えを更に明確に述べている。私たちもまた「人間」になるために成長してきたはずであるが、しかし、今日ほど「人間」になることが疎んじられている時代もそう多くはないのではあるまいか。確かに、皆んな不可避免的に大人になるのではあるが、大人が必ずしもそのまま「人間」であるわけではない。否、もしかしたら、現在は、子供や動物の純粋さのまま大人になっている人の方が讃美され、敢えて真剣に「人間」になる必要はないとすら思われている風潮が根強いのかもしれない。講義のねらいは、そのような現代的風潮に異議申し立てを試みることによって、「人間」とはなにか、ということ、「仏教」の批判的考察を通じて明らかにしていくことにある。この講義を通して、「上祐史浩はなぜ9年間セックスをしていないと公言したか」「動物よりも人間の方が穢れているとなぜ言えるか」「世の人々は修行それ自体は純粋だとなぜ言うのか」などというような問題に対して、自分で考えて答えを出せるようになってもらえれば、この講義のねらいはほぼ果されたと考えて頂いてよい。

講義の内容・授業スケジュール

デカルトによれば、「人間」とは、言葉 (parole) と理性 (raison) をもって「考える (penser)」人のことである。従って、彼は、「私は考える、それゆえに私はある (Je pense, donc je suis. : I think, therefore I am).」と言ったのであり、それは、もし「考える」ことから出発しなければ、仮に「私が」事実として存在するとしても、その「私」は、「人間」になり切れない単なる子供であるか、さもなければ限りなく動物に近い存在であるしかない、ということの意味する。しかるに「考える」ことをデカルトのように重視しなければ、その対極には、子供や動物や自然の純粋さを讃美する意見が屹立するであろう。講義では、そのような例として、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』を取り上げて、子供の純粋さとはいかなるものであるかということを若干分析し、これに関する様々な考察も行うことにしたい。このようにして、同じヨーロッパの文化伝統の中においても、「考える」ことを重視する人とそうでない人のいることをしっかりと見据えた後に、「仏教」の考察に移る。なぜこのような段取りをつけるかということ、かかる過程を経ることによって、実はその成立の第一歩は「考える (manasikaroti, 作意)」ことから始まった仏教も、次第に「考える」ことを無視する精神主義によって骨抜きにされていった様子がよりよく理解してもらえるのではないかと思うからである。さて、その「考える」ことから出発した仏教は、「思想 (dṛṣṭi, 見)」と「習慣 (śīla, 戒)」とを峻別し、前者については言葉による論議によって「誤った思想 (邪見)」を捨てて「正しい思想 (正見)」を選択していかなければならないとしたが、後者については正邪を決し難い無記であるとした。仏教は、その後者のインド的習慣を自明のごとくに支配しているインド精神即ちアートマン (ātman, 靈魂) は存在しないということ、前者の思想の上で主張したのである。端的に言えば、仏教はインドの精神主義を否定したのであるが、仏教を標榜しながらも「考える」ことを無視してかかる精神主義を讃美する人は跡を断つこともない。それは、「仏教」を建学の理念に掲げる駒澤大学においてさえ、建学の「精神」という言葉を平気で口にする人の多いことを見ればわかることである。この講義は、本学の建学の理念である仏教についての誤解を正すための機会でもあるということであるから、学内に、「清く・明るく・直き・まことの心」が仏教の「精神」でもあるかのような、とんでもない発言をする人がいれば、それがなにゆえに誤りであるかを丁寧に説明するであろう。また、日本の仏教については、法然と明恵との根本的差異から説き起していくことにしたい。

履修上の留意点

出席はとらないが、できるだけ参加して自分で考えるチャンスにしてもらいたい。

履修上の留意点

学年末の定期試験によって評価する。

教科書

デカルト『方法序説』、野田又夫訳 (中公文庫540円)。

参考書等

サン＝テグジュペリの『星の王子さま』は、内藤濯訳で、岩波少年文庫に収められている。英訳には、Katherine Woods訳、*The Little Prince*、があり、A Harvest Bookとして刊行されていて、入手も容易である。

その他

授業方法は、原則として、講義形式であるが、できるだけ一緒に考える機会はつくりたいと思っている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	おくの野みつよし 奥 野 光 賢	短 英 1 必	4

講義のねらい

本授業は「仏教の教義」を建学の理念とする本学の特色を踏まえ、仏教の基本的教え、ものの見方、人間観といったことの教授を主たる目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、釈尊の伝記、中道、四聖諦、八正道といった仏教の基本的教えの解説を中心とし、あわせてインド・中国・日本の仏教の歴史についても目を配り概説する予定である。また、後期はプリントを配布して実際に仏教を学ぶ上での主要な原典を直接読むことも考えている。

上記のように授業の内容は仏教を中心とするが、仏教との対比の上で各宗教学にも言及し、短期大学生の一般教養としての宗教学全般についての基本的知識も習得できるよう配慮する。

履修上の留意点

大学（短大）での授業はともすれば、一方的な講義になりがちである。疑問に思った点やわからない点は遠慮せずにどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験によって評価する。なお、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』東京書籍 1,400円

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	きむらせいじ 木 村 誠 司	短 英 1 必	4

講義のねらい

仏教は、日本人にとって、馴染深い宗教である。しかし、その本当の姿は、意外に理解されていない。本講座では、釈迦に始まる仏教の歴史を、まず概観し、仏教の基本的知識を知ってもらう。しかるのちに、様々な仏典等を紹介したい。特定の教科書は用いず、資料は適宜配布する。評価は、試験あるいはレポートによって行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間(前期)	つのだたいりゅう 角田泰隆	短放1必	2

講義のねらい

仏教とは何かについて、できるだけ具体的に、わかりやすく解説したい。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の基本的な教義について解説するが、便宜的に、「人間」「自己」「現在」「教育」「生死」の五つの言葉を順次取りあげ、これらと関係させながら進めてゆきたい。

履修上の留意点

教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。(定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する)

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	いし いせい じゅん 石井清純	短国・短英	4

講義のねらい

仏教の思想と曹洞宗の教義について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

種々の経典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。その上で、現代社会と仏教あるいは宗教の関わりについて問題提起してゆきたい。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』・『宗教学Ⅱ』(更生社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	たなか りょう しょう 田 中 良 昭	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、本学の建学の理念である仏教の教義と曹洞宗立宗の精神について、学生諸君に理解を深めてもらうために、新たに開設されたものであり、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間にとって、いかなる意味を持ち、いかなる役割を果すかを中心に検討し考察するものである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教や曹洞宗学を理解するための前提として、宗教全般に関する考察を第Ⅰ部とし、仏教の基本的立場や教えの特色、その歴史や文化的特質等を第Ⅱ部とし、仏教の実践道として独自の展開をした中国禅や日本の曹洞宗の教えやその特色を第Ⅲ部とし、最後に第Ⅳ部として、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間の様々な問題に対して、どのような解答を用意しうるかを考えてみることにしたい。

履修上の留意点

本講座は、他の大学では聞くことのできない本学独自の講座であり、本学の特色を理解する重要な科目である。再クラスという事情もあり、卒業単位を充たす上からも、授業への積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

学年末に実施する学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席も重視して評価する。

教科書

特に指定せず、ノートを使用するので必ず用意していただきたい。必要事項をノートに取った後、その内容について種々の角度から解説を加え、理解を深めるようにしたい。

参考書等

駒澤大学仏教学部研究室編『宗教学Ⅰ』『宗教学Ⅱ』（更生社）や、水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）等が、世界の宗教、仏教、禅、曹洞宗学の全般について論述しているので便利である。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて内容について詳細な説明を加えていく。特にその時その時に起る宗教問題についても、取り上げていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕（前期）	いし い こう せい 石 井 公 成	短国・短英・短放	2

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であり、日本文化の主要な担い手であった。その仏教の教義と歴史について基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

朝鮮諸国における仏教受容のあり方と比較しつつ日本における仏教伝来について検討し以後の仏教史の流れを概観してゆく。その際は、文学とのかかわりに注意する。講義に当たっては、文献を読むことを柱とする。

履修上の留意点

こちらから頻繁に質問するほか、古文・漢文の訳なども担当してもらうため、積極的に講義に参加する態度が必要である。

成績評価の方法

試験の結果を重視するが、授業時の参加の程度も考慮する。

教科書

教科書は使用せず、コピーを配布する。

選 択 科 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	はせべ はち ろう 長谷部 八 朗	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教とりわけ仏教が社会にどのように働きかけ、教線の拡張をめざしたかをみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を中心に講述する。
また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1, 2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	さとう のり あき 佐藤 憲 昭	短国・短英選	4

講義のねらい

私たちは、日常生活において、自己を取り巻いている環境そのものに宗教性を見いだすことがあるだろうか。恐らく「ない」と答える人が多いに違いない。だが、こうした環境をひとたび宗教学的視点からとらえ直してみると、人類は古くから宗教的な意味づけを施してきたことが知られる。この講座では、私たちにとって身近な事例に焦点を合わせ、海外の事例と比較しながら、その宗教的意味について考えてみたい。こうした営為を通して「社会と宗教」の問題に接近することを目指したい。

講義の内容・
授業スケジュール

つぎのテーマのもとに具体的に考察する。
1. 大地と農耕, 2. 樹木と森林, 3. 山と海(川・沼), 5. 星と太陽, 6. 動物と人間,
7. 男性と女性, 8. 結婚, 9. 子供と遊び, 10. 社会と宗教。
これらのテーマを扱うに際しては、仏教文化(仏教現象)との関連性を考慮したい。

履修上の留意点

夏期休暇中に「宗教」に関する図書の感想文を作成してもらうが、その提出は希望者のみとする。また、ときどき出席をとるので、欠席をした場合(または欠席をする場合)には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

①受講生が少人数の場合にはゼミ形式にするので平常点で評価し、②受講生が多い場合には学年末のレポートで評価し、③受講生がすこぶる多い場合には学年末の筆記試験で評価する。②または③を採用した場合、その評価が59点以下である時には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教科書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社(講談社学術文庫)

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅 (前期),(後期)	まきむらせいし 木村誠治	短国・短英選	(半期) 2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本年度から新たに開講された本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を振り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を正し、静けさの中で自己を見つめるのです。これは生命の大地に立ち返るときでもあります。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験する内に静けさに落ちつきを感じることでしよう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることを指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で15回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～15「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勸坐禅儀』・『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参求してみたいと思っています。)

希望者には、課外授業として鎌倉の古寺巡り、禅に関係する美術館見学等を計画しています。

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教科書

『坐禅-講本-』更生社 2,266円

参考書等

随時、講師より資料をプリントし提供します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史 (前期)	いし い こう せい 石井公成	短国・短英選	2

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であり、日本文化の主要な担い手であった。その仏教の教義と歴史について基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

朝鮮諸国における仏教受容のあり方と比較しつつ日本における仏教伝来について検討し以後の仏教史の流れを概観してゆく。その際は、文学とのかかわりに注意する。講義に当たっては、文献を読むことを柱とする。

履修上の留意点


こちらから頻繁に質問するほか、古文・漢文の訳なども担当してもらうため、積極的に講義に参加する態度が必要である。

成績評価の方法

試験の結果を重視するが、授業時の参加の程度も考慮する。

教科書

教科書は使用せず、コピーを配布する。



2 教養教育科目

(1) 人文分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (1) 〔日本文学「古典」〕	ひらの 野 ゆきこ 平 野 由紀子	短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の成長により、国際社会に果たす日本の役割はますます大きくなってきている。このような現代において、真の国際人であるためには、自国の文化や歴史を知る必要がある。そこで、日本語の歴史を知るとともに、日本文学の原点とも言える万葉集をよみ、文学と社会との関わりについて考える。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、文学の発生の問題や日本語の表記の歴史を学び、万葉集の歌をよむことによってその歴史的背景を知る。具体的には、前期万葉の歌をとりあげる。万葉前期は、大化の改新や斉明天皇の百濟救援、壬申の乱など、激動の時代を経て、律令国家体制の確立された時代である。才媛額田王や歌聖柿本人麻呂などが活躍し、古代の歌謡からみずみずしい万葉の歌が生まれ出て、人麻呂によってひとつの完成をみた時代でもあった。歌の舞台は主に宮廷を中心とし、歌は歴史と密接に関わりながら存在した。前期万葉をよむことは、古代史を読むことでもある。できれば、後期万葉の歌にも触れて、万葉の時代に生きた人々の考え方を学んでみたい。

履修上の留意点

教場において指示する。

成績評価の方法

教場において指示する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

参 考 書 等

金井清一・小野寛編『年表資料上代文学史』（笠間書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (2) 〔日本文学「古典」〕	ひらの 野 ゆきこ 平 野 由紀子	短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の成長により、国際社会に果たす日本の役割はますます大きくなってきている。このような現代において、真の国際人であるためには、自国の文化や歴史を知る必要がある。そこで、日本語の歴史を知るとともに、日本文学の原点とも言える万葉集をよみ、文学と社会との関わりについて考える。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、文学の発生の問題や日本語の表記の歴史を学び、万葉集の歌をよむことによってその歴史的背景を知る。具体的には、後期万葉の歌をとりあげる。万葉後期になると、都を遠く離れた北九州や北陸、関東などに主要な歌の舞台が移り、大伴旅人や山上憶良、万葉集の最終編者と考えられる大伴家持など官人たちの他に、防人や名もない庶民の歌が多く収録されている。その時代がどのような時代であったのか、そこに生きた人々が何を感じ、どう生きたのか、できれば前期万葉の歌にも触れて、万葉の時代に生きた人々の考え方を学んでみたい。

履修上の留意点

教場において指示する。

成績評価の方法

教場において指示する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

参 考 書 等

金井清一・小野寛著『年表資料上代文学史』（笠間書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (3), (4) 〔日本文学「古典」〕	ます お とし や 増 尾 聡 哉	短国・短英	4

講義のねらい

物語文学には、作り物語と歌物語の二つの系譜があるが、本講義ではそれぞれ最初の作品として位置づけられる『竹取物語』『伊勢物語』を読み、物語文学の発生から『源氏物語』に至るまでの歴史を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は『竹取物語』、後期は『伊勢物語』を読む。

成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (5), (6) 〔日本文学「近代」〕	かわ し ま あつ し 川 島 淳 史	短国・短英	4

講義のねらい

日本近代文学はどのように形成され、発展していったのか。明治から大正にかけての時代状況を見据えつつ、近代文学そのものの意義について考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

森鷗外、泉鏡花、永井荷風、谷崎潤一郎、芥川龍之介といった作家を中心として講義を進めていく。彼らの作品に見られる〈反近代〉の姿勢を通して、逆に従来の近代文学史の歪みを指摘し、併せて日本における「近代化」の問題点や矛盾を浮き彫りに出来れば、と考えている。

履修上の留意点

欠席が三分の一に達した場合は、試験を受けても単位不認定となるので注意すること。

成績評価の方法

レポート及び試験にて審査する。尚、レポート未提出の場合には単位不認定となる。

教 科 書

必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

適宜、講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 (7) 〔日本のことば〕	さい とう あけ み 齋 藤 明 美	短国・短英	4

講義のねらい

私達日本人が毎日用いている「日本のことば」とはいかなるものか。日本語の持つ特徴またそのルーツを探ることによって、日本のことばを正しく、より深く理解していこうというのが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

講義は「国語学概説」(双文社)を主たるテキストとし、日本のことばの語彙、音韻、文法、方言、日本語教育等について、わかりやすく説明していく。必要に応じてビデオ等の使用もし、日本語を専門科目としていない学生にも面白く学習できるようにしていく。

成績評価の方法

成績は、レポート、試験、出席等を総合的に評価する。

教科書

『国語学概説』春日正三、古瀬順一、川口明美他著、双文社

参考書等

参考図書、資料については、必要に応じてそのつどプリント等を準備する。

その他

授業の方法は講義形式で行うが、時々ビデオも使用したいと考えている。日頃用いている日本のことばに少しでも興味のある学生と一緒に、日本語の秘密にせまろうと考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 (8) 〔外国文学「アメリカ文学」〕	た なか たもつ 田 中 保	短国・短英	4

講義のねらい

アメリカ文学の歴史は極めて浅い。アメリカ文学の主潮を辿りながら、主要な作家とその代表作品を取り上げ講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は講義形式でアメリカ文学を概観し、受講者各自で興味ある作家を2人選び、それらの作家の作品を自由にそれぞれ1編選んで読んで、その作家紹介と作品の内容・主題についてレポートを提出してもらう。

後期は受講者各自が関心をもつ作家を1人選び、その作家の作品を読むグループを編成して、グループ発表形式で授業を行います。

履修上の留意点

教養教育科目ですので、作品はすべて翻訳本で読んでもらいますが、アメリカ文学にいささかでも関心のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

レポート・発表・出席等を総合的に評価する。

教科書

教科書は用いません。参考となる書籍については、適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (9) 〔外国文学「フランス文学」〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	短国・短英	4

講義のねらい

およそ1,000年の時間の流れの中で形成され蓄積されたフランス文学は、実に多様な顔をもっており、詩から哲学・思想書まで、歴史書から博物学、手紙・日誌・回想録、小説や劇作品、フランス語で書かれたありとあらゆるものが〈人間〉を表現するものとして鑑賞され、感嘆され、受け入れられてきたのでした。したがってこの講義ではジャンルにこだわらず、一つの時代の心のあり方を示す作品として、詩や小説、哲学書や戯曲などを取り上げ、吟味してみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

講義はフランスの最後の王政が終わった1848年までを対象とし、特に後期にはフランス大革命後の約50年間をじっくりと扱うつもりです。

履修上の留意点

講義の中で紹介する作品などは、特に学生自らが味読してもらいたいと思います。

成績評価の方法

レポートによって評価します。テーマは『フランス文学における人間』、どのような作品を扱ってもかまいません。前期末、後期末の2回の提出です。

教科書

岩波文庫別冊①：『増補・フランス文学案内』、渡辺一夫・鈴木力衛著、570円

参考書等

参考書等はその都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (10) 〔外国文学「中国文学」〕	た くま のぶ ゆき 田 熊 信 之	短国・短英	4

講義のねらい

中国の人々は、数千年にも及ぶ自らの生活の歴史の中から、音、義、形を兼備する“漢字”という自己自身の特異な書写言語を生み育て、これを用いて、さまざまな表現世界を築き上げている。本講座は、この中国の人々の表現世界、すなわち中国文学の世界に近づき、親しみ、その実態を把握して、中国の言語、文学についての理解を深めようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の各個の作品（詩、詞、賦、辞、論、文、小説等々）を選読し、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れの中に、離合悲歎の愛と哀しみの人間模様がどのように表白されて来るのか、また、卜辞、告誓、記事などに始源する中国の散文の流れの下に、社会生活を営む人間の心緒や思弁がどのように綴り述べられて来るのか、といった事柄を確かめながら、“漢字”“漢語”を通して形づくられる中国文学のあやどりの世界を眺望したい。なお、千数百手前漢文化を接受して来た日本の姿にも注意を払い、中国文学の日本文学への影響などについても一瞥を試みたい。

履修上の留意点

中国の歴史や地理については、各自概説書や地図などを参看して、基礎知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

評価は、受講状況を重視しながら、レポート或いは試験を併せて、総合的に行う。

教科書

テキストについては、プリントを用いる予定。

参考書等

参考書等については、授業時に説明、紹介する。

その他

授業は、講義方式で行う。必要に応じて視聴覚機器（ビデオ、スライド等）も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (12) 〔日本文学「近代」〕	小林 治 <small>おさむ</small>	短国・短英	4

講義のねらい

優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

対象に予定している作家は、日本の第一次戦後派の野間宏、椎名麟三、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄、また異端の作家として深沢七郎、ルポルタージュ文学の先駆者として上野英信である。さらに時間が許せば、村上春樹などの現代の作家も取り上げたい。主に教科書と配布プリントを使用する。

履修上の留意点

具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。

椎名麟三「深夜の酒宴」、「深正治の手記」
 安部公房「けものたちは故郷をめざす」、「砂の女」
 島尾敏雄「出孤島記」、「死の棘」
 深沢七郎「楢山節考」
 上野英信「追われゆく坑夫たち」

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

野間宏 『暗い絵・顔の中の赤い月』（講談社文芸文庫）¥680
 安部公房 『R62号の発明・鉛の卵』（新潮文庫）¥320

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本中世史〕	粟野 俊之 <small>あわの としゆき</small>	短国・短英	4

講義のねらい

歴史学は、人間（人類）の歩みを具体的な流れのなかで研究する学問である。歴史は人間の活動によって展開するものである。それは、表面に現れる一部の人間だけではなく、その基礎となる多くの人々の生活の営みを背景として作り出されるものである。歴史上の出来事を、何故起こったのか、その背景と意味を研究し、またある時点の地域・社会の具体的な様相を研究するのが歴史学である。

講義の内容・授業スケジュール

日本史のなかで、中世から近世にかけての時代を主たる対象として講義する。はじめに、古代・中世・近世・近代・現代という流れを概観する。次いで、大名・領主・村落・農民の四つを基軸とし、中世から近世における出来事・地域・社会などの様々な問題や様相を考えたい。支配者と被支配者の関係はどのようなものであり、また支配者や被支配者のそれぞれの内部は、どのようなものであったかを現代的な問題と絡ませながらみていきたい。

履修上の留意点

受講者は、出席することが第一である。普段の講義を聞き、その内容を理解しなければ、結局授業を受けた意味がない。出席することが、最終的に受講者の利益となる。出席率の低い学生は試験の答案が書けないので、授業に出席しなければ、単位は認定されないと考えた方がよい。

成績評価の方法

成績評価は、年度末の定期試験を基本とする。これとともに、前期試験または夏期レポートの評価と出席を参考として単位を認定する。

教科書

教科書・参考書は特に指定しない。随時、授業の進行の中で提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (2) 〔中国古典考古学〕	も ざわ みち なお 茂 沢 方 尚	短国・短英	4

講義のねらい

最近の中国考古学のめざましい発掘報告はおびただしいものがあるだけにとどまらず、人類の歴史を再考せしめるような発見にみちている。それらの知見を無視することは学問にたずさわる者の良心が許さないであろう。

私は一介の中国古典学徒であるにすぎないが、その古典とは悠久なる中国の古代に花ひらいた諸子百家と後世呼称された人々の思想の歴史的な再考察を志す者にすぎない。その古典は、老子、孔子、莊子、列子、楊子、墨子、孫子、管子、申不害、慎到、商鞅、韓非子、等々、と多彩な人々の思想を歴史的に考察することになる。人間があらん限りの知恵をぶつけ合う、この錚々たる人々の織りなすドラマをともに考え苦しむことは、我々が生きることを反省させる鏡たることに疑問の余地がない。その中国の古典を最近の考古学的発掘資料が、それを理解するために一助となる場合がある。伝来の中国学が要求する精緻精密な文献学に充分注意しながら、最新の考古学的発掘成果とを合致させるといふ神技に近いことに挑むこととする。

教 科 書

『「韓非子」の思想史的研究』(近代文藝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (3) 〔東洋古代史〕	も ざわ みち なお 茂 沢 方 尚	短国・短英	4

講義のねらい

ここに言う東洋は、かつて中国人が呼んだ東洋＝日本の意味ではない。既にそれは日本では広くかつ多様なアジアを意味することは言うまでもない。その多様なアジアの東に連綿と悠久なる歴史を有して、凄じい生命力を示す中国が存在する。

私はその中国の先秦時代、わけても春秋戦国時代について、なかでも、その時代に知恵のあらん限りを尽くして生きた人々に関して深い関心を抱いている。戦乱にあけくれる中国古代のそれらは華々しい思想家達の又活躍した時代であった。そういう人々を諸子百家と呼称するが、その後世に与えた影響は図り知れない。これらは単に中国の独占するものではなく、広く諸外国でも研究されている。それらの辛苦にみちた諸成果に充分なる配慮をしつつ、私は天才と言われる法家の韓非子を中心にして、諸子百家を概観しつつその思想の根源に横わる思想、道家に挑んでみたいと思っている。

教 科 書

『「韓非子」の思想史的研究』(近代文藝社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (4) 〔西洋近現代史〕	わた なべ ちか 渡 辺 知	短国・短英	4

講義のねらい

イギリス近現代史からいくつかのトピックスをとりあげ、講義する。過去の事実の確認にとどまらずそれがなぜおきたのか、また、過去の出来事が現在の社会といかに密接に結びついているのか、あるいは、現在の社会の動向が歴史研究にいかに関与をあたえているのかといった点に力点をおきつつ、歴史学における多様なものの捉え方を提示できればと希望している。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では、イギリス革命、帝国の形成とイギリス内外への影響、イギリス近代国家の統合とウェールズ、スコットランド、アイルランド問題などを取り上げる予定であるが、その他受講生の興味に従ったテーマも設定したい。

成績評価の方法

講義の区切りにB5、1枚程度のミニレポートを提出してもらおう（年に3～5回程度）。これに学年末の試験を総合して評価を行う。

教科書

青山吉信・今井宏編『新版概説イギリス史 伝統的理解をこえて』有斐閣選書、1991年

参考書等

講義の際に必要なに応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (5) 〔日本近世史〕	き つき てつ お 木 槻 哲 夫	短国・短英	4

講義のねらい

一般に封建社会、幕藩体制とよばれている日本の前近代社会の後期を、主として文化史、社会経済史的な視点から概観したい。

講義の内容・
授業スケジュール

歴史上の注目すべき事件、事項、人物等を取りあげて、その紹介と歴史的意義を論ずることによって、時代社会の具体像を明らかにすることにつとめたい。

主な問題としては、農民支配（制度）、農民の生活（生産、経済諸活動、村落・家族構成）、都市町人の形成、町人の生活と文化、武士・農工商の教養と文化・風俗、藩政と地方文化、天災・人災と農村の荒廃、等に関わるものを取りあげたい。

履修上の留意点

学生諸君は、各自がいだく関心、興味にしたがって問題を取りあげ、その理解を深めるべく、積極的に読書し、学習につとめてほしい。

成績評価の方法

年度末に試験（記述式）を行ない、問題点についての理解度、学習度によって評定する。

教科書

教科書は特定しない。

参考書等

日本史全時代にわたる簡明な概説書を常に参照しつつ、日本歴史上の近世、当面对象としている問題の近世史上での位置づけに留意しつつ授業に参加するようにしてほしい。歴史事典等も随時利用する必要がある。

理解をたすけるために必要な史資料はプリントして配布する予定である。

その他

講義形式によって授業を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (6) 〔日本近代史〕	たちかわしょうじ次 立川章次	短国・短英	4

講義のねらい

日本史の流れを概観し、幕末から維新时期にかけての過程を考察する。
幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。
このことを留意して新しく維新史を学びたい。

成績評価の方法

定期試験と出席日数、授業中の態度等により総合的に評価する。

参 考 書 等

尾佐竹 猛著 『幕末遣外使節物語』 講談社学術文庫 800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (1) 〔日本美術〕	なかしまりょういち一 中島亮一	短国・短英	4

講義のねらい

日本美術の遺産を、芸術学の視点から、テーマを設定し、様式と思想の両面から検討することとする。テーマは次のとおり。

(A)聖なる文化と美

神の美 — 伊勢・出雲・宇佐・賀茂などの諸社。各地の靈山神域など。
仏の美 — 法隆寺をはじめ各時代を代表する仏寺・仏像・仏画など。
聖なる空間の美 — 神の山・神の庭・仏の山・仏の庭など、花鳥の美。
神仙譚の美 — 中世の絵巻から、靈験と美・種々の紛争と怨霊譚の美。

(B)俗なる文化と美

風土の美 — 山川草木の美と漢画・大和絵の風景画の系譜
俗なる空間の美 — 王朝文化と絵巻・戦記、記録物の絵巻
浮世の美 — 浮世絵版画のつくられた美

(C)異文化との接触で生まれた美

仏教 — 権勢の美・虚栄の美・信仰の美
道教 — 実用の美・民俗の美（水・竜・神仙・長生）
対外交流 — 異質の美・異様の美（金閣・銀閣・南蛮・明治洋風画）

(D)技法の美 — 建築・彫刻・絵画・工芸の技法の中から生まれた美（社寺・城郭・住宅・仏像等、また金・銀・銅・漆工）

講義の内容・
授業スケジュール

上記の講義とスライドを多用する。

履修上の留意点

展覧会・ミュージアムを活用してほしい。

成績評価の方法

平常点（スライド感想文）と期末試験。

教 科 書

教科書（吉田光邦『日本美の探究』日本放送出版協会 ¥830円）

参 考 書 等

その都度プリント配布又は指示する。

そ の 他

講義とスライド。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (2) 〔 西 洋 美 術 〕	矢 野 陽 子	短国・短英	4

講義のねらい

芸術の観念は近代において成立したと考える見方があるが、芸術作品そのものは人類の歴史とともに古くから存在する。芸術は我々の社会のうちにあり、そのあり方は、宗教、政治、娯楽など生活と関わりあって存在している。したがって、我々は広い視野から芸術を考える必要がある。自分の好きな作品をただ眺めているだけでは、その理解は浅いものでしかない。作品を深く理解するためには、制作された時代の社会状況や表現の約束事や特徴などを知ることが必要である。この授業では、西洋美術の主要な流れをつかみ、さまざまな芸術の傾向を広く理解し、あわせて象徴や表現の意味、様式についても考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

時間的にも地理的にも広汎にわたる西洋美術のうち、この授業では主としてルネサンスから近代まで対象とする。しかし、西洋の美術を理解するうえでは古典古代、すなわちギリシャ、ローマの知識は必須であるので、最初に序論として古代から始まる全体の流れを概観するつもりである。スケジュールとしては、前期は主として16・17世紀の美術を、後期は18・19世紀の美術を扱う予定である。

成績評価の方法

成績は試験および出席状況、授業態度によって評価する。

教科書

教科書として、監修・高階秀爾「カラー版西洋美術史」美術出版社（1,900円）を使用する。

参考書等

参考図書は授業中、適宜紹介する。

その他

授業では、毎回スライドを使用して、具体的に作品を見ながら講義を進めていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (3) 〔 音 楽 〕	あか ば ゆ き こ 赤 羽 由 規 子	短国・短英	4

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学 — 日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもたちの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えて行きたい。

後期 20世紀と音楽 — 20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）¥2,700

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (1), (2), (3) 〔西洋思想の源流〕	寺田 誠一・久保 陽一 戸田 洋樹	短国・短英	4

講義のねらい

主に西洋思想の源流であるヘレニズムとヘブライズムをその哲学的原理に関して学ぶ。紀元前6世紀頃に登場した古代ギリシア哲学では概して人間と神々とは「自然」に包摂されて共存調和するものとして、また「自然」は永遠に回帰するものとして捉えられていたのに対し、ユダヤ教を母体にして1世紀頃に成立したキリスト教では人間と自然は主なる「神」の意志に服すべきものであり、創造と終末によって限られた歴史意識のうちで捉えられる等、両思潮には互いに異なる考え方が含まれていた。だが中世以後近現代にいたる西洋思想の歴史は、両者の総合や対立あるいは復活によって展開されてきたと見ることができ、両者は文字どおり西洋思想の源流をなしている。しかも近現代の西洋思想が今日の文明世界を規定しているという側面は含めない事実であるから、両思潮を学ぶことによって、同時に我々が現代に生きていく上でなにがしか示唆を得ることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、以下の内容を順次取り上げる。

① 古代ギリシア哲学——ソクラテス以前の哲学、ソクラテス・プラトン・アリストテレス、古代末期の人生論

② キリスト教思想——ユダヤ教とキリスト教、教父哲学とスコラ哲学

③ 古代ギリシア哲学およびキリスト教思想の近現代における影響史

履修上の留意点

哲学や宗教だけでなく、文学（例えばギリシア悲劇）等にも親しむようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (4), (5), (6) 〔近代の人間観と世界観〕	国嶋 一則・戸田 洋樹 仲正 昌樹	短国・短英	4

講義のねらい

私たちはそれぞれ自分なりの人間観・世界観に従って生きているといえるが、日常生活のなかでは、それを表立って吟味してみることはまれであり、ましてや、その背景について明確な認識を得ようとすることは、ほとんどない。

しかし、その背景を探ってみると、それが近代ヨーロッパ的な色彩を帯びていることもあり、また、昨今話題にのぼる諸問題——例えば生命倫理の問題、環境問題等——も、近代ヨーロッパの人間観・世界観との対決に関するものであることが意外に多い。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、近代ヨーロッパの人間観・世界観を中心として、以下の順で概観する。

- ① 古代から中世へ ② ルネサンス期 ③ 17世紀 ④ 啓蒙期
⑤ 18世紀から19世紀へ ⑥ 20世紀（現代）

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (7), (8), (9) 〔現代文明と人間〕	久保 陽一・丸山 豊樹 大石紀一郎	短国・短英	4

講義のねらい

主に19～20世紀の現代哲学を学び、それを通して現代文明の中で人間が直面している諸問題の解決の手掛りを得ることをめざす。近代の科学革命や啓蒙主義によって鼓舞された人類の進歩や科学技術への信頼は、今日、自然環境の破壊、日常生活の均質化や匿名化、次世代にも及ぶ生命倫理の問題、民族や宗教の対立など、新たに生じた諸問題のために、色褪せ疑わしくなっている。しかしこれらの問題の解決のために、近代の科学技術や啓蒙主義の達成をすべて放棄することもできない。そこでこれらの問題に正しく対処するためには、問題のよって来たる所以が何であるかを明らかにし、様々な解決の処方箋を原理的および具体的に検討することが必要と思われる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、19～20世紀の諸哲学を中心に、以下のような内容を取り上げる。
 ㉑、近代化とは何か。
 ㉒、ドイツ観念論、マルクス主義、生の哲学と実存主義、プラグマティズム、分析哲学、現象学と解釈学等。
 ㉓、生命倫理、言語、身体等。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等によって評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 (1), (3), (4), (8) 〔科学方法論と現代論理学〕	大石紀一郎・仲正 昌樹 伊古田 理・小宮山 隆	短国・短英	4

講義のねらい

言葉をしゃべる時、文法を意識することがほとんどないように、論理もまた、その存在が意識されることはあまりない。そのような論理がどのように取り出されるか、取り出すことにどのような意義があるかを考えていく。
 記号論理では、論理計算のたぐいにも多少つきあってもらうが、それ以上に、論理性を養ったり、記号化の仕組みへの理解を深めてもらうことに重点をおきたい。

講義の内容・授業スケジュール

伝統論理、記号論理および帰納型の推理を、この順にほぼ等分に見ていく。なお、帰納推理の項では科学方法論にも言及する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は、開講時に指示する。

参考書等

参考書等は、講義の際に、その都度紹介する。

その他

講義が中心になるが、問題演習の時間をできるだけ多くとることにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論 理 学 (2), (5), (6), (7) 〔科学方法論と現代論理学〕	寺 田 誠 一 ・ 戸 田 洋 樹 丸 山 豊 樹 ・ 山 口 祐 弘	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

言葉をしゃべる時、文法を意識することがほとんどないように、論理もまた、その存在が意識されることはあまりない。そのような論理がどのように取り出されるか、取り出すことにどのような意義があるかを考えていく。

記号論理では、論理計算のたぐいにも多少つきあってもらうが、それ以上に、論理性を養ったり、記号化の仕組みへの理解を深めてもらうことに重点をおきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

伝統論理、記号論理および帰納型の推理を、この順にほぼ等分に見ていく。なお、帰納推理の項では科学方法論にも言及する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

教科書は、開講時に指示する。

参 考 書 等

参考書等は、講義の際に、その都度紹介する。

そ の 他

講義が中心になるが、問題演習の時間をできるだけ多くとることにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科学史 (1) 〔科学と技術〕	やまもと あつゆき 山 本 敦 之	短国・短英	4

講義のねらい

あまりものを考えない人にとっては自明な概念となっている「科学」と「技術」が、ヨーロッパ世界に於て歴史的に形成された過程を、自然思想・芸術・技術・制度・社会などの観点から再構成する。歴史叙述の出発点をヨーロッパ世界の形成にとり、古代ギリシアの思想などは、中世以降のヨーロッパ世界の歴史叙述の必要から遡って順次説明する。また、シナや日本とヨーロッパとの関わり、比較については、特に心がける。

科学は、文系理系という分類の一方の類を成すものであるが、科学史は歴史学の一部であり、本来文系に属する。この講義では、将来の読書人たるべき文系学部の学生を対象に、自然思想などの諸観念、それに関わる個人、人間集団、ものなどのついての歴史的認識を深め、ひいては人間についてのより深い理解を得ることを目指す。このような純粋な認識の喜びを味わうと同時に、更に、科学技術の引き起こす現代の諸問題を、イメージに流されることなく、自分の言葉で考え抜く基礎を提供することをも目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義で取り上げる主要なテーマは以下の通り。

1. ヨーロッパ世界の成立、中世ヨーロッパ世界の自然思想および自然に対する感受性の変遷、農業革命、大学の成立とその学問、ロマネスクからゴシックへの様式の変遷、ゴシックといわゆるスコラ学、12世紀ルネサンス。
2. イタリアルネサンスの成立、建築・絵画・造形芸術・音楽の新しい様式とその意味、ネオプラトニズム、北方世界への展開、新しい技術的世界、魔術。
3. 17世紀の全般的危機、近代とは何か、イエズス会、バロック様式、ガリレオ、懐疑主義、原子論、理神論、デカルト、ニュートン、ライプニッツ、風景画、望遠鏡・顕微鏡、真空ポンプの認識論的意義、文明化の過程と感受性の変化。
4. 啓蒙主義、避雷針、唯物論、フランス革命の科学的意義、カント、ロマンティーク、ドイツ観念論からフォイエルバッハ、俗流唯物論、19世紀の生理学・心理学、進化論、科学と神学との新しい関係、産業資本主義と科学技術、機械文明と近代市民社会、日本での受容。
5. 19世紀末までの叙述が終了した時点で、無限・空間・時間・物質・生命・心についての観念の歴史を、古代に遡って20世紀初めまで取り上げる。
6. 20世紀初めの諸分野での論争、巨大科学、生命科学とコンピュータ、科学技術に由来する災厄という観念または現実。

履修上の留意点

予備知識は必要ない。授業へのまじめな取りくみだけを前提とする。

成績評価の方法

前期後期の試験及び夏休みのレポート。

参考書等

エンゲルハルト・ヴァイグル著、三島憲一訳、『近代の小道具たち』（青土社、1990）

その他

講義は、毎回プリントを配布し、それに基づいて行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科学史 (2) 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	短国・短英	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

「図解・科学の歴史」八杉龍一（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等を持ちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫理学 (1), (2) 〔人間観〕	くにしま かず のり 国 嶋 一 則	短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実などか、理性的などいわれる「生き方」を探求する哲学である。

われわれが自己の「生き方」を決めるためには、自己の人生観をたてなければならない。人生観とは、この世における人生とは何かについての考えである。したがって、人生観の基礎には、人生を営む主体としての「人間とは何か」という人間観がある。

われわれは、人間自身をいかに考えるかという人間観を確立することによって、自己の正しい「生き方」を決めることができる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、哲学の考え方の学習に重点をおく。後期は、人間観の歴史的変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (3) 〔 価 値 観 〕	くに しま かず のり 国 嶋 一 則	短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的などと言われる「生き方」を求める哲学である。われわれが自己の生き方を求めるということは、自己が生きてゆくための支えを求めることにはかならない。
「支え」となるものは、生きてゆくのに頼りとなり、生き甲斐となるような価値のあるものである。このような価値は、生きる目標ないし目的となるものであって、生きることを意味あらしめるものである。したがって価値を見誤ると、われわれは正しい価値観をもつことができず、また人生観にも誤りを生ずる。なぜなら、価値観に基づく生き方が人生観だからである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、価値の構造を考察する。
後期は、価値観の歴史の変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (4) 〔 自 由 論 〕	くに しま かず のり 国 嶋 一 則	短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的などと言われる「生き方」を探究する哲学である。われわれ人間は、意志の自由をもち、その自由によってみずからの行為の選択をしてゆかなければならない。すなわち、われわれは自己の意志によって行為を選択する自由をもつのである。自由は、行為の主体たる人格を担うところの価値を可能ならしめる制約として、倫理学の根本概念をなしてきた。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、自由の語義を考察する。
後期は、近代において、自由が自由主義として展開した過程を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (5) 〔制度とモラル〕	く 久 保 陽 一	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

現代における「倫理」の意味を制度や組織との関連で考察する。今日人々は戦前の家父長制や封建主義的人間関係のしがらみから解放され自由になりはしたが、その自由は、何をしても構わないというエゴイズムに頹落し、それ故種々の無用な抗争を生ぜしめる可能性をも持っている。いかに人間が自由になろうとも、社会生活が存立し続ける以上、例えば学校や企業などの組織の中で、他者との相互依存関係を拒むことはできない。つまり個人の権利と社会的規制との調和をどのように図るか、個人にどのようなモラルが組織の中で要求されるのか、更にそのような法と道徳は人生の根源的問題との連関でどのように基礎づけられるのかが、あらためて問われているように思われる。この問題を原理的に考察するために、主に近現代の倫理学説を学び、検討することにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義では次のような項目を取り上げる。
- ① 社会契約思想とその問題点 — ホブズ・ロック、ルソー・ヘーゲル・マルクス、日本国憲法、ロールズ等。
 - ② 道徳の原理、法と道徳の関係 — 快樂主義・功利主義、理性主義、カント、ヘーゲル。
 - ③ 人生論 — パスカル、ハイデガー等。

履修上の留意点

講義ノートをよく取ること、分からない点は質問すること、一年間で少くとも一冊古典的書物を読むようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

教科書は開講時に指定する。

参 考 書 等

参考書等は授業中その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (6) 〔東 洋 倫 理 〕	す え き や す ひ こ 末 木 恭 彦	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人との間に如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の本来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を擔う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む——ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のねらいに書いたことと矛盾するが、我々の先人は決して「倫理学」を説いたのではない。現在の我々の眼から見ると「倫理学」として見えるということである。この講義では、始めに現代の思考枠を排除して漢文古典の思想を見てみたい。その後に、「倫理」の知恵をそこから学びとりたい。そこで、授業は、最初に、様々の面から中国古典の世界の基礎にある「世界観」を浮彫りにし、現代日本人の常識を離れて漢文古典の世界を眺める準備をし、その後、漢文古典の世界の多様性の一斑を窺っていかうと考えている。

履修上の留意点

漢文の基礎的教養があることが望ましい。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況、受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教 科 書

『原典対照中国思想文学史』（明治書院）

参 考 書 等

参考書は講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (1) 〔比較宗教文化〕	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	短国・短英	4

講義のねらい

世界にはさまざまな宗教が成立している。これらの宗教を研究するには、自ずとその研究方法があみだされてくる。それは価値中立的にみる立場である。この立場でさまざまな宗教現象を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

凡そ次の順序で講義をすすめていく。
1) 宗教現象の諸相, 宗教の研究手法, 宗教の類型, 民族宗教とその特徴, 世界宗教とその特徴。
2) 聖典, 戒律, 修行, 儀礼等 3) 世界三大宗教(仏教, キリスト教, イスラーム)の伝播とその文化圏。

履修上の留意点

受講し, ノートをとること。

成績評価の方法

定期試験と受講の状況(出欠)によって評価する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院刊

参 考 書 等

随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (2) 〔聖 と 俗 〕	さ さ き こう かん 佐々木 宏 幹	短国・短英	4

講義のねらい

われわれの生活は、「きれい」と「きたない」、「よい」と「わるい」、「おいしい」と「まずい」などの類別基準を利用することによって営まれている。「聖」と「俗」の類別も同様で宗教と非宗教の差異を示す用語として用いられてきた。

現象を区分・類別することは文化の基本とされるが、いったい物事を分けるとはどういうことであろうか。「聖」は宗教, 「俗」はそうでないものと簡単に区分して済まされるのだろうか。簡単に済まされないのだとすれば, どのような問題が存在するのであろうか。この講義では宗教とは何かという問題を人間の他の営為とたえず比較しながら考察し, 終局的には人間とは何かの問題の追求に結びつけていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような内容を構想している。
1. 身分けと言分け, 2. 人間は混沌に耐えられない, 3. 分類と文化, 4. ラベリング (labelling) の問題, 5. 聖と俗の理論, 6. スティグマ (stigma) とは何か, 7. 世界観とは何か, 7. 宗教と民族, 8. 宗教における平等と差別, 9. 日本宗教における聖と俗 10. 仏教とキリスト教。

履修上の留意点

ときどき出席をとり, 評価の参考にする。講義中にあるテーマについて話し合いをし, 学生が総括し, 私がコメントする方法を考えている。

成績評価の方法

講義の内容にそったテーマを選び, レポートを作製する。400字詰原稿用紙5～8枚程度(参考文献明記のこと)。

教 科 書

佐々木宏幹著『神と仏と日本人——宗教人類学の構想——』吉川弘文館, 2,500円

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

ときにスライド, ビデオ使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (3) 〔 思 想 と 儀 礼 〕	さ とう のり あき 佐 藤 憲 昭	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。仏教・キリスト教などの成立宗教から、日常生活の中で展開している民俗宗教にいたるまで、およそ宗教と呼ばれる文化現象には、思想と儀礼の双方が具えられているのが普通である。もちろん、その思想や儀礼は、すこぶる洗練されている場合もあれば、さわめて素朴な場合もあるなど、さまざまである。そのいずれであれ、思想を行為化した営為が儀礼であることに変わりはない。この講座では、思想と儀礼との諸関係を通して、宗教文化に接近することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宗教学の成立史、構成内容、方法、などについて具体的に解説をした後に、儀礼の研究史を紹介しながら、思想と儀礼との諸関係について、内外のさまざまな事例を取り上げて考察する。つぎに、成立宗教としての仏教の儀礼と、民俗宗教としてのシャーマニズムの儀礼とをそれぞれ取り上げて比較分析し、思想がどのように行為化されているかについて突っ込んで考えてみたい。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価するが、59点以下の場合には、出席点を考慮して総合的に評価する。

教 科 書

佐々木宏幹『仏（ホトケ）と霊（タマ）の人類学』春秋社

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (4) 〔 組 織 と 運 動 〕	あらい けん 洗 建	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生ずる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生ずるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実即して考察し、宗教現象の理解を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学の性格、領域、学説史などを概観した上で、教団の類型について簡単に紹介し、宗教史的事実、特に近・現代の宗教運動の事実に基づいて、一般社会と宗教の問題を考えたい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学 (1), (2) 〔風土と文化〕	矢 野 よう 子 や の よう こ	短国・短英	4

講義のねらい

地誌的見地から日本の風土と文化とのかかわりを考え、各自の郷土の自然と文化に対する認識を深めたい。

「風土とは何か」風土についての問題は地理学以外の各分野、例えば哲学、思想比較文化などでも扱われている。

本講では、それぞれの風土と一体化された人間生活についてとりあげ、人類の文化の歴史と風土との関係を考えたい。

履修上の留意点

つねに問題意識をもって受講されたい。

成績評価の方法

前期は主としてレポート提出を行ない、後期の試験で評価する。

前期はレポート提出、後期は試験を行なうことにより評価する。

教 科 書

藤岡謙二郎その他共著・「日本地誌」大明堂 2,900円 人文地理学(1)

中村和郎・高橋伸夫編・「地理学への招待」古今書院 2,500円 人文地理学(2)

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

受講時に地図帳を用意することが望ましい。(高校の時の地図帳でよい)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学 (3), (4) 〔空間と行動〕	た だ とう いち 多 田 統 一	短国・短英	4

講義のねらい

人文地理学は、地表に存在する人文事象を対象に、それを地域的な視角から研究する学問である。すなわち、日本および世界の人口、集落、農牧業、工業、商業、交通、文化などの諸問題を、地域論や機能論、立地論などの視角からとらえる。

講義の内容・
授業スケジュール

次の①～⑧の内容を中心に授業を進める。

- ① 地理学の発達と人文地理学の課題
- ② 人口（分布、構成、移動）
- ③ 集落（機能、立地、形態、圏、計画）
- ④ 農牧業（立地、地域区分、産地形成）
- ⑤ 工業（分布、立地、集積、地域分業）
- ⑥ 商業（立地、圏、行動空間）
- ⑦ 交通（流、圏、網）
- ⑧ 文化（圏、伝播、変容）

履修上の留意点

地図や地図帳を積極的に活用してもらいたい。
世界や日本の地域の動向に興味をもってもらいたい。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの内容によって評価をおこなう。
夏休みレポートについて、希望者に発表の機会を与える。

教 科 書

横田忠夫『新地理学考』、大明堂、2,200円

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

- ① 授業の方法
講義を中心に進める。教科書のほか、プリントにより人文地理学の最近の研究成果についても紹介する。時事問題を適宜とりいれ、世界や日本の動向を地域的な視点から解説する。
- ② 地域調査
可能ならば、野外調査を実施したい。そうでなければ、文献調査によって地域の成り立ちや性格を調べる方法を習得させたい。

2 教養教育科目

(2) 社会分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (1) 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三	短国・短英	4

講義のねらい

現代社会において特徴的な問題とは何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段をとりうるのか。この講義は以下のトピックスに焦点をあてて、現代社会についての考察を深めていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- ①経済のグローバル化に伴う企業の社会貢献活動の意義。それと対比して想定される市民ボランティアの現状と今後の見通し。
- ②現代の社会変動に伴う家族ユニットの変化。特に少子化、高齢化を中心とした家族に関する諸問題の検討。
- ③高齢化社会に対応すべき「社会福祉」と「社会教育」の問題。
- ④高度消費社会の中に見受けられる消費の構造、特に「豊かさ」と「余暇」の問題。

履修上の留意点

開講時に説明する。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

安藤喜久雄他編『社会学概論』(学文社)
倉沢進・川本勝編『社会学への招待』(ミネルヴェ書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (2) 〔現代社会を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題——文化とは何か、現代とは何か、大衆文化等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社

参考書等

安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニスペット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (3) 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代文化」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代文化」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代文化」の諸問題——文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (4) 〔現代文化を考える〕	お びょう さん 呉 炳 三	短国・短英	4

講義のねらい

現代文化を理解する上でぜひとも押さえておかなければならない問題、すなわち、ジェンダー、若者文化、マス・メディアの3項目を中心にして、文化なるものの本質に迫ってゆく。詳細は以下の通り。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①社会・文化的産物としての男性／女性はいかにして生成されていくのだろうか。恋愛、性、結婚といった事項を中心にジェンダー（社会的な性）の問題を考える。
- ②若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？ファッション・音楽・恋愛等の視点から、若者文化を俯瞰してゆく。
- ③流行はマス・メディアによって創造されるのか。あるいはマス・メディアが流行に追随するのか。マス・メディアの現代的意義を特に「流行」という視点からとらえていく。

履修上の留意点

開講時に説明する。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

江原由美子・安川一ほか『ジェンダーの社会学』（新曜社）
伊藤公雄『〈男らしさ〉のゆくえ——男性文化の文化社会学——』（新曜社）
井上俊ほか編『岩波講座現代社会学（21）モード・デザイン・ファッション』（岩波書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (5) 〔社会生活を考える〕	いわ 岩 かみ 上 ま 真 み 珠	短国・短英	4

講義のねらい

社会学は、人間の行動を社会との関連で理解する学問である。「人間行動を通して社会を見通す」と言い替えてもよい。

個人は特定の社会に生まれ、社会の一員としてさまざまな社会現象に遭遇する。講義では、誕生から始まり、子ども期、青年期、成人期、老年期を経て死に至る個人のライフコースをたて軸にして、現代社会の中で個人が出会う主要な社会現象との関わりを通じて、同時代のわれわれをとりまく生活世界の理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、以下のスケジュールにしたがって進めるつもりである。

(前期)

1. 現代社会と個人のライフコース
2. 誕生の意味
3. 子どもの社会化と定位家族
4. 学校－仲間、競争、組織、高学歴化
5. 青年期－青年の意味、大人になる意味

(後期)

6. 産業社会と職業
7. 結婚と家族の形成
8. 中年期－子どもの独立、定年と老後の準備
9. 高齢化社会の構造と老年期のあり方
10. 死への準備

成績評価の方法

評価は、前期および後期の試験と平素の学習態度で行う。

教科書

高島・岩上・石川共著、『生活世界を旅する－ライフコースと現代社会－』、福村出版、¥2,400

参考書等

随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (6) 〔社会生活を考える〕	はし 橋 づめ 爪 さとし 敏	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「社会生活」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「社会生活」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「社会生活」の諸問題－社会的人間、つまり、社会によって形成され、また社会を形成していく存在としての人間。このような人間（個人）の成長と社会生活とは密接不可分に関わる。この関わり方の諸問題を考えることにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社

参考書等

安藤喜久雄編『人生の社会学』学文社
安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統 計 学 (1) 〔社会現象の統計的分析〕	いな ば とし お 稲 葉 敏 夫	短国・短英	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

成績はテストによって評価する。

教 科 書

「経済・商系基礎統計」稲葉三男・敏夫・和夫 共著（共立出版）1,800円

そ の 他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統 計 学 (2) 〔社会現象の統計的決定〕	くさ か やす お 日 下 泰 夫	短国・短英	4

講義のねらい

統計学は、観測値（バラツキをもったデータ）から観測値の源泉に関する結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定などに広範に使用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と方法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 統計的方法の本質, 2. 記述統計, 3. 標本空間と確率, 4. 確率変数と確率分布, 6. 母集団と標本, 7. 推定, 8. 検定, 9. 相関, 10. 回帰

履修上の留意点

統計学は数学の一分野であり、積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

後期末に行う試験を主に、出席状況、演習を加味して評価します。

教 科 書

P. G. ホーエル（浅井 晃, 村上正康 共訳）「初等統計学」（培風館）、¥1,700

参 考 書 等

開講時に紹介します。

そ の 他

重要な部分はその講義の終了の都度個別に演習を実施しますが、全講義の終了直前（12月頃）に3～4時間をかけて演習を行います。ここでは、これまでに学習した全内容に関する典型的な問題とその解答について解説し、自習のための便宜を図ります。また、モンテカルロ・シミュレーションなど、パソコンを使用したいくつかの演習（デモンストレーション）を講義内容に沿って実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (1) 〔文化と人間〕	き とう のり あき 佐 藤 憲 昭	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学は、日本を含む世界のさまざまな民族の文化や社会について比較研究をする学問である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするのである。国際化時代が到来している現在、異文化を理解することは必須の事柄といえよう。異文化の理解はまた自文化の理解を深めることでもある。こうした問題意識から、この講座では、内外の事例をできるだけ多く取り上げて、分析・比較・考察を行い、文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

かつて、狼に育てられた二人の少女がインドで発見されたことがあった。狼に育てられた子供たちと、人間に育てられた子供たちとを比較してみると、文化を所有している人間の特質が浮き彫りにされてくる。わかりやすい事例を取り上げて、文化と人間との関係をさまざまな角度から考える。つぎに、文化人類学の学問的特徴、対象、方法、歴史などについて具体的に解説し、さらに、家族、婚姻、親族、呪術、宗教的な観念や行動などの問題を取り上げて、「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

履修上の留意点

夏期休暇中に文化人類学に関する本の感想文を作成してもらおうが、その提出は希望者のみとする。また、抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には筆記試験で評価するが、試験の結果が59点以下の場合には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教 科 書

村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』（有斐閣Sシリーズ）有斐閣

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (2), (3) 〔文化と人間〕	ふじ さき やす ひこ 藤 崎 康 彦	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学全般に渡り概説的な講義を行う。ヒトは生物学的な共通性を持ちながらも文化を身につけることで多様な生活を組み立てて来た。「文化と人間」についてその「普遍と特殊」の観点から考えたい。私の研究上の背景は心理人類学的なものである。文化を様々なコミュニケーションとしてみる立場から説きたい。同時に社会人類学的な考え方もバランス良く取り込みたい。又、日本の民俗文化を人類学的な広がりで見ると考える時間も適当に組み込むことを考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次の項目について講義をする。
1. 文化の概念、文化の生物学的基礎
 2. 言語とコミュニケーション
 3. 家族・親族・婚姻
 4. 妖術・呪術・シャーマニズム
 5. 心理人類学
 6. 経済の技術・生活の技術
 7. 法と政治の人類学
 8. 日本の民俗文化再考
 9. その他のテーマ

履修上の留意点

質問や意見は歓迎する。積極的に参加していただきたい。しかし私語等の身勝手な行動には極めて厳しい態度で臨む積もりである。

成績評価の方法

学年末の定期試験で成績評価を行う。

教 科 書

祖父江孝男『文化人類学入門——増補改訂版——』中央公論社（中公新書）¥800 程度
値段と内容のバランスから上記を教科書とするが、毎回補充のプリントを用意する。

参 考 書 等

全般に渡る概説的な参考書としては、シュルツ、ラベンダ共著『文化人類学Ⅰ、Ⅱ』古今書院、P. K. ボック『文化人類学Ⅰ～4』講談社学術文庫がある。どちらも情報量が多くすすめる。後者は考え方が特徴があり良い。トピックごとの参考文献はプリントで紹介する。

そ の 他

できるだけVTRを使って講義をしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (4) 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゅん いち 杉 井 純 一	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学という学問に近づく第一歩は、まず、地球上には様々な生活を営み、独特の慣習・文化を形成している人々が存在しているという事実から改めて気づくことから始まります。文化人類学はそうした民族や文化の多様性を相互に比較することで、「人間とは何か」といった根源的な問いに答えようとするものです。例えば、人々の生活空間や神話・儀礼の分析などを通して、「人間を取りまく世界・宇宙の成りたちやしくみ」についての観念体系を解釈していきます。

本講義では、文化人類学の基礎を最初に学び、その上で「民族とコスモロジー（宇宙観、世界観）」についての理解を深めます。そして最後に「民族とコスモロジー」に関する典型的な事例を取りあげ、より詳細に検討します。こうした過程で、受講者の皆さんが文化人類学的な見方、まなざしを身につけていくことを目指しています。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容は以下の項目を予定しています。

- I 文化人類学入門
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化とコミュニケーション
 3. 環境と経済
 4. 婚姻・家族・親族
 5. 政治と権力
- II 民族とは何か
 1. 民族とエスニシティ
 2. 民族と国家
 3. 民族と宗教
 4. マイノリティ（少数民族）
- III コスモロジーの理解
 1. 共同体と象徴的秩序
 2. 呪術と宗教
 3. 神話と象徴
 4. 儀礼と世界観
 5. 災因論と病因論
- IV 民族とコスモロジーの諸相

成績評価の方法

出席、レポート、試験の成績をもとに総合的に評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (5), (6) 〔諸民族とコスモロジー〕	むら たけ けい 村 武 慶	短国・短英	4

講義のねらい

文化あるいわ社会をコスモロジー（宇宙論）との関連でとらえる。従来コスモロジーの研究は、儀礼、神話などを個々に分析する傾向にあったが、コスモロジーとは、家族・親族・共同体なども含めて、文化あるいわ社会の全体と深くかかわっていることを理解してもらいたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 文化のとらえ方
 - (1) 19C進化論者の文化のとらえ方
 - (2) 20C現代文化人類学の文化のとらえ方
 - ・B. マリノフスキー 機能主義
 - ・A. R. ラドクリフ＝ブラウン 社会構造との関連
 - ・C. レヴィ＝ストロース 解釈学的構造論
 - ・E. リーチ 文化の中における分類体系
- II 経済生活 採集狩猟民・牧畜民・農耕民互酬性
- III 親族組織 リニイジ・キンドレッド
- IV 宗教とコスモロジー 宗教と呪術・儀礼神話
- V 民族（文化）とコスモロジーのいろいろ
 - (1) 共同体のコスモロジー
 - (2) 家族や婚姻とからんだコスモロジー
 - (3) 沖縄におけるコスモロジー

参 考 書 等

『宗教人類学』佐々木宏幹・村武精一編 新曜社
『文化人類学』村武精一・佐々木宏幹編 有斐閣Sシリーズ

教 科 書

教科書は特に指定しないので、できる限り授業に出席することが望ましい。時には授業中設問に答えてもらうこともある。年に2・3回はビデオを使用することにより、具体的に事例を理解してもらうようにしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (7) 〔社会変化と価値観〕	お 小 川 とし 順 小 川 とし 順 敬	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする文化人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではありません。比較を通してその差異と共通性について考え、それらの作業を通じて文化とは何か、人間とは何かについて考えようとしているのです。

この講義では、私たちにとっては一見奇妙に思えてしまう異文化の慣行のなかにある考え方を探りたいと考えています。そしてまた同時に、日頃私たちが何気なく行っている生活慣行をふりかえり、異文化と比較しながら、その意味を考え直してみたいと思います。ふだんは気付かない私たちの文化の形が、異なる文化の調査者の目を通して現れてくるのではないのでしょうか。すなわち、この2つの目的は比較という作業を通してこそ可能となるものなのです。

なお、この講義は専門課程の前段として行なうものではありません。したがって、文化人類学の専門性の強い講義ではありません。あくまで文化人類学の基本的な考え方について受講のみなさんに理解を深めてもらうことを第1の目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

文化人類学の研究対象領域は広範にひろがり、研究方法も多岐にわたっています。1年間の講義でそのすべてに触れることは不可能です。そこで、この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説することにしたと思います。

文化人類学は、異文化社会を調査の対象としてきましたが、これまで「異文化社会」というのは非西欧世界の伝統社会を意味していました。それらの社会は15、16世紀の大航海時代以降「発見」された「異なる文化をもつ社会」であり、その時以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。すなわち、「植民地主義」や「開発」によって絶え間なくこれらの社会は変化し続けているのです。

文化人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたといえます。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システム導入、新しい宗教、新たな価値観の変化が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。

この講義では、文化人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、変容という角度から紹介していきたいと思います。伝統的な社会組織、親族組織、経済システムと近代化がもたらした社会変化、キリスト教など外来宗教がもたらした伝統社会の価値観の変容、そして人類学者自身がこれらの問題をどの様に認識し、問題としてきたのかについて考えてみたいと思います。

前期の講義では文化人類学の一般的な概説と、後期の授業に必要な基本的な概念を解説します。後期は具体的な事例を通して「社会変化と価値観」について考えていきたいと思います。

なお教科書は下記のものを使用します。しかし、最近は様々な工夫をした教科書や、文庫等の安価な文化人類学関係の出版物も出されていますので、何冊か紹介したいと思います。

成績評価の方法

年に1回のレポート提出(夏期休暇あけ)と、年度末の筆記試験により評価します。年度末の試験は必須条件です。レポートは受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容・形式、出席その他に関しては最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男著『文化人類学入門』 中公新書560番 800円

参考書等

講義の内容に直接関連する参考書は適宜紹介します。

その他

年に2、3回は講義の内容に関連するビデオを見たいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (8), (9) 〔社会変化と価値観〕	うち やま あき こ 内 山 明 子	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学は、どんなに異質にみえる文化であっても、できるかぎり偏見をもたずに理解しようとする努力の中で発展してきました。自分の文化がもつ尺度を無批判に持ち出すことを慎みながら、相手の文化と自分の文化との比較を繰り返していく。そうすることで、相手の文化への理解が深まるばかりでなく、自分の文化に対してもそれまでとは違った視点から眺められるようになっていくのです。もっとも文化人類学は、西欧の近代化の中で生まれ育ったものであり、その理論には近代西欧の価値観が色濃く反映されています。また、調査する側とされる側の間には、文明／未開、近代／伝統、宗主国／植民地といった対立関係が付きまとってきました。しかし、文化人類学を支えてきたこのような基盤は、近代化が地球の隅々にまでその影響力を及ぼしている今日、大きく揺らいでいます。この新しい状況に応じるべく、文化人類学では今、みずからの足元を見つめ直し、新たな展開を求め様々な試みがなされています。本講義では、文化人類学の基本的な考え方を紹介した後、社会変化と価値観というテーマで、この新しい動きについて様々な事例をあげながら皆さんと考えていきたいと思ひます。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基本的な考え方（フィールドワーク、世界観、親族など）
- II 社会変化と価値観（社会／文化変化への取り組み方、近代化と文化人類学－世界システム、民族と国家など）

成績評価の方法

全講義の最後に行う筆記試験

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (1) 〔法と社会生活〕	は せ が わ ひ で よ 長谷川 日出世	短国・短英	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

「ポケット六法」 有斐閣

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (2), (3) 〔法と社会生活〕	わ ち けい いち 和 知 憲 一	短国・短英	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っているのである。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。

講義名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、『今後、良き社会人として生活していくために、これらの、社会にある「法」が何であるのかを理解すること、またその「法」を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること』を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。ただし、一方通行になることを避ける意味で、授業中に多数の質問を行ない、挙手してもらうこととする。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業の中では、『渋谷の駅前でキャッチセールスに捕まり、高額な英会話の教材を買わされてしまった。この「契約」の効力はどうか、どうしたら「手付け金」を返してもらえるか』など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば『今朝の新聞に、官僚が「収賄罪」で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか』など、up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

I 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法と道徳をめぐる問題
4. 法の体系と分類
5. 法の目的
6. 法と裁判
7. 裁判の基準（法源）
8. 法の解釈

II 社会生活と法

9. 犯罪と刑罰
10. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
11. 財産生活と法（人・物・契約など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

私語はいっさい認めない。出席は重視する。原則として、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。板書を多く行うので、その単なる写し作業で終わらないこと。授業の中で理解し、考察する態度を涵養するため、講義内容で触れたように、こちらから多数発問し、それに答えてもらう時間を作る。従って、単に教場にいるだけでは出席とは認めない。

成績評価の方法

出席を重視し、受験資格を与える。その試験に平常点を加味して評価する。

教科書

- 法学・憲法 小林弘人・松村格編著（八千代出版）
 - ポケット六法（平成9年版）塩野宏等編（有斐閣）
- ※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

授業の中で、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (4) 〔法と社会生活〕	けい とく ひろ とし 鶏 徳 啓 登	短国・短英	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は、国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って、国的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。

本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

法学の講義は、次の内容を中心として行う。

i 社会生活と法 ii 法の意義・効力 iii 法規範と他の社会規範との差異 iv 法の分類と解釈の方法 v 市民法の概論 vi 刑事法の概論 vii 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

i 憲法の意義 ii 憲法の種類 iii 明治憲法の原則と特質 iv 現憲法の原則 基本的人権の主体 v 基本的人権の分類 vi 各種基本的人権の内容 vii 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用 viii 裁判所の仕組みとその作用 ix 地方自治

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験による。

教 科 書

『法学・憲法』小林弘人・松村 格編著（八千代出版株式会社）3,500円

参 考 書 等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (5) 〔法と権利〕	わ ち けい いち 和 知 恵 一	短国・短英	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法に取り囲まれながら生活している。諸君も、毎日のように電車やバスに乗るであろうし、スーパーマーケットで買い物もするであろう。それらの行為は、すべて、法的な側面を持っているのである。電車に乗り料金を払うことや、品物を受け取り代金を払うということは言葉を代えていえば、権利を行使し、義務を履行することである、といえるのである。

講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルは（法と権利）とされている。そこで、本講義においては、『法学の基礎を理解し、その上で、権利及び義務が法によってどう守られ、どのような制限を受けているのか』を確認・検討してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。ただし、一方通行になることを避ける意味で、授業中に多数の質問を行い、挙手してもらうなど、全員が参加する授業にしたい。授業の中では、『カードは安全かークレジットカードを持つ心構え』『欠陥商品による被害や、悪徳商法に引っかけられないためにはどうすべきか』など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。また、『医療事故や交通事故にあった場合に、被害の救済はどうかされるのか』など社会生活を営む我々の「権利」にスポットを当てて講義する。

おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、テーマ以外にも、関連テーマから随時条文に当たり、年間を通してはほぼすべてに触れられるよう配慮する。

I 法学

1. 法学を学ぶにあたって（権利と義務は反対語か）
2. 法とは何か
3. 法と道徳をめぐる問題
4. 法の体系と分類
5. 法の目的
6. 法と裁判
7. 裁判の基準（法源）
8. 法の解釈

II 法と権利

9. 犯罪者の権利と義務
10. 労働者の権利と義務
11. 消費者の権利と義務
12. 患者の権利と義務
13. 企業の責任
14. 憲法上の権利と義務

履修上の留意点

私語はいっさい認めない。出席は重視する。原則として、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。板書を多く行うので、その単なる写し作業で終わらないこと。授業の中で理解し、考察する態度を涵養するため、講義内容で触れたように、こちらから多数発問し、それに答えてもらう時間を作る。従って、単に教場にいるだけでは出席とは認めない。

成績評価の方法

出席を重視し、受験資格を与える。その試験に平常点を加味して評価する。

教科書

- 法学・憲法 小林弘人・松村格編著（八千代出版）
 - ポケット六法（平成9年版）塩野宏等編（有斐閣）
- ※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

授業の中で、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (6) 〔法と権利〕	にし 西 おさむ 修	短国・短英	4

講義のねらい

何年前かに発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗している診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があります。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にされた授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・ 授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、法と人権、を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野においた幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。

取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

教 科 書

開講時にシラバスにし指示。

参 考 書 等

開講時にシラバスにし指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (7), (11) 〔法と権利〕	しげのたかはる 茂野隆晴	短国・短英	4

講義のねらい

“法と権利”を学び、「法」というものを知ることによって、我々は社会生活をする上で、どのような目的を達成することが出来るのであろうか。それは大要、次の3点に帰着するのではなかろうか。

- i 『抽象的な概念構成をする力』を身につけること
我々が社会生活を送るに当たって、様々な社会現象がそこに生じることになるが、そうした現象のなかで、どれが法的に意味をもつものであるか。それを抽出して、しかも法的価値判断にてらして、「有効」か「無効」か、或いは、「適法」か「違法」かを判断するには、「抽象的な概念構成をする力」を是非とも必要とするのである。法を学ぶことによって、それが得られるのである。
- ii 自分自身の見解をもつこと
我々の社会には、種々の考えをもつ人々が存在する。例えば、「死刑廃止」ということについて意見を訊ねれば、それを是認する意見と、否認する意見とに分かれることは、明らかである。人間の人生観・世界観というのが、人によって異なる以上、それは当然のことであり、止むを得ないことである。そうした社会であるから、事物の是非を判断するに際しては、客観的な証拠を裏づけとして処理することが必要である。即ち、法を学ぶことによって、事物を正確に把握し、客観的な裏づけをつかんで、判断する態度を身につけなければならないのである。日本人は、ややもすれば、多数の意見に附和雷同する傾向が強いが、自分自身の見解をもつことによって、正しい判断を下すことが出来るようになるのである。
- iii 『妥当性をもった考え』を確立すること
法は本来、いかなる時でも、いかなる場所でも正しいものでなければならない筈である。それこそが「正しい法」といえるからである。従って、法を学んだ以上、その判断は、「正義」に立脚するものでなければならない。本人の利害による自分勝手な判断や、恣意的な行動は、厳に慎まなければならない。あくまでも「正義」に合致した「妥当性をもった考え」を身につけるように、努めなければならないのである。

講義の内容・
授業スケジュール

〔第1回〕◎「法と権利」を学ぶに当たって

本講を学ぶ際に最も肝要なことは、「法」というものが、いかなるものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにあると思う。このことは、先ず最初に、しっかりとつかんでもらいたいところである。

〔第2回〕◎法と社会生活

社会そのものが維持されるためには、社会内部の秩序維持がなされなければならないことはいうまでもない。秩序が乱れ、個人がその生命などを自分で守らなければならないとするならば、その社会自体も危うい。従って、社会が成立するための要件の第一は、秩序維持である。そのためには、秩序を乱した者に対しては、死刑を含む制裁（現行法のもとでは）を科す必要が生じる。それは、当然のことながら、強制的に行わなければならない。

〔第3・第4回〕◎法と他の社会規範

社会の支配組織が確立するにつれ、社会規範は分化し、独自の領域を形成するようになった。即ち、あるものは、単なる流行に終わり、あるものは、儀礼や、風習、習俗、習慣といわれるものとなり、あるいは道徳や宗教として一領域を形成するようになり、こうしたもののなかから、やがて、法として宣言されるものが出てきたのである。

〔第5・第6回〕◎法の種類

法は社会生活が多岐となるにつれ、その内容も次第に複雑化し、その数も多くなったことから、さまざまな基準によって、法の分類がなされるのである。

〔第7・第8回〕◎法源（法の淵源）

法源とは、裁判官が裁判をするに当たっての基準として用いられる法規範といえる。裁判所の恣意のままに裁判がなされないためにも客観的な基準となるべき法規範が必要である。

〔第9回～第13回〕◎法の生成

我国における法の発達を観る。「上古法」、「中古法」、「中世法」、「近世法」、「近代法」、「現代法」の6期に分ち、各期の特徴を講述する。

〔第14回〕◎法と裁判①（裁判所の種類と仕組み）

〔第15回〕◎法と裁判②（裁判官・検察官・弁護士及び調停制度）

〔第16回〕◎国家

〔第17・第18回〕◎憲法①（日本国憲法の成立他）

〔第19・第20回〕◎憲法②（基本的人権の保障）

〔第21・第22回〕◎憲法③（「国会」）

〔第23・第24回〕◎憲法④（「内閣」と「裁判所」）

〔第25・第26回〕◎民法①家族法のⅠ（親族法）

〔第27・第28回〕◎民法②家族法のⅡ（相続法）

成績評価の方法

遅刻・退席・私語等、平素の学習姿勢も勘案し、試験の成績に出席度を加味する。

教科書

大久保・茂野・櫻井共著『現代法学』（高文堂出版社）¥2,980

大久保・茂野共編『日本法制史史料集』（芦書房）未定、それに小型の六法全書を揃えるように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (12) 〔法と権利〕	みつ だ まさ よし 光 田 督 良	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、「法学・憲法」と二つの標題を持ちますが、全体としては、「法と人権」というテーマのもとに講義をすすめます。

人権を保障している憲法も「法」の一つです。まず、「法とは何か」ということを検討します。そのためには、できるだけ多くの「法現象」を見聞することが必要です。それは、これらについての個別分野の専門科目が多く存在する事からも理解できます。しかし「法学」の講義が、それぞれの個別分野を概観するような内容であれば、中途半端な内容となってしまいます。したがって、講義では、これら個別分野の科目に共通する、法の一般的な、基礎的な考え方について検討します。

次に、憲法の内容に入ります。「憲法」の講義の目的は、日本国憲法の内容を、主として憲法解釈学の立場から理解することにあります。憲法の講座では、本来、日本国憲法全体を対象として検討しなければなりません。講義では、本講のテーマおよび時間的制約から、特に人権を中心に検討します。具体的には、人権の内容、限界、制限といった点が主たる内容となります。もっとも、その際、国会、内閣、裁判所などの統治（政治）機構についても、人権との関連において、人権をよりよく確保するための制度という観点から、必要に応じて、採り上げます。

「法の一般的な、基礎的な考え方」、「人権の内容、限界、制限」の検討というと、どうしても抽象的で、難解であると考えられがちです。しかし、抽象的な検討に終始すれば、十分な理解もできませんし、また学修する意欲、興味を損なうこととなります。そこで、講義では、できるだけ、判例など実際に起きた具体的事柄に例を求め、分かりやすく説明するつもりです。

また、人権をめぐる法現象は社会現象の一つですので、現実の社会において現在生じている事柄についても、「今」の法を考えるという意味において、関連性、必要性に応じて採り上げるつもりです。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、具体的には以下のようなスケジュールで行います。

序 法学・憲法を学ぶに当たって

- I 法とは何か
 - 1 法とは何か ― 法の定義
 - 2 法と道徳（関係の歴史・区別の基準）
 - 3 法の構造
 - 4 法における強制（主体・方法・意味）
 - 5 法の目的（正義・秩序）
 - 6 法の効力
 - 7 法の適用
 - 8 法の解釈
- II 憲法における人権
 - 1 日本国憲法の基本原理
 - 2 基本的人権の視角
 - 3 包括的人権
 - 4 法の下の平等
 - 5 内心の自由
 - 6 信教の自由と政教分離
 - 7 表現の自由
 - 8 経済的自由
 - 9 身体的自由
 - 10 社会権
 - 11 立法と国会
 - 12 行政と内閣
 - 13 裁判と司法

履修上の留意点

講義では、「検討する」という姿勢を重視します。したがって、受講者も、講義を聞き、板書を写し、それを覚えるということではなく、常に「考える」という態度で望んでほしいと思います。そのためには、少なくとも、教科書の講義該当部分を読んでおくことが必要です。

成績評価の方法

成績は、学年末に行う試験を中心に評価します。受講者数にもよりますが、出席をとった場合、それを平常点として評価することもあります。

教科書

- I の分野については、有沢知子・光田督良・山本悦夫著『法と社会生活』尚学社 2,060円
- II の分野については、古野豊秋編『スタンダード憲法 テキスト版』尚学社 1,000円

参考書等

六法（用途に応じた種類等については開講時に紹介します）。参考書等は講義の進行に応じその都度紹介します。

その他

主として講義の形式ですすめます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 (8) 〔法と国家〕	にっ た ひろ し 新 田 浩 司	短国・短英	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて本年をもって50年を迎える。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりもさまざまな問題を孕んでの制度であった。自衛隊をめぐる国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その歪みが社会の隅々に露呈している。たとえば、政治腐敗、企業の談合、公務員の汚職、イジメ問題、カルト集団による犯罪、あるいは凶悪犯罪の増加、環境問題等々。

法は、社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法、そして憲法がこれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題の発生においては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多いに影響するものであるといえる。

現行憲法に、我が国の国民がそして文化が制約されてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。還元すれば、我が国の国がらに、現行憲法は相応しいか等検証すべき点は多い。これは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

現実に発生する様々な憲法上の問題、たとえば、湾岸戦争を契機とした自衛隊の海外派兵問題、日米安保条約の見直し、夫婦別姓、外国人の選挙権さらには、プライバシーの権利、環境権など新しい人権に対して現行憲法は対応できるのか検討する必要がある。

講義においては、以上のような視点に立って、現実に発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

教科書

高乗正臣・佐伯宣親著『現代憲法学の論点——判例から学説へ——』成文堂 ¥2,500

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 (9) 〔法と国家〕	さい とう ひろし 齋 藤 洋	短国・短英	4

講義のねらい

法学及び憲法の基礎的理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順序で講義をする予定である。

- | | | |
|----------------------|------------------------|----------|
| 1 法学の基礎 - 1 - | 11 基本的人権 2 - 人権の適用範囲 - | 21 生存権 |
| 2 法学の基礎 - 2 - | 12 新しい人権 | 22 教育権 |
| 3 法学の基礎 - 3 - | 13 法の下での平等 | 23 国会・内閣 |
| 4 憲法学の学び方 | 14 信教の自由と政教分離 | 24 司法権 |
| 5 憲法と国家 | 15 表現の自由とその制約 | |
| 6 日本国憲法の制定過程 | 16 学問の自由 | |
| 7 日本国憲法の基本原理 | 17 経済的自由 | |
| 8 天 皇 | 18 身体的自由 | |
| 9 戦争放棄 | 19 国務請求権 | |
| 10 基本的人権 1 - 人権の主体 - | 20 参政権 | |

履修上の留意点

授業は予習してあることを前提に進めるので、かなりハイペースになると思われる。予習をしないと授業についていけないことを肝に銘じてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末の定期試験で決定する。

教科書

高乗正臣・佐伯親宣『現代憲法学の論点——判例から学説へ——』成文堂、約2,500円

参考書等

六法全書を常備していれば好ましい。

その他

ほとんど板書しないので、各自は自分で自分なりのノートを作成してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (10) 〔法と国家〕	お だ て る 織 田 晃 子	短国・短英	4

講義のねらい

①法とは何かに始まり、②私人間における基本的人権の尊重、③財産関係と法について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記①の法とは何かでは、法と道徳、法と正義、法の解釈と適用等について。②の私人間における基本的人権の尊重では、例えば、私企業への入社に際しての身上書と基本的人権、私立学校(大学)の学則と基本的人権、安楽死と基本的人権等について。③の財産関係と法では、所有権の絶対性とその制限、権利概念の拡大と限界、契約自由の原則とその制限、権利侵害と損害賠償等について。

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数による。

教科書

「法学・憲法」 八千代出版 ¥3,500

参考書等

「判例法学」 有斐閣ブックス ¥2,060
ポケットサイズの六法 有斐閣

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (1) 〔社会生活とデモクラシー〕	こ ばやし まさ とし 小 林 正 敏	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、政治学の領域のなかでも現代社会の市民生活とデモクラシーの関連性に焦点を合わせて論述しようとするものである。それだけに、従来の政治学入門を、より身近な存在にしていることが、講義の基本的コンセプトであるといえる。

講義の内容・
授業スケジュール

いわゆる政治学入門に相当するものは包括的に取り上げていくが、とりわけ選挙制度、選挙の実態、政治意識などには力点をおいて講義を進めたい。

履修上の留意点

映像メディアばかりでなく、新聞、雑誌等の政治記事、評論、解説にも精力的に関心を寄せて欲しいものである。

成績評価の方法

学年末試験の成績を中心に評価する。

教 科 書

小林正敏他著『政治学講義』（成文堂）

参 考 書 等

開講後に必要に応じて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (2) 〔政治システムと政治参加〕	かみ じょう すえ お 上 條 末 夫	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

民主政治は「参加の政治」といわれるように、国民が政治に参加することによって主権を行使し、その民意にもとづいて行う政治のことであり、「国民の、国民による、国民のための政治」がそれである。また、「国民の政治意識以下の政治も、国民の政治意識以上の政治もない」といわれるように、国民がどれだけ政治を理解し、どの程度の政治意識をもち、どのように政治参加するかが、民主政治の決め手となる。

本講義においては、政治システム（体系）とのかかわりにおいて、主権者として政治に参加するために必要最低限の政治的知識を体系的に理解せしめることをねらいとする。事例をあげながら、具体的かつ平易に解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 政治と社会生活（4月～5月）
 - ① 人間社会との必然的なかかわり合い
 - ② お祭りと政治のはじまり
 - ③ 国家が形成され存在する意味
 - ④ 権力のプラス面とマイナス面
2. 政治システムの仕組みと意味（6月）
 - ① 政治システム（体系）の成り立ち
 - ② 政治への入力（インプット）
 - ③ 政治システム内部での変換（チェンジ）
 - ④ 政治からの出力（アウトプット）
3. 民主政治の仕組みと原理（7月）
 - ① 国民主権の意味と憲法
 - ② 議会主義（間接政治）と代表の原理
 - ③ 民意の反映と多数決の原理
 - ④ 内閣制度と行政のあり方
4. 政治的要求と参加（9月～10月）
 - ① 選挙システムと投票の意義と効果
 - ② 政党システムと政党に対する支持
 - ③ 政治に対する関心と大衆運動のあり方
 - ④ 住民参加のあり方と地方自治
5. 大衆社会と民主主義（11月）
 - ① 大衆社会の成立と政治的平等化
 - ② 政治参加者の増大と政治的要求の多様化
 - ③ アウトプット機能の低下と政治的不満の増幅
 - ④ マス・メディアと政治とのかかわり
6. 政治改革と国民の責任（12月～1月）
 - ① 政治腐敗の原因と政治資金のあり方
 - ② 地方分権のあり方と地方自治体の改革
 - ③ 行政改革と国民へのサービス
 - ④ 福祉の充実と国民の負担

成績評価の方法

定期試験の成績と小テストおよび出席点によって評価する。

教 科 書

上條末夫他『改訂・政治学概論』（北樹出版，3,600円）

参 考 書 等

加藤秀治郎・中村昭雄『スタンダード政治学』（芦書房，2,700円）

そ の 他

講義のほか質疑応答によって理解を深める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (3) 〔国際社会と日本〕	うらたさなえ 浦田早苗	短国・短英	4

講義のねらい

政治的に混沌の1990年代後半、新たな世界秩序が模索されている現在、世界は大きな転換期にある。国内では政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となり、これまでの政治のありかたに変更が求められている。また、日本の急激な経済成長は経済摩擦、円高、体制的維持費の分担要求といった国際問題を引き起こしている。本講義では、世界における日本の位置を、国際化・情報化された現代社会の枠組みの中で考察し、今後の日本の進むべき方向を明らかにすることに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

講義の冒頭では各自の政治への関心を高めるため、その週に起こった国内外の時事問題を取り上げ解説し、現代社会が抱える問題について考える。前期の講義では、日本の政治事情の比較対象として1980年代から現在に至るアメリカ、イギリス、ドイツ、フランスそれぞれの国の政治を概観する。スタグフレーションとレーガノミックスからクリントンの政治、サッチャー政権以後の保守党優位のイギリス議会政治、ドイツ統一と冷戦の終結過程、EUの成立とフランス、シラクの政治外交等が中心テーマである。後期は、例えばマクシミン戦略、多数決のパラドックス、公共性の理論といった政治理論をまず概説し、続いて現代日本社会の問題点を考察する。取り上げるテーマは、日本農業の国際化、外国人労働者問題、環境政策等である。

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト・簡単な政治論評は出席点代わりとし、学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する（ノートの持ち込みは不可）。

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。参考書は必読でないが、常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 (1) 〔現代社会と市場経済〕	あさだとういちろう 浅田統一郎	短国・短英	4

講義のねらい

本講義では、現代経済学において主流的な地位を占めるいわゆる現代経済学において主流的な地位を占める近代経済学の理論体系に基本的に依拠しながら、私達がその中で日々生活している現代の市場経済のしくみをわかり易く体系的に解説します。本講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門になっていますが、経済学をもっと本格的に学びたい人にも役立つように工夫されています。具体的には、本講義は、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得理論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡しとしても役に立ちますし、また、経済学を専攻しない学生諸君に教養として身につけておくべき経済学の必要最小限の知識を提供することを目的としています。特に、私達にとって身近な経済問題を解釈したり、その解決策を探るために経済学の考え方がいかに役立つか、ということをも具体例に基づいて明らかにします。とりあげるテーマについては、以下のようものを考えています。

1. 経済学の課題
2. 市場経済のしくみ
3. 需要と供給の法則
4. 国民所得について
5. 財政・金融政策について
6. 景気の話
7. バブルとその崩壊について
8. 国際貿易と国際通貨体制の話

なお、教科書は、幸村千佳良『経済学事始』を使用しますが、経済学をもっと本格的に学びたい受講者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回（前期・後期）行う筆記試験によって評価します。

教科書

幸村千佳良著『経済学事始』（多賀出版）

参考書等

伊藤元重著『入門経済学』（日本評論社）
林 敏彦著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 (2) 〔現代経済と人間〕	まつ い りゅう へい 松 井 柳 平	短国・短英	4

講義のねらい

経済学とはどういう学問であろうか。例えば、経済学部^の学生の人たちのうちに、この疑問に答えられる人はどのくらいいるであろうか。多くの人はよくわからずに、将来、会社に就職するのに都合がよいであろうくらいに考えて、経済学部^に入学しているのが実態なのではないであろうか。同じ社会科学系でも法学は何を勉強するのかイメージしやすい。裁判官、検察官、弁護士など法に携わる職業もはっきりしている。それに比べて経済学は、何を勉強するのかイメージしにくい。これは一つには高校までの勉強の中に、経済学的要素が希薄なためである。

経済学はしばしば、俗物的な関心に結びつけられ、誤解されている。経済学の修得によって「社会に出た後で、その知識を直接、職場で活用できる」とは限らないし、まして、「経済学を学ぶと金儲けができる」とか、「金持ちになれる」というものではない。私たちの生活や仕事は社会の経済活動によって大きく左右されているが、経済学の知識があるからといって、仕事を要領よくこなせるとか、営業成績を向上できるというのではないのである。

経済学とは、私たちの社会において、さまざまな経済活動がどのように営まれ、私たちの生活にどのような影響を及ぼしているか、そして、私たちの生活を改善するにはどのようにしたらよいかといったことを研究する学問である。つまり経済学は、社会の仕組みを探求し、さまざまな社会の問題に対してその解決策を追求する。今日、経済学という学問が対象とする範囲は非常に広がっている。現実の経済は言うに及ばず、政治、法制度、社会規範、歴史、文化、人間関係など、およそ人間がかかわるあらゆる事象は、経済学の対象となりうる。このことは、経済学が普遍的な理論をもっていることによるものである。もっとも、経済学の理論はその説明能力をより向上させ、より適切な問題解決を与えるように、つねに進化しているが、しかし経済学は、参照点となる普遍的な一般理論をすでに確立しているのである。つまり個別的で場あてり的な理解の集積ではなく、系統的な理解、広範囲にわたって通用する論理のシステムを経済学もっているのである。このことが、経済学は社会科学の中にあつて自然科学に近いとされるゆえんの一つである。

本講義は、はじめて経済学を学ぶ方を対象にしている。そうした方々に、経済学をできるだけわかりやすく紹介し、現実の経済を理解するための手段としての、あるいは経済についての評価の基準としての、経済学の考え方・理論を修得していただくためのものである。

講義の内容・授業スケジュール

「近代経済学」と呼ばれるものの基礎理論を基本的な考え方に重点を置いて、平易に講義する。本講義では経済学を、アプローチの違いからミクロ経済学とマクロ経済学とに分け、ミクロ経済学から始め、マクロ経済学に移る。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、社会の合法則性を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまなあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

マクロとは巨視的ということであり、マクロ経済学は経済諸主体の活動を例えば1国全体の規模で集計した国民所得などの集計量を用いて分析し、さまざまな集計量相互の関係を考察する。

履修上の留意点

毎回、授業の最後に次回の講義内容の範囲を指定するので、授業前に必ず予習をしてくること。熟考してもなお、疑問点があれば積極的に質問するなどの姿勢が望まれる。

なお、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

成績評価の方法

期末試験で評価する。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学 (3), (4) 〔現代経済理解へのガイド〕	おのとしお 小野俊夫	短国・短英	4

講義のねらい

経済は現代社会の基本であり、経済学は現代経済を理解し、広く社会諸科学を学習し理解するためには必須の学問である。この講義では、現代経済社会の仕組みと運行の仕方を理解し、正しく分析し得る力を身につけるためには不可欠な理論の基本を、いわゆる近代経済学の立場から体系的に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義は次のように進められる。
1. 経済学発展史要説：経済学への入門をかねて
- ミクロ経済学
2. ミクロ的経済循環とミクロ経済学
 3. 消費者行動の理論
 4. 企業行動の理論（企業の生産技術と生産費，完全競争下の企業行動，独占企業の行動）
 5. 完全競争経済と独占
 6. 不完全・独占的競争の理論
 7. 現代企業と市場の理論
- マクロ経済学
8. マクロ的経済循環とマクロ経済学
 9. 国民所得の諸概念
 10. ケインズ有効需要の原理と理論体系要説
 11. ケインズ経済学体系（消費・貯蓄関数，国民所得の決定と投資乗数の理論，投資決定の理論，利率決定の流動性選好理論，ケインズ理論体系とIS-LMモデル）
 12. 経済成長と景気変動
 14. 政府および外国貿易を考慮する一般的な分析

履修上の留意点

講義を理解するために経済に関する予備知識は必要としないが、学問はそもそも一つの体系であるから、常に出席して講義の順を追って理解して行かねばならない。

成績評価の方法

成績は学年末に行われる教場試験の結果によって評価する。しかし平素の出席率が好ましくない場合には、適宜行なう出欠調査、小テスト、レポート提出などの結果も考慮して、最終評価を行なう。

教 科 書

小野俊夫編著『現代経済学の基礎』（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	短国・短英	4

講義のねらい

現代の社会は複雑に入り組んだ多くの問題をかかえています。ME化・情報化の波が世界に波及する一方、アフリカ・アジアには部族間の対立による流血の惨事がくり返され、食料不足による餓死者もあとを絶ちません。地球環境の破壊は深刻さを増しています。また、「豊かな社会日本」には、長時間労働という現実があり、世界に例のない過労死現象まで生ずるに至っています。大国による核兵器の保有とたび重なる実験は、平和の推進ではなくその悪化に役立てられているようにも見えます。このような多岐にわたる諸問題は どうして生じたのでしょうか。人々はより豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。とすれば、社会科学には、これら難問の原因を探り出して、問題解決への展望をさし示すという重要な課題が課せられていることとなります。

社会科学はそれほど古い学問ではありません。大まかに見れば、それは17世紀におけるイギリスの資本主義経済＝商品経済の発展とともに芽ばえ、発展を始めることになりました。それには理由があります。1つには、資本主義経済そのものが一定の法則性を示すようになったこと、2つ目には、科学的な認識活動なしには社会関係の本質が見えにくくなってしまった、ということです。商品生産が発展してくると、人々が共同して社会を維持し再生産しているという社会の側面が見えにくくなるからです。

したがって、社会科学は、それが対象とする資本主義の経済関係、政治、法律、国家、思想などが発展するのに伴って発展していくことになりました。しかし、最も重要な課題は、資本主義の経済の一般原理を解明することにあつたのです。そして、資本主義の確立した19世紀のイギリスの社会を研究することによって、カール・マルクスが資本主義の生産の運動法則を体系的に明らかにすることができました。

しかし、資本主義はそこにとどまることなく発展を続け、現代に至っています。その社会が複雑化すれば一般理論だけを振りかざしても解明できない諸現象が次々に発生してきます。それとともに、社会科学はこれらの現象を解明するための研究にも取り組んできたのです。現代世界が高度に発展した資本主義社会であるとすれば、われわれは、資本主義の一般理論とともに、その特殊で複雑な展開についても認識を広げていく必要があるでしょう。

この講義では、資本主義経済とその法・国家の認識という点に焦点をあてて、その科学的把握を前進させる上で重要な意味をもつことになった社会科学者の思想と理論をとり上げ、現代的な意味について考えてみることにします。講義のテーマは、次のようになります。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展
3. 社会科学の生誕——ホブズとロック
4. 資本主義経済の法則的把握——スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家——マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方——レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代日本の社会と法

なお、社会科学の現代的な意義を明らかにすることも大事なことと考えますので、現代社会のかかえるナマの問題については随時講義していく予定です。

成績評価の方法

年に数回、授業時間中に小レポートを作成し、提出して頂きます。
後期に定期試験（記述）を実施します。成績は小レポートと定期試験の合計点で評価する予定です。

参 考 書 等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）、550円
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
八木紀一郎『経済思想』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ほり すがこ 柳 堀 素雅子	短国・短英	4

講義のねらい

「死」という問題についてさまざまな角度から考察する。
現代社会において、とりわけ「死」の問題を学問としてとりあげなければならない理由を考える。
それぞれの学問の専門性を活かしながら死の問題を考えてもらいたい。(法学部の人は法律や政治の視点から、経済学部の人を経済的な視点から、仏教学部や文学部の人は宗教的あるいは人間学的な視点から死について考察してもらえるとよい)
人間と社会に対する深い洞察を要求する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期・後期ともバイオエシックス（生命倫理）の問題をトピック的にとりあげたい。
脳死・臓器移植
遺伝子治療
生殖技術
安楽死
ターミナル・ケアetc

履修上の留意点

講義を開くと同時に自分の頭で考えて、自分なりの見解を出すようにしてもらいたい。

成績評価の方法

総合的に判断する。
講義の途中で何回かレポート課題を出します。

教科書

なし。

参考書等

講義の中でそのつど指示します。

その他

講義、ビデオ、討論。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕	きた じま あゆ み 北 島 歩 美	短国・短英	4

講義のねらい

近年、「心の時代」としばしば取り上げられているように、精神に対する関心は高まってきていると言えよう。授業の中では、臨床心理学の立場から、心のメカニズム、心理アセスメント（心理テストなど）、様々な治療理論を紹介する。また、具体的な事例を提示することにより、カウンセリングの治療プロセスについて触れていきたいと考えている。そこから、適切な援助方法、精神面における予防方法などについて発展させていきたいと思っている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 臨床心理学の諸理論
2. 心理アセスメント
3. 心理療法のプロセス
4. コミュニティ心理学

成績評価の方法

学年末試験

参考書等

コーチン「現代臨床心理学」弘文堂

その他

講義中心であるが、受講人数によって、実習等を導入する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学（前期）	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短放 1 選	2

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

社会学は、その名称の示すように「社会」を理解し明らかにしようとする。しかし、ここで言う「社会」とは、私たちから遠く離れた抽象的存在ではなく、きわめて身近な日常的な事実である。社会学は、学校社会、病院社会、地域社会といった社会の諸問題を、常に具体的、現実的な人と人との関係問題として考察、理解しようとする。この講義は、こうした社会学独自の社会現象の見方、考え方、知識の基礎を提供する。

授業のスケジュールは、まず、社会学とは何かについての概略を述べ、その後で、人間と社会との関わりについて、出来るだけ具体的な例を挙げて論じていきたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学期末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

講義開始後に相談の上決定。

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』 犀書房
R. ニスベット『現代社会学入門 1～4』 講談社学術文庫
安藤喜久雄編『人生の社会学』 学文社

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学（後期）	お だ て る こ 織 田 晃 子	短放 1 選	2

講義のねらい

①法とは何かに始まり、②私人間における基本的人権の尊重、③財産関係と法について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記①の法とは何かでは、法と道徳、法と正義、法の解釈と適用等について。②の私人間における基本的人権の尊重では、例えば、私企業への入社に際しての身上書と基本的人権、私立学校の学則と基本的人権、安楽死と基本的人権等について。③の財産関係と法では、所有権の絶対性とその制限、権利概念の拡大と限界、契約自由の原則とその制限、権利侵害と損害賠償等について。後期のみであるから上記の予定すべてを終えることは不可能かもしれない。その際は受講生と相談の上、講義の順序を決める。

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数による。

教科書

「判例・法学」 有斐閣ブックス ¥2,060

参考書等

授業中に紹介する。ポケットサイズの六法（有斐閣）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (前期)	きた がわ こう じ 北 川 公 路	短 放 1 選	2

講義のねらい

「心理学とは何か？」

おそらく、ほとんどの講義内容の説明に、この一文が含まれているのではないのでしょうか。もちろん、学問を学ぶ以上、当然の「？」といえるでしょう。しかしながら、少しだけ違った意味もあるように思います。それは、「心理学」は「読心術」であるとか、マスコミなどで話題にされている一部の心理学が、全部だと思ってしまっているのでは…という気持ちが少し入っているように思います。

そこで、本講義では、心理学ではどのような研究がなされてきたかを説明し、正しく心理学を学んでもらいます。そして、「心理学とは何か？」という「？」に答えられるようになることをのぞんでいます。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の領域は多岐に渡っています。そのため、半期の講義では消化しきれないのが事実です。そのため、心理学の基礎的知識をふまえたうえで、おもな領域について説明します。内容については、みなさまの興味があるところに、時間を割いていきたいと思います。

履修上の留意点

4月の第1週に講義内容、進行日程、成績評価の方法を詳細に説明するとともに、質問に応じます。そのため、履修を考えている場合は、最初の講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

年度末試験、レポートなどの提出物、出席状況など総合評価を行います。

教 科 書

中村昭之編「心理学概説」八千代書房

2 教養教育科目

(3) 自然分野



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 (1),(2) 〔生態と進化〕	し 清 水 よし かつ 善 和	短国・短英	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しているわけであり、進化を抜きにして生物を理解することはできない。一方でこの地球上には現在1,000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。この生物の多様性が生物を理解するもう一つのカギである。さらに、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。本講義では生物の進化や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義で取り上げる主な項目：進化と遺伝子、進化論と総合進化説、進化のタイムテーブル、動物の系統、植物の系統、種の定義と属性、種分化と絶滅、生物多様性、分子進化、人類の進化、生態系、食物連鎖と生態ピラミッド、物質循環、生態的地位、植生帯、植生遷移、個体群の動態、共生、都市と生物、など。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 (3) 〔生物と環境〕	なか むら とし え 中 村 敏 枝	短国・短英	4

講義のねらい

地球が誕生してから現在までを30センチの物差しであらわせば、人類の歴史は1ミリメートルにも満たない。その人類が、いま地球の支配者のようにふるまって、ほかの生物を圧迫している。実際、1,600年以降、1,000種以上の種が地球上から姿を消してしまった。「現在、動物500種、植物4,000種が絶滅の危機にある」と、95年11月国連環境計画は発表した。このような状態が続き、自然も失われていったとき、独り人類の繁栄は期待できるのだろうか。

間違いなく、地球は将来人類絶滅の瞬間を用意している。人類にそれを避ける手段はない。できることは、その瞬間をどれだけ先に送るかだけなのだ。人類が救わなければならないのは「病んだ地球」、「傷ついた地球」ではなく人類自身である。守らなくてはならないのは、人類の生存が可能な現在の地球環境である。現在の私たちの生活のありかたが、人類史の長さを決定する。将来の世代のために私達はどうすべきなのか一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生物の生活：生命の維持・植物の物質生産・動物の個体群・社会・行動
2. 生態系：物質の循環・エネルギーの流れ
3. 人間による環境破壊：オゾン層の破壊・地球温暖化・酸性雨・化学物質汚染など（これらのうちの幾つか）

その他

教科書は未定。参考書はその都度紹介します。期末試験と平常点とで総合評価をします。意見発表の機会を設けるので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 (1) 〔地球の歴史と未来〕	う わ が わ ま さ ひ と 宇 和 川 正 人	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

現在、私たち人類は「地球の支配者」として自負している。人類の能力が増えて活動範囲が広がれば広がるほど、考えなければならない環境問題は増大し、かつ、隣接する環境基質領域との総合的な考察が必要となってきた。

地球科学は、自然科学分野のなかで、地球に関するすべての領域を研究対象としている。その究極の目的は、水圏・大気圏を含めた地球の歴史と現状から、地球とそこに生息する生命の発展を理解し、その将来を的確に予測するところにある。

この講義では、私たち人類を主軸にして、過去から現在に至る地球の自然システムの変遷をたどり、地球のあるべき将来像について考察する。あわせて、私たちの周囲（自然環境）の保全に関する諸問題について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 水圏について : 宇宙と水, 地球と水, 生命と水, 治水と利水
 2. 大気圏について : 大気の変遷, 大気汚染
 3. 岩石圏について : 現代の地球観, 開発による土地汚染
 4. 生物圏について : 地球生態系 (有機系と無機系の依存システムの認識), 生物汚染
 5. まとめ (地球白書)
- 前期に 1. 2. 3. を, 後期に 4. 5. を予定している。

履修上の留意点

ノート, 地図帳 (高校で使った) を用意すること。出来れば, 地球儀も。

成績評価の方法

テスト, レポートに, 出席を勘案して評価する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

参考書はその都度紹介する。

その他

講義を主とし, まとめて, スライド, ビデオによる説明を入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 (2), (3), (4) 〔古環境の復元〕	いごうひさよし 猪郷久義	短国・短英	4

講義のねらい

現在の地球上の自然環境は46億年に及ぶ悠久の地球史がたどった古環境の一断面である。まず現代の地球観を通してグローバル規模の自然環境全般と、災害・資源・環境の科学としての地学を考察する。次いで地球史の古環境を具体的に復元し、特に生物が関与してきた地球環境変遷史を探究し、今日の環境問題への関与について理解を深めると共に将来を展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の地球観（地球の姿、地球上に働く力、大陸移動説とプレートテクトニクス）
 災害と防災の地学（ハザードマップ、地殻変動、地震とその予知、火山災害と恩恵、海水面移動、気候災害と気候変動）
 資源の地学（観光の地学、アウトドアライフの地学、水資源の地学、鉱物資源、金属・非金属資源、化石燃料、資源の偏在性と将来性）
 古環境の復元法（地質・地形と古環境、地層と古環境、化石と古環境）
 古環境変遷史（地球史の編年、地球の誕生と生命の起源、原始地球の自然環境、二酸化炭素と酸素の起源、先カンブリア時代の生物進化、性の起源と多細胞生物の出現、無脊椎動物の発生と爆発的進化、進化の実験場、脊椎動物の発生と上陸、植物の上陸戦略、緑の大地の出現と石炭、古生代末の危機到来と生物大量絶滅、ジュラシックパークの自然環境、中世代末の危機と生物大量絶滅、哺乳類の繁栄、人類と氷河時代、縄文海進と縄文文化）
 地学と人間生活（環境・資源・防災の地学と21世紀の展望）

履修上の留意点

質疑応答や討論の時間を設け、活発な意見交換をする一方通行でない講義としたい。個々の学生が授業に積極的に直接参加するという意識をもって欲しい。

成績評価の方法

論述試験の予定。

教科書

特に定めない。

参考書等

その都度指示し推薦する予定。

その他

講義形式であるが、必要に応じてスライド、OHPを活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 (5), (6) 〔自然景観の成り立ち〕	いちかわきよし 市川清士	短国・短英	4

講義のねらい

「私達が生活している周囲の自然景観は、いつどのようにして出来上がって来たのであろうか?」。この問に答えるために、地形、気候、植生などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちの理解を求める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、気候変動やプレートテクトニクスなどの大きなスケールの話しをしてゆく。後期は前期の内容をふまえて、身近な自然景観の形成について具体的な話しを行う予定である。また、夏休み明けにレポートを提出してもらおう。

履修上の留意点

高校等で使用した地図帳を用意して欲しい。

成績評価の方法

夏休み明けに提出されるレポートと、学年末の試験によって評価をおこなう。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

授業中に随時紹介してゆく。

その他

講義を原則とする。また、可能であれば近くに自然観察（巡検）にゆく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (1), (2), (3), (4), (10) 〔自然と災害〕	うわがわ まさひと 宇和川 正 人	短国・短英	4

講義のねらい

「無人島には水害はない」。洪水があったからといって、必ず水害になるとは限らない。洪水が溢れても放っておけばよいのです。しかし、災害に脆い臨海地帯やデルタへの産業進出・人口集中によって、同じ異常自然現象を受けても、昔とは比較にならないほど大きい災害が発生するようになった。最近の自然災害は、科学・技術の進歩にも関わらず、さらに巨大化する傾向にある。加えて、大気汚染や水質汚染など新顔の災害の参入により、「自然と人間の対応」に根本的な見直しが要求されている。とくに、日本列島は「世界の災害国」といわれ、各種の自然災害が頻発する。

自然災害研究の究極の目的は、防災・減災・制御の満足の策定にある。災害は、自然環境と社会現象が絡み合って発生するものであるから、防災科学は、自然科学分野と社会科学分野を体系化した総合的なアプローチを必要とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自然災害とは：災害の概念、典型的自然災害、災害誘因としての地象・気象・水象
 2. 自然災害対策：非構造物的方法（予知、警報、避難）と構造物的方法（耐震設計、河川堤防、防潮護岸、防災・洪水調節ダムなど）
 3. 自然災害の事例：台風、豪雨、噴火、地震、津波災害の実例説明
 4. 環境破壊と自然災害：地球生態系のしくみ、防災のための環境保全、森林の価値など
 5. まとめ（自然災害白書）
- 前期に1、2、3、を、後期に4、5、を予定している。

履修上の留意点

ノート、地図帳（高校で使った）を用意すること。出来れば、地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに、出席を勘案して評価する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

参考書はその都度紹介する。

その他

講義を主とし、まとめて、スライド、ビデオによる説明を入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (5), (7) 〔環境と保全〕	うるし ばら かず こ 漆 原 和 子	短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期：我々をとりまく気候・地形・地質・河川などの自然環境のメカニズムについて説明する。これらの自然環境と人間の関わりの歴史についてふれ、自然環境の受けた人間活動による不均衡について述べる。日本と中国、東南アジア、北米大陸、ヨーロッパを例に、人間活動による今日の環境問題を論じ、どのような保全をしているのか、どう保全すれば良いかを考える。

後期：次のような実例についてのべる。オゾン層の破壊、酸性雨と森林・土壌・文化財、地球温暖化と海水準変動、石灰石利用と採石跡地の緑化、観光洞と二酸化炭素、洪水と河川改修、基盤整備事業と土壌流失、熱帯農業と土壌管理。

成績評価の方法

期末テスト、レポートによって行う。

教科書

なし。

参考書等

その都度指示する。

その他

講義を原則とする。適宜スライドをとり入れ、プリントの配布をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (6) 〔環境と保全〕	むら た ま さ ひ 村 田 昌 彦	短国・短英	4

講義のねらい

我々をとりまく気候・地形・地質・河川などの自然環境のメカニズムについて説明する。これらの自然環境と人間の関わり方の歴史についてふれ、自然環境の受けた人間活動による不均衡について述べる。

実例として、酸性雨や地球温暖化、オゾン層破壊などを取り上げ、その対策についても紹介する。

成績評価の方法

期末テスト、レポートによって行う。平常点も評価する。

教科書

なし。

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (8), (9) 〔環境と保全〕	やすら おか かず お 安 羅 岡 一 男	短国・短英	4

講義のねらい

「エコロジー（環境）にとっての脅威は異常に増殖を続けるヒトである」という観点から、本講義のテーマ「環境と保全」を考えたい。

地球に生物が生まれたのは36億年前といわれる。この36億年の地球の生物の歴史の中で種（species）の進化、盛衰が繰り返され、現在地球上に生存する生物種は推定約3千万から1億の多様性を誇っている。そのうち、名前（学名）がついているのは140万に過ぎないが、その中でただ1種、ヒト（Homo sapiens）だけは大きく発達した脳を使って異常な速度で増殖を続け、地球上のエコロジーを大きく変えつつあって、50年後には地球上に生きる生物種の4分の1を地球から絶滅させようとしている。

現在（1995年）の世界人口は57億5千万人である。国連の推計によれば、2015年の人口は71億人から78億人、2050年には79億人から119億人に達すると考えられている。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 大気汚染と健康（硫黄酸化物、窒素酸化物、一酸化炭素、光化学物質、受動喫煙など）
- 2) 水質汚濁と健康（微量化学汚染、温排水、下水および廃棄物など）
- 3) 土壌と健康（農薬、肥料、除草剤など）
- 4) 人口問題（プライマリー・ヘルスケアへの母子保健・家族計画の包括の必要性）

成績評価の方法

定期試験（医師国家試験スタイル）を中心とする。

教科書

なし。

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (1) [宇宙から見た地球環境]	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	短国・短英	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は地球環境の支配的な要因である太陽放射とその役割について学ぶ。太陽放射の変動、地球軌道の変化、太陽放射を受ける側の大気、海、生物の役割を学び、金星などと比較しながら、地球温暖化の問題を考える。

後期は、オゾン層、自然放射線、太陽磁場・地球磁場と宇宙線、月の影響、地球の過去と未来等のテーマを取り上げる。

成績評価の方法

学期末に行う筆記試験により、平常点を加味する。

参 考 書 等

「環境の科学」学会出版センター その他、講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 誌 (1) 〔現代の自然像〕	しのぼら 篠原 正雄・しみず よしかず 清水 善和 うるしぼら 漆原 和子・三好 重明	短国・短英	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、ここにいるのか？ 大宇宙の中の人類の存在の意味を問う本質的には哲学的な問に20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が、100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。地球の未来に向けていかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人5～6回の輪講形式で行われる。

宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。最後は、実証的な自然科学と密接に関わりながら本質的に違った手法に立つ数学の視点で自然を見てみる。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- 「宇宙の起源」(自然の階層構造, 膨張する宇宙, ビッグ・バンと元素の起源)
- 「星の進化と物質の進化」(星の一生, 星間物質の進化, 銀河の渦と星生成領域)
- 「太陽系と地球の起源」(太陽系起源仮説, 牡牛座T型星, 宇宙の有機化合物)
- 「太陽と地球の進化」(地球の核の形成, 大気と海の起源, 太陽の進化と地球環境)
- 「宇宙の中の地球」(太陽放射の変動, 地球軌道の変化, 隕石, 銀河系)

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- 「生命の起源」(生物体を作る物質の内容と特徴, 遺伝子とタンパク質合成, 生命起源仮説)
- 「生物の進化と進化論」(生物進化35億年史, ヒトの進化, 現代進化論)
- 「生物の多様性」(世界の生物, 植生帯, 動植物の分布, 分類体系)
- 「生態系」(生態系と現存量, 食物連鎖, 物質循環)
- 「大洋島の生物たち」(進化の実験場・大洋島における生物のユニークな姿の紹介)

第3講 大地の歴史と人類 漆原和子

- (1)古生代～中世代以降のプレートテクトニクスによる陸域の運動
- (2)第四紀の気候変化(氷期・間氷期)とそれに伴う自然現象
- (3)人類の進化と気候変化
- (4)第四紀から現代に至る日本列島の地殻変動と火山活動
- (5)自然環境と人間活動との対応。人間活動により生じた現在の問題点。

第4講 もしも地球が球ならば(球面の数学と地球) 三好重明

地球の表面を2次元球面とみなすことができると仮定して2つの定理を証明する。

定理1 地球表面全体をさわやかな風で包むことはできない。すなわち、どこかに少なくとも

1点は無風の地点がある。

定理2 地球表面上で温度と気圧が連続的に変化するならば、対心点の組で温度と気圧がそれぞれ等しいものが存在する。

成績評価の方法

各担当者毎に最終日の小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 誌 (2) 〔現代の自然像〕	しのほら 篠原 正雄 ・ しみず よしかず 清水 善和 うるしばら 漆原 和子 ・ みよし 三好 重明	短国・短英	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、ここにいるのか？ 大宇宙の中の人類の存在の意味を問う本質的には哲学的な問に20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が、100億年を超える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人5～6回の輪講形式で行われる。

宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。最後は、実証的な自然科学と密接に関わりながら本質的に違った手法に立つ数学の視点で自然を見てみる。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- 「宇宙の起源」(自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグ・バンと元素の起源)
- 「星の進化と物質の進化」(星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域)
- 「太陽系と地球の起源」(太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物)
- 「太陽と地球の進化」(地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境)
- 「宇宙の中の地球」(太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系)

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- 「生命の起源」(生物体を作る物質の内容と特徴、遺伝子とタンパク質合成、生命起源仮説)
- 「生物の進化と進化論」(生物進化35億年史、ヒトの進化、現代進化論)
- 「生物の多様性」(世界の生物、植生帯、動植物の分布、分類体系)
- 「生態系」(生態系と現存量、食物連鎖、物質循環)
- 「大洋島の生物たち」(進化の実験場・大洋島における生物のユニークな姿の紹介)

第3講 大地の歴史と人類 漆原和子

- (1)古生代～中世代以降のプレートテクトニクスによる陸域の運動
- (2)第四紀の気候変化(氷期・間氷期)とそれに伴う自然現象
- (3)人類の進化と気候変化
- (4)第四紀から現代に至る日本列島の地殻変動と火山活動
- (5)自然環境と人間活動との対応。人間活動により生じた現在の問題点。

第4講 もしも地球が球ならば(球面の数学と地球) 三好重明

地球の表面を2次元球面とみなすことができると仮定して2つの定理を証明する。

- 定理1 地球表面全体をさわやかな風で包むことはできない。すなわち、どこかに少なくとも1点は無風の地点がある。
- 定理2 地球表面上で温度と気圧が連続的に変化するならば、対心点の組で温度と気圧がそれぞれ等しいものが存在する。

成績評価の方法

各担当者毎に最終日の小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

参 考 書 等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
数 学 (1) 〔無限と連続〕	み よし じゅん あき 三 好 重 明	短国・短英	4

講義のねらい

数学はすべての科学に対してその理論の記述のための言語を提供し、それらの科学理論が成立する基盤となっている。したがって、すべての科学と呼ばれる学問や、それらの応用を学ぶために数学の知識と技法、考え方を身につけることは必須である。しかし数学は他の科学に道具として提供されるためにだけあるのではない。むしろ科学の諸分野、さらには人間の営みのあらゆる側面に於いて、数学的構造は至るところにあるのであって、数学はそこから生まれ育ってきたものである。そして、数学の世界と言うものが存在する。それはあらゆる人間の営みに根を張りながらもなお独立した一つの世界である。そこには動機があり、問題が現われ、探究、実験が行われ、多くの失敗の後、様々な技法が開発され解決へと向かう。そしてさらに一般化や、関連した問題が認識され、それが探究されていく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、他の科学のための道具としての準備だけでなく、このような数学の世界を少しでも示してみたいと思う。具体的にはいわゆる解析学と呼ばれるものの入門部分を解説することになる予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び授業時間中に適宜行う演習によって行う。

教 科 書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
数 学 (2), (3) 〔図形とベクトル〕	ふく だ けん いち 福 田 賢 一	短国・短英	4

講義のねらい

自然科学をはじめ諸科学の数理的分析の基礎となる、図形・ベクトルの概念を学び、線形代数等の運用力を身につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

i) 空間とベクトル ii) 行列とその応用 iii) 行列式とその応用 iv) 方程式 v) 固有値問題とその応用 vi) 自然現象・社会現象の分析
特に、現実問題の分析に力点を置く。

履修上の留意点

予備知識は高校初年レベルで十分である。教科書は使用せず、プリントを配布するので出席を心懸ける事。

成績評価の方法

試験、レポート、出席等を総合的に評価する。

教 科 書

教科書は使用しない。プリントを配布する。

参 考 書 等

必要となり次第指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	みよし いげ あき 三好重明	短国・短英	4

講義のねらい

この講座では、コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際の数学的部分の基礎についての解説を行う。

講義の内容・授業スケジュール

したがって、基本的な数学の言葉の説明から始めて、論理代数と論理回数、アルゴリズムとその存在、計算量の問題、等を解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教科書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 (1),(2) 〔光と物質〕	しの はら まさ お 篠原正雄	短国・短英	4

講義のねらい

地上の天文学者は、天体から来る光を分析して、天体を作る物質の種類・温度・運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とは何か、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定されず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見るとはどういうことかを体験していただくことにある。数式は物理に不可欠な言葉であるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光 光線 レンズ 屈折 波の反射と屈折 光波 シャボン玉の色
電磁波としての光 電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気 電波望遠鏡 X線とガンマ線
色とは何か 色即ち波長？ 虹は七色か 三原色 茶色い光の波長はいくら？ 目と光
光子としての光 熱と光 星の色 人の光 原子の構造と光 光波は粒子？ 電子は波
光と宇宙 光速 ブラックホール 光の旅・太陽発地球経由宇宙行き 生命：光の流れの渦

成績評価の方法

学期末の筆記試験および授業への参加点。

参考書等

ニュートン「光学」(岩波文庫)、ファン・ヒール、フェルツェル「光とは何か」(講談社ブルーボックス) その他、講義の中で適宜紹介する。

その他

講義を中心とするが、理解を深めるために問題を考えてもらうこともある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
化 学 〔衣食住の化学〕	さいとう ゆうし 齊 藤 佑 尚	短国・短英	4

講義のねらい

生活、特に食品、健康と関係の深い事柄を「化学」の言葉で理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず化学の基礎的な事柄を理解できるように、原子、分子、イオン、周期律表などに関する基礎的な知識を整理して、易しく解説する。また酸、アルカリ、酸化、還元、中和などの一般的な化学用語の平易な解説を行う。さらには主に私たちの体の中で実際に進行する化学反応を系統的にそしてなるべく簡単に且つ分かりやすく解説する。その後、生体中の物質の化学的な性質を概説し、栄養、健康、さらには疾病に関する事柄を「化学」の言葉で解説する。その他には、遺伝子および遺伝に関しても「化学」の立場から理解を深めるよう解説する。さらに遺伝子の理解を通して、最近のバイオテクノロジーに関するトピックスに関しても適宜解説する予定である。

とにかくこの授業を通じて、「化学」のことを身近に感じ、授業を楽しんでもらいたい。

履修上の留意点

化学に対する基礎的な知識を特別に必要としないが、熱心に積極的に授業に参加する学生を歓迎する。授業は積み重ねであるので、連続して授業に参加することが必要である。

成績評価の方法

出席点を重視する。さらに年間に複数回特定の課題に関してレポートを課し、それらを総合して評価する。

教 科 書

授業の参考になるプリントを適宜配布するので、教科書は特別に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

文科系の学生にとっては、大学の学部における「化学」の授業はこれが最初で最後の人も居るかもしれない。とにかく本授業に参加して「楽しんで」欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宇宙科学 (1),(2) 〔星と銀河〕	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	短国・短英	4

講義のねらい

観測装置やコンピュータの発展に伴い、最近の宇宙の研究は急速に進展している。本講では、比較惑星論など地球物理学との境界領域も含めた広義の現代天文学の描く宇宙像を、研究の手法と併せて紹介する。

講義の目的は、宇宙がかつて考えられたような永遠不変、不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であることと、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、恒星について講義する。初めに、恒星の一つである太陽をとりあげ、その構造、エネルギー源、進化を論じ、太陽活動の地球環境への影響に関する研究を紹介する。次に、恒星一般について、研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。最後に、太陽系の起源について最近の説を紹介する。

後期は、銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた太陽系の起源の問題を星生成領域の研究の視点から捉えなおす。

最後に、宇宙の歴史と我々人類の存在との深いかかわりについて述べ、宇宙生物学や地球外文明探査の可能性について考える。

成績評価の方法

学期末の筆記試験による。平常点を加味する。

教 科 書

比田井昌英他『天文・宇宙データブック』東海大学出版会 ￥1,545

そ の 他

講義を中心とするが、天体のスライドなどを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1), (5) 〔コンピュータと情報〕	み よ し げ あき 三 好 重 明	短国・短英	4

講義のねらい

コンピュータとは何かという問いから始めて、実習を交えながらコンピュータというものについて概説していく。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとは何か、その構成要素は何か、シリコンや金属の塊に過ぎないコンピュータがどういう仕組みで計算できるのか、コンピュータの動作原理（アルゴリズム）はどのようなものか、プログラム言語とは何であってどうして必要なのか、ハードウェアとソフトウェア及び応用ソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング、論理代数と論理回路、情報の表現、等の簡単な解説の後に実際にコンピュータを操作する実習として簡単なプログラムを書き（プログラミング）、それをコンピュータに実行させることをやりたい。時間が許せばワープロや表計算などの応用ソフトウェアの実習も行えるかもしれない。プログラミングにはPASCALと、余裕があればCも使ってみたい。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び演習（授業時間中に適宜行う）によって行う。

教 科 書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

そ の 他

実習のため計算機室で講義を行うが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (2), (3) 〔コンピュータと情報〕	たけだ よういち 竹 田 洋 一	短国・短英	4

講義のねらい

今日の情報化時代、コンピュータが我々の社会において果たす役割はきわめて重要なものとなっており、この技能を少しなりとも有することは特にこれからの若い世代にとってはほとんど不可欠であるとみなして良いであろう。本授業の目的とするところは、未経験の初心者を対象にして、①コンピュータに関する最低限の基礎的知識、並びに②将来必ず必要になる代表的なビジネスソフトの操作経験、を身につけてもらうことにある。とはいえ堅苦しく考えるには及ばない。基本的な姿勢として、無味乾燥な学問的知識を強いて覚え込ませるという形はなるべく取りたくはない。むしろ「習うより慣れる」に重点を置いて、パーソナルコンピュータ(PC-9801FA)を実地に操作する演習を中心に据え、「コンピュータとはこんなことまで出来るんだ!」といった感動を一人一人が自分自身の感覚で味わってもらいたいものと願う次第である。

講義の内容・授業スケジュール

この基本的指針ののっとり、次のような実際上の目標を設定して授業を進めたいと思っている。まず最初は、現在もっともポピュラーになったパソコンのオペレーティングシステムの代表格であるウィンドウズ(MS Windows 3.1)に親しみ、習熟することを目指す。タイピングや日本語入力などのキーボードの操作、マウスを用いたウィンドウズの基本的テクニックから初めて、ファイル並びにディレクトリの取り扱い、フロッピーディスクへのデータの読み書き、オンラインヘルプの利用法、などをまず学習する。そしてウィンドウズ付属の簡易ワープロと描画ソフトを用いてデータの交換と貼り付けの手法を学び、絵入りの文書が作成できるまでの基礎を身につける。

しかる後にビジネスソフトパッケージの代表格であるマイクロソフト社の「OFFICE」に含まれる各ソフトを用いての実習に取り組む。前期は主に表計算ソフトの「EXCEL」を扱うことにする。基本的な帳簿計算やグラフ作成の手法を学習することで、如何にこの種のツールが実際のビジネスにおいて便利なものであるかを自分自身で体験してもらいたい。後期は「データベースの取り扱い」をメインテーマに据えたい。前期で慣れたEXCELに加えて、高機能のデータベースソフト「ACCESS」を用いて大量のデータの取り扱いと整理の仕方を学ぶ。できれば最終的には、初歩的なレベルのプログラミング(EXCELやACCESSの基本言語である Visual Basic for Application で簡単なマクロを組んだり短いモジュールを書いたりすること)によって、独自のシステムやインターフェイスを作ることのできる段階にまで到達してもらいたい。

履修上の留意点

先にも述べたように初心者を対象とするので特に予備知識の必要性はないが、折に触れて課題や宿題を出すつもりであるので授業以外でもパソコンの使用が必ず必要となるであろう。そのためには情報教育センターの自習室のパソコン群があるので、センターにこの利用のための登録(登録料1,000円)をする事はほとんど必須であるものと理解されたい。

成績評価の方法

各人の成績は、一年を通しての出席の様子、課したレポートや課題の提出状況と出来具合、おのおの前期後期の終わりに行う計2回の試験の点数、などに基つき総合的に判断して決定する。

教科書

本年の授業では決まった教科書は特に用いない。しかし毎回授業の際にプリントを配布する予定である。

参考書等

一方各人の興味、レベルに応じて自分に合った参考書を購入することは積極的に勧めたい。これについては開講後適宜紹介する。

その他

授業は、ひと月のうち1回は講義室での講義、残り3回(ないしは4回)はパソコン室での実習と解説、という割合で進めたい。なお、実習室のパソコンの台数が限られているため、受講者数は約80名が上限である。従って受講希望者が多い場合は選考をせざるを得ないので、その旨理解されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (4) 〔コンピュータと情報〕	さくま たくや 佐久間 拓也	短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

まずコンピュータの基本的な仕組みと操作法について学び、ワープロ等の一般的な利用を修得する。またコンピュータネットワークについて学び、それをを用いた情報の収集・発信方法について解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人類学 (1),(2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	短国・短英	4

講義のねらい

現生の人類が哺乳類のなかでどのような特徴をもち、それがどのような進化の結果えられたかについて述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

哺乳類の系統発生について述べ、そのなかでの人類の分類学上の位置について論述する。
次に現生人類の哺乳類のなかでの諸特徴を具体的に解説する。これは外被系、運動系、中枢神経系、生殖系等に分けて具体的に行なう。またこれらのなかで、人類特有の生体外化現象について個々に述べる。
以上のことを背景に、アルディピテクスから現生のホモ・サピエンスに至る人類の進化について詳細に述べる。

履修上の留意点

教科書を使わないので、ノートをよく書取ること。

成績評価の方法

評価は筆記試験の結果により行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	短国・短英	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学の研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

鈴木 清 編 『人間理解の科学 — 心理学への招待 —』 ナカニシヤ出版 ¥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (2) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	よこ やま つよし 横 山 剛	短国・短英	4

講義のねらい

心理学の主要な領域・対象・方法について、基礎的な知識を解説し、人間の行動・心の動きの理解を深めるよう考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、感覚知覚、学習、記憶、行動などを取り上げていく。そして後半は、感情とイメージ、パーソナリティ、成長と発達、心の健康などを取り上げていきたい（詳細な講義スケジュール・成績評価の方法については、最初の授業時に提示する）。

履修上の留意点

授業中、感じたこと・体験したことを書いてもらうことも予定しています。“素人考え”でよいですから、積極的に参加して下さい。コミットしていくことで、自分の心の動きを察知できるということもありますから。履修しようとする方は第一回より必ず出席し、教科書を持参して下さい。

成績評価の方法

平常点+筆記試験。

教科書

山内宏太郎ほか『はじめての心理学』北樹出版

参考書等

霜山徳爾編『臨床心理学』学術図書出版、中村昭之編『心理学概説』八千代出版

その他

他、プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (3) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	きた がわ こう じ 路 北 川 公 路	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

「心理学とは何か？」

おそらく、ほとんどの講義内容の説明に、この一文が含まれているのではないのでしょうか。もちろん、学問を学ぶ以上、当然の「？」といえるでしょう。しかしながら、少しだけ違った意味もあるように思います。それは、「心理学」は「読心術」であるとか、マスコミなどで話題にされている一部の心理学が、全部だと思ってしまっているのでは…という気持ちが少し入っているように思います。

そこで、本講義では、心理学ではどのような研究がなされてきたかを説明し、正しく心理学を学んでもらいます。そして、「心理学とは何か？」という「？」に答えられるようになることをのぞんでいます。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の領域は多岐に渡っています。そのためか、心理学も講義には「心を科学する」「ヒューマン・ウォッチング」「人間関係を考える」の3つのサブタイトルが与えられています。

「ヒューマン・ウォッチング」というサブタイトルを与えられたこの講義は、「心理学とは何か」といった項目からはじまり、「感覚」「知覚」「学習」「記憶」「行動」などを取り上げて講義はすすめていきます。おもに、従来の研究成果をもとにして、日常生活に関連づけながら解説していきます。

マンネリ化防止のため、適宜、簡単な実験・実習などもしていければと思います。さらに、心理学の研究の中で動物実験がどのように行われているかも、少し触れていきます。「ハトデモ」を通じて説明します。

履修上の留意点

4月の第1週に講義内容、進行日程、成績評価の方法を詳細に説明するとともに、質問に応じます。そのため、履修を考えている場合は最初の講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

年度末試験、レポートなどの提出物、出席状況など総合評価を行います。

教科書

中村昭之編「心理学概説」八千代書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (4) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	まきの野 すずむ晋	短国・短英	4

講義のねらい

「心理学」という分野は、皆さんが大学に入学してから初めて目にする科目だと思います。心理学という名称は一見魅力的に見えませんか？中にはこの科目を履修することで人の心が読めるようになったり、超能力や超自然現象の話が聞けるのではないかと考える人もいるのではないのでしょうか。残念ながら心理学はこれらの領域とは違います。では、どう違うのか？

心理学はヒトの、見る・聞く・感じる・考える・覚えるなどといった、日常生活におけるさまざまな行動について分析したり、あるいは認識のメカニズムを探るといったアプローチを通じて人間を理解しようとする学問だと言えます。

講義では、非常に広い範囲を持つ心理学の各領域について概観し、その基礎的知識を解説するとともに、心理学の探る「科学的アプローチ」とはどのようなものであるかを理解してもらいたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の領域は多岐に渡っています。ですから、前期・後期を特に区別しません。基本的には通年で、心理学の代表的な各領域について、一領域あたり、1～3回の講義時間でお話したいと思っています。

具体的には、初めて心理学に接する皆さんのために、まず「心理学とはなにか」といった項目から出発し、「史的概観」や「心理学の研究手法」などをまじえて講義します。次に、「外界を知るはたらき（感覚・知覚）」、「行動の変容（学習）」、「記憶の世界（記憶）」、「ひとを動かしコントロールするもの（動機づけ・感情と情動）」、「ひととしてのまとまり（パーソナリティ・知能）」、「こどもは小さなおとな？（発達）」、「社会的行動（社会心理学）」、「認識のメカニズムを探る（認知）」といった各領域について解説します。主に従来研究成果をもとに、できるだけ私達の日常生活に関連づけながら解説したいと考えています。

また、講義の間に適宜、皆さんに実験を行ってもらい（年間で3～4回程度を予定）、心理学の研究方法にはかかせない実験的研究も体験してもらおうと思っています。昨年度は、重さの弁別、鏡映描写、系列位置学習、記憶の変容などについて実験を行いました。

履修上の留意点

基本的には毎回の出席はとらないつもりです。しかし「学びたい人が学びに来る」という方針にするつもりですから、出席する以上は真剣に授業に参加してください。

成績評価の方法

原則として、学年末の筆記試験の成績によって評価します。しかし、実験への参加や実験レポートの提出、その他の提出物なども参考にして、総合的に評価します。

教科書

- ・中村昭之編『心理学概説』 八千代出版
- ・その他、授業中に配布するプリント類

参考書等

参考書は必ず購入しなくてはならないということではありませんが、理解をより深めるために読んでみることをお勧めします。

- ・斎藤 勇編『心理学ビギナーズトピックス100』誠信書房
初めて心理学を学ぶ人にも非常にわかりやすい入門書。日常生活の中での現象と心理学とがどう関係しているかを知るのによい。トピックを細分した他の『ビギナーズ』シリーズが複数ある。
- ・田島信元編『心理学キーワード』有斐閣双書
ある一つのテーマについて、見開き完結型でわかりやすく解説した入門書。
- ・梅本堯夫・大山 正編著 新心理学ライブラリ1『心理学への招待』サイエンス社
より深い理解のために。図やグラフ、写真などが多く示され、教科書としても優れている。

その他

一般的な講義のほか、ビデオ教場の利点を生かし、ビデオやOHPなどを多く活用して皆さんが興味を持てるような授業を行おうと考えています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (5),(7) 〔人間関係を考える〕	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教 科 書

鈴木 清 編『人間理解の科学－心理学への招待－』 ナカニシヤ出版 ￥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (6) 〔人間関係を考える〕	すず き じゅん いち 鈴 木 順 一	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。

授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版、1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——、ナカニシヤ出版、1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (8) 〔人間関係を考える〕	きた がわ こう じ 路 北 川 公 路	短国・短英	4

講義のねらい

心理学とは何か？

おそらく、ほとんどの講義内容の説明に、この一文が含まれているのではないのでしょうか。もちろん、学問を学ぶ以上、当然の「？」といえるでしょう。しかしながら、少しだけ違った意味もあるように思います。それは、「心理学」は「読心術」であるとか、マスコミなどで話題にされている一部の心理学が、全部だと思ってしまっているのでは…という気持ちが少し入っているように思います。

そこで、本講義では、心理学ではどのような研究がなされてきたかを説明し、正しく心理学を学んでもらいます。そして、「心理学とは何か？」という「？」に答えられるようになることをのぞんでいます。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の領域は多岐に渡っています。そのためか、心理学も講義には「心を科学する」「ヒューマン・ウォッチング」「人間関係を考える」の3つのサブタイトルが与えられています。

「人間関係を考える」というサブタイトルが与えられているこの講義は、「心理学とは何か」ということから始まり、基礎的知識を習得し、人間関係を中心とした講義をすすめていきます。具体的には、パーソナリティ、臨床心理学、社会心理学領域などにおける人間関係に関連する基礎事項にふれていきます。

マナー化防止のため、適宜、簡単な実験・実習などもしていければと思います。さらに、心理学の研究の中で動物実験がどのように行われているかも、少し触れていきます。「ハトデモ」を通じて説明します。

履修上の留意点

4月の第1週に講義内容、進行日程、成績評価の方法を詳細に説明するとともに、質問に応じません。そのため、履修を考えている場合は最初の講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

年度末試験、レポートなどの提出物、出席状況など総合評価を行います。

教 科 書

中村昭之編「心理学概説」八千代書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (9) 〔心を科学する〕	たか 高 橋 良 博	短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学を初めて学ぶ人を対象にして、なるべく日常的な問題に即しながら心理学の主な領域と、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。具体的には、心理学の課題／感覚・知覚／学習などの基礎的知識などを取り上げる。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各領域に焦点をあててゆく。内容としては、記憶／思考／言語／動機づけ／情動／人格などの領域や治療心理学など臨床関係の説明にもふれたい。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教 科 書

鈴木 清 編『心理学 — 経験と行動の科学 第2版』ナカニシヤ出版 ¥1,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (10) 〔心を科学する〕	か 軽 部 幸 浩	短 国・短 英	4

講義のねらい

ヒトの見る・聞く・感じる・考える・覚えるなどといった、日常生活における種々の行動について分析したり、あるいはメカニズムを探るといったアプローチを通じて人間の心の活動を科学的に解明しようとする学問といえよう。

本講義では、心理学とはどのような学問か、その研究方法・研究対象・および意義について講義し、さらにこれまでの研究成果をもとに具体的な事例を紹介してきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

種々の心理学に領域について説明・紹介をおこなっていきたい。また、学生が興味を持った分野では多少、多くの時間を費やし講義をおこないたいと考えている。

講義の間に適宜、実際に簡単な実験をおこなってもらい（年数回程度を予定）、また心理学の研究には欠かせない、実験的研究にも体験してもらおうと考えている。

履修上の留意点

教科書および配布された資料は毎回授業のときには持参すること。

成績評価の方法

原則として、学年末の筆記試験の成績によって評価する。しかし、実験への参加や実験レポートの提出、その他の提出物などもあわせて総合的に評価する。

教 科 書

中村 昭之編 『心理学概説』 八千代出版

参 考 書 等

授業中に配布するプリント。

そ の 他

一般的な講義のほか、種々の簡単な心理学実験を授業時間内におこないたいと考えている。またレポート課題の提出をおこなう場合には、ワープロで作成されたもののみとする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (11) 〔心を科学する〕	きた がわ こう じ 路 北 川 公 路	短国・短英	4

講義のねらい

「心理学とは何か？」

おそらく、ほとんどの講義内容の説明に、この一文が含まれているのではないのでしょうか。もちろん、学問を学ぶ以上、当然の「？」といえるでしょう。しかしながら、少しだけ違った意味もあるように思います。それは、「心理学」は「読心術」であるとか、マスコミなどで話題にされている一部の心理学が、全部だと思ってしまっているのでは…という気持ちが少し入っているように思います。

そこで、本講義では、心理学ではどのような研究がなされてきたかを説明し、正しく心理学を学んでもらいます。そして、「心理学とは何か？」という「？」に答えられるようになることをのぞんでいます。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の領域は多岐に渡っています。そのためか、心理学も講義には「心を科学する」「ヒューマン・ウォッチング」「人間関係を考える」の3つのサブタイトルが与えられています。

「心を科学する」というサブタイトルを与えられているこの講義は、心理学の研究全般について説明していきます。「心理学とは何か」から始まり、心理学と科学の関係について説明します。また、できるだけ広い領域に関連する研究を紹介していこうと考えています。

理解を深めるために、適宜、簡単な実験・実習もしていきます。さらに、心理学の研究の中で動物実験がどのように行われているかも、少し触れていきます。「ハトデモ」を通じて説明します。

履修上の留意点

4月の第1週に講義内容、進行日程、成績評価の方法を詳細に説明するとともに、質問に応じます。そのため、履修を考えている場合は、最初の講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

年度末試験、レポートなどの提出物、出席状況など総合評価を行います。

教 科 書

中村昭之編「心理学概説」八千代書房

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (12) 〔心を科学する〕	なかまる 中丸 茂	短国・短英	4

講義のねらい

「超能力は、存在する。」
「私は、あの人のことが好きだ。」
「このおまじないは、とっても効くんだ。」
「江ノ島に行ったカップルは別れる。」
日常生活の様々な場面で、耳にする会話。
日常生活の様々な場面で、目にする行動。
心理学は、人間の行動（言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、自然科学の一分野であり、行動の科学と定義され、行動の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面で人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行なわれる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行なう。講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何だ？
4. 行動分析学Ⅰ ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学Ⅱ ハトによるデモンストレーション
6. 行動分析学Ⅲ 月にむかって吠える
7. 認知心理学Ⅰ マジカルナンバー？
8. 認知心理学Ⅱ カクテルパーティ効果
9. 認知心理学Ⅲ 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学Ⅰ 幽霊は乗り物が好き
11. 心霊現象の心理学Ⅱ 狐つきのはなし
12. 人格心理学 社交的な人は朝が弱い
13. 社会心理学Ⅰ 行動と心は一致するのか？
14. 社会心理学Ⅱ 人を好きになるとき
15. 超能力の心理学 運命を科学すると？
16. 感情の心理学 感情と意志
17. 所信の心理学Ⅰ 知識は人類を駄目にする
18. 所信の心理学Ⅱ マインド・コントロール
19. 無意識の心理学 空飛ぶ円盤は存在するのか？
20. 宗教の心理学 神社の石段の数
21. スポーツ心理学Ⅰ コーチの方法
22. スポーツ心理学Ⅱ イメージでも疲労する？

履修上の留意点

講義は、プリントを中心に行ない、毎回、参考文献や図書の紹介を行なう。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握出来るというものではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。

成績評価の方法

筆記試験とレポートの提出が、それぞれ年2回あり、成績はそれらの絶対評価によって行なう。試験への参加または不参加、レポートの提出または未提出は、学生の自由であり、得点は累積データとして処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

なし

参考書等

SUPER STRING SR21編 1995『「あしたのジョー」心理学概論』中央公論社
中村昭之編 1982『心理学概説』八千代出版
ジルバルドー、P. G. 1983『現代心理学Ⅰ～Ⅲ』サイエンス社
佐藤方哉 1976『行動理論への招待』大修館書店
ベネット、A. ら 1984『認知心理学への招待』サイエンス社 その他

その他

授業は、基本的に簡単な実験を体験してもらいながら行なっていく。また、ビデオを使用した授業を行なうこともあり、教場変更の情報には、特に注意すること。

学生と教員間のコミュニケーションは、講義についての意見（悪口大歓迎）・感想として、毎回受け付けるので、どんどん提出するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎物理学(前期)	しみずただよし 清水 忠 良	短放 1 選	2

講義のねらい

この科目は新入生に向けて開講されるものである。最初に今まで学習した内容の復習をする。近代(20世紀)の物理学で特に著しく医療に係わりの深いX線の発見と原子構造(主に水素)についてを材料にする。とりあえずこれらの世界の言葉の渦の中に浸っていただく。特に、現象と実験の関係を実際の歴史から採用する。予備知識は特に必要はない。問題意識としては丸暗記した知識は役に立たないこと。とくに百科事典、その他のメディアの情報には、簡単な基礎概念に対しても様々な表現があり、言い回しがあること。常識的に信用があるとされている情報にもピンからキリまであること。信頼できる情報を集めること。以上のことを身をもって体験することである。

講義の内容・授業スケジュール

先ず、数回にわたって、学生に担当を決めて、以下の質問事項について調べ、発表してもらう。このときには何を参考にしてもよい。特に重視するのは、結果がどのような手段を用いて結果が得られたかを知ること。もし、簡単に実現できそうであれば実験をする。

- X線の発見
- 電子の発見
- 水素スペクトルとは
- ネオンの色
- 光電効果とは
- 原子核とは
- 周期律表と原子構造
- 単位系
- 虹はなぜ円い?
- ネオンの色
- その他

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

1. レポート
 2. 実験
 3. 質疑応答
 4. 調査・検索
- の4項目について点数化して総得点

教科書

特になし

参考書等

特になし

その他

討論, ゼミ, 講義形式を併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎化学(後期)	た じ ま たかし 田 島 隆	短放1選	2

講義のねらい

昨今の高校における理科の教科の履修方法では「理科Ⅰ」で化学の初歩を学んでも、「化学」を履修せず、他の科目で単位を取得してもよいので「化学」を履修してこない学生が多々いる。これ等の学生にとっては必修科目「放射化学序論」の講義の理解が困難な者が多い。「放射化学序論」では、出来る限り初歩的な、基礎レベルから講義をしているが「化学」を履修してきた学生との格差を埋めるのには充分とは言えない。

そこで、化学の学力が充分ではない学生、「放射化学序論」を聞いても理解のできない学生のために、その補習として演習形式により行う。化学の基礎的事項から「放射化学序論」で講義した重要事項についてまでを、問題として作成し、それ等の問題を解くことにより、これら基礎事項、重要事項を理解せしめ、応用力が身につくようにする。

講義の内容・授業スケジュール

a) 原子、分子、モルに関する問題

化学で量的に物質や化学変化を扱う時に基本となるモルの概念とその扱い方が十分に理解されていないと、化学そのものが理解できない。従ってモルを自由に使いこなせるようにする。

b) 化学結合に関する問題

分子軌道法の考え方について高校では殆んど扱っていない。物質の構造や性質を考える上では、この分子軌道法を導入することで理解しやすくなる。また水素結合も重要でありこれ等化学結合を詳細に理解できるようにする。

c) 化学平衡、電離平衡、pHの計算問題

質量作用の法則は不可逆反応でなければ広く通用する法則であって、それを十分に理解した上で、pHの計算法に関する問題を解く。緩衝溶液の緩衝能の計算も行う。

d) 酸化還元反応の式の作り方

酸化数についてのルールについては記憶して、その酸化数を用いて酸化還元反応の量的関係を電子の移動数として理解させる。

e) 標準電極電位と電位差の計算問題

酸化還元反応を電池と考え、その電位差を計算して、反応の進行について考える。

f) 反応速度と活性化エネルギーの計算

化学反応を理解する上でも、放射性核種の壊変についても、また生体触媒である酵素反応についても広く応用する計算であるから、基礎的事項として理解すべき問題である。

g) 化学熱力学

熱力学の第1、第2法則、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーの概念とその数量的扱い方、計算法の理解をする。

h) 吸光度の計算

比色分析をする上で必要な吸光度の計算法とその応用に関する理解をする。

履修上の留意点

高校で「化学」を履修しなかった学生、履修をしても学力が不十分だと自覚している学生を対象としている。また「放射化学序論」の講義を充分理解できない学生も選択履修をして欲しい。昨今の状況では、以上選択履修して欲しい学生は敬遠して選択せずに、逆に化学を得意とする学生が単位取得を目的のために履修するケースが目立つ。これはこの演習の目的から外れるものであって、好ましい傾向とは云えない。

問題は事前に配布するので、各自で問題を解いて欲しい。学生に解答して貰い、その解説を各問題ごとに行う。しかし、問題を解いて来ない学生、化学の出来る学生の解答を単に写してくる学生が居ると、演習の目的は達成できない。正解を写して事終われりとするならば、理解不十分のまま終わってしまう。

あくまでも自力で解く努力をして欲しい。例え間違っている、それなりの解答を出す努力をして、正解を示されたのを見たら、自分がどの点が間違っていたのか、どの点の理解に不足があったのか、わかる筈である。こうした努力が学力を養成すると考えて欲しい。

どうしても判らない場合には質問に来て欲しい。ただ質問に来る場合には全く判りません全部教えて欲しいという場合には答えないことにしている。ここまで解いたが、その先が判らない、またどうしてここで1/2にするのかと云った質問には、その解答を出すヒントを与えて考えて貰うことにしている。質問によっては、講義中に行った説明と同じ説明をすると納得する場合があるが、これは講義を聞いていなかったに相違ない。講義中には集中力を欠くことのないようにして欲しい。

成績評価の方法

(各時間小テストの平均+定期試験) × 1/2 = 成績

教科書

プリント

参考書等

「放射化学序論」の教科書

科目名	担当者名	配当学科	単位
計算機言語概論（前期）	すぎ杉 田 おる徹	短放 1 選	2

講義のねらい

診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基礎技術を習得することは必要不可欠な条件といってよい。まずキーボード操作に慣れること、次に応用ソフトが自由に利用出来ること、そしてプログラミング技術を自からのものとしていることである。この授業では、初心者向きの言語であるBASIC高級言語を学び、それをういてプログラミングの実際を習得する。情報教育センターにおいて1人1台のコンピュータにより実習を行う。半期の授業である。

講義の内容・授業スケジュール

1. コンピュータの構成
2. コンピュータ言語の基本理論
3. BASIC言語
4. パーソナルコンピュータによる実習

履修上の留意点

キーボード操作に慣れること。
アルゴリズム的発想の習得とその活用に心掛ける。

成績評価の方法

実習の結果と定期試験により成績評価を行う。

教科書

コンピュータ教育工学研究所編 ガイドブック『BASIC』（サイエンス社） ¥1,854

その他

選択科目であるが、2年次、3年次の専門科目に関係してゆくので出来るだけ受講してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎数学（前期）	し清水 ただよし	短放 1 選	2

講義のねらい

放射線にかかわる専門教育科目を学修する際に必要な数学の基礎を学ぶために、高校における数学の復習を兼ねて設置された科目である。履修方法では、教養教育科目の自然分野から2科目4単位を修得することが卒業要件となっている。基礎数学は選択科目の一つであるが、高校での数学をあまり理解していない場合は、卒業要件とは切り離しても履修することが望ましい。主として専門教育科目の履修に当たって必要と思われる項目を中心にして講義をすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

高校数学の復習と専門教育科目である応用数学に必要な基礎的事項を中心とした内容で、以下の順序にしたがって講義する。
1. 関数 2. 微分とその応用 3. 積分とその応用

履修上の留意点

講義内容に関連する演習問題をあらかじめ与えるので、各自で解くよう心掛けて欲しい。数学の力は授業を受けたり、教科書・参考書等を読むことだけで培われるのではなく、多くの問題を自ら解くことによって達成されることを理解して欲しい。

成績評価の方法

年度内に行う数回の試験（中間テスト、定期試験など）の結果によって評価する。

教科書

矢野・石原共著『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎生物学 (後期)	し 清 みず よし かず 水 善 和	短 放 1 選	2

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連綿と続く進化の過程を経て現在に至った歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、すべての生物の基本単位となる細胞には生命の根元物質である遺伝子(DNA)が含まれ、この遺伝子の情報に基づいて体がつくられ、そのコントロールのもとに生命が維持されている。生命活動のどの部分をとっても、遺伝子と無関係なところはないといってよい。現代生物学は遺伝子という物質的な拠り所をえて、より厳密で実証的な学問に変わりつつあるといえる。そこで、本講義では生物の進化と遺伝子を二つのキーワードにして、現代生物学の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げる主な項目：生体を構成する物質、遺伝子とその発現の仕組み、細胞の構造と働き、多細胞生物の発生、神経系と脳、免疫と生体防御、性と生殖、遺伝、動物の行動、分類と系統、進化と進化論、ヒトの進化、生態系など。また、バイオテクノロジー、脳死、エイズ、生殖革命など各分野に関連する社会問題についても言及する。

成績評価の方法

テストと出席により評価する。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

板書中心の講義形式。必要な図表は適宜プリントにして配布する。

2 教養教育科目

(4) 総合分野



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	短国・短英	4

講義のねらい

This English course is more difficult than any other English course you can find; I want you to experience studying something in English instead of studying English. The purpose is to prepare you for international study; I want you to experience taking a university-level course in a foreign country before you leave Japan to study in a foreign country. The experience will save you a lot of time and money, and you will have more success studying abroad. This course will not teach everyday English conversation or simple reading, but you will have a lot of practice in how to carry on an intellectual conversation in English. The lectures, your compositions, and your conversation practice will be about world-wide social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, money, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Although this course is your best chance to master an advanced level of English, it is much more valuable than just that. The main purpose of my life to teach problems such as these, and once you deal with these topics in this course, you will never be able to stop thinking about them for the rest of your life.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おか ぎき とし いちろう 岡 崎 寿 一 郎	短国・短英	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学、体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、今回、新カリキュラムによって改変されます。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論じます。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参 考 書 等

参考書・文献については適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (3) 〔現代中国文学を読む〕	〔前期〕 釜屋修 〔後期〕 塩旗伸一郎	短 国・短 英	4

講義のねらい

二十世紀中国近現代文学の流れを概説し、また日中文学交流、影響関係などを作家や代表的作品を通して考察する。対象年代は1915年頃より1990年代まで。

〔前期〕釜屋修が担当し、五四文学革命からはじめて、若き日を日本で過ごした魯迅、郁達夫、郭沫若らの日本における青春の苦悩、その作品への反映、20年代に出現した巴金、老舎らの作家群像、30～40年代の抗日文学・解放区文学について論じる。魯迅については受講生を小グループに分けた作品討論の場も設ける（文庫版翻訳を用いる）。最後に後期へのつなぎとして文化大革命についての総括的介绍を行う。

〔後期〕塩旗伸一郎が担当。70年代末、文化的には焼け野原さながらの大地に復興の産声を上げた中国文学は、その後約10年にわたり、「新時期文学」と呼ばれる隆盛を築いた。その後、89年の商品経済の荒波に揉まれながら、中国文学はいま何をどう語り、どこへ向かうのか。幾つかの時期を画する代表作を取り上げて論じるとともに、日本からのアプローチの問題点にも迫る。

講義の内容・ 授業スケジュール

二十世紀中国近現代文学の流れを概説し、また日中文学交流、影響関係などを作家や代表的作品を通して考察する。対象年代は1915年頃より1990年代まで。

〔前期〕釜屋修が担当し、五四文学革命からはじめて、若き日を日本で過ごした魯迅、郁達夫、郭沫若らの日本における青春の苦悩、その作品への反映、20年代に出現した巴金、老舎らの作家群像、30～40年代の抗日文学・解放区文学について論じる。魯迅については受講生を小グループに分けた作品討論の場も設ける（文庫版翻訳を用いる）。最後に後期へのつなぎとして文化大革命についての総括的介绍を行う。

〔後期〕塩旗伸一郎が担当。70年代末、文化的には焼け野原さながらの大地に復興の産声を上げた中国文学は、その後約10年にわたり、「新時期文学」と呼ばれる隆盛を築いた。その後、89年の商品経済の荒波に揉まれながら、中国文学はいま何をどう語り、どこへ向かうのか。幾つかの時期を画する代表作を取り上げて論じるとともに、日本からのアプローチの問題点にも迫る。

履修上の留意点

中国の現代に関心のある人、本を読むことが好きな人の参加を歓迎する。中国語履修者でなくてもよい。

成績評価の方法

前後期各1回のレポート提出+出席で判断する。

教 科 書

文庫本など開講後に紹介する。その他は随時プリント（日本語訳）配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (1) 〔南インドの宗教と社会〕	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	短国・短英	4

講義のねらい

英語による社会人類学的なインド社会の基礎的知識を与える。社会科学の基礎的な研究手法、サマリーの仕方を英語で学ぶ。英語による授業の形式に慣れる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期のテーマ：ヒンドゥーイズムとは何か。インド宗教と社会とのかかわり。南インドと北インドとの社会人類学的比較。
後期のテーマ：Migration, Ethnicity, Gender などの今日的なテーマをインド人社会とのかかわりで論じる。

履修上の留意点

講義を受講し続ける為には最低TOEIC650, TOEFL500程度の英語力が必要。それ以下で受講してもほとんど意味がない。受講希望者はこの点くれぐれも注意すること。授業第1回目または2回目に英語の試験をして受講者制限をする。

成績評価の方法

平常点と年2度の試験による。平常点は隔週提出する宿題を参考とする。これは英語による授業内容のサマリーである。年度末試験はこれを総合する形での問題を複数のなかから選択し、英語による課題エッセイを規定時間内で書かせるもの。隔週の提出サマリーができなければ試験の準備自体が不可能となる。質問は英語ですること、授業はすべて英語。

教 科 書

授業にてプリント配布。

参 考 書 等

授業にて指示。

そ の 他

時にビデオも使用。すべて講義形式で、授業内で討論および発表はおこなわない。ただしエッセイ課題を添削しながら授業で検討することはある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (2) 〔アメリカの黒人問題〕	なか お しいん こう 中 尾 俊 光	短 国・短 英	4

講義のねらい

講座名を「アメリカの黒人問題」としました。アメリカの「黒人」が好む呼称の変化は次の通りです。

	1969	1979	1989	1993
アフリカン・アメリカン	—	—	23%	28%
アフロ・アメリカン	10%	1%	—	—
ブラック	19%	72%	66%	37%
カラード	20%	12%	—	—
ニグロ	38%	9%	—	—

(「ワシントン・ポスト」 1994.1.23より)

以上のような変化は「黒人」自身のアイデンティティの意識の変化を表わしているといえるでしょう。最近では日本でも「アフリカン・アメリカン」が採用されつつあります(「NHKラジオ英会話」1995.10月号)。それにもかかわらず、「黒人」を採用したのは、日本での現実認識を鑑みる時、この呼称が最も一般的と思われるからです。

アメリカの黒人は過去から現在に至るまで様々な重い問題を負わされてきました。そしてこのような黒人の現実、高々と掲げられてきた「アメリカ民主主義」の理念とどのような関係にあるのでしょうか。黒人が抱えている重い諸問題と、そのような現実を内部に抱えている「自由と平等の国・アメリカ」。このような観点をふまえて「アメリカの黒人問題」と題しました。

アメリカのいわゆる「黒人問題」は、1960年代に高まりを見せた公民権運動の多くの差別撤廃の成果にもかかわらず、今なお未解決のままに残されています。政治的、社会的、そして経済的諸権利について、黒人は法の下での平等をほぼ達成したと考えられますが、黒人大衆の経済状態は依然として改善されていないようです。「人権」や「肌の色」の問題としてというよりも、過去に遡る諸要因によって、アメリカの経済機構の中に差別された状態で組み込まれていることが、一つの明らかな状態——貧困——となって現われていると思われる(教科書、251頁)。1619年にアフリカ大陸から強制的に「引き剥ぐ」ように「20名の黒人」が初めてアメリカの地に連行されてきました。その時から「アメリカの黒人」の苦しみが始まり、現在に至っています。彼らの苦悩とそれからの解放を求める歴史を辿りながら、そこに見い出される重要な出来事・事件の意味を、一方の「アメリカ民主主義の理念」と対照させながら考えたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の内容(プロローグと10項目)と順序(年代順)に従って、教科書では示されていない重要な事件(裁判等)や問題点をも取りあげ、その意味を考察します。各項目に2時限を当て、とくに重要と思われる「公民権闘争」及び「黒人革命」については、それ以上の時間を当てる予定です。なお、授業の方法は「講義」です。

履修上の留意点

本講座では、知識の修得ということばかりではなく、受講生自身の問題意識を大切に、「人間が共に生きること」の意味を自らに問い続けて下さい。参考書、とくに「アメリカの民主政治(中)」(A. トクヴィル)、「黒人はなぜ待てないか」・「良心のトランペット」(M. L. キング)に目を通して下さい。

成績評価の方法

前後期それぞれに2回(通年4回)のミニ・レポート提出、そして「学年末レポート」提出を求めます。以上の5点を総合評価します。

教科書

「アメリカ黒人の歴史」, 岩波新書 ¥580

参考書等

1. 「アメリカの民主政治(中)」 A. トクヴィル著, 講談社学術文庫
2. 「黒人はなぜ待てないか」 M. L. キング著, みすず書房
3. 「良心のトランペット」 M. L. キング著, みすず書房
4. 「アメリカ黒人の歴史」 ベンジャミン, クォールズ著, 明石書店
5. 「黒人の政治参加と第三世紀アメリカの出発」 中島和子著, 中央大学出版部
6. 「キング牧師とマルカムX」 上坂昇著, 講談社現代新書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) [ポスト・モダンの世界]	まるこてつお 丸小哲雄	短国・短英	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱があります。最大公約数的に言って、ポストモダンは、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現として現代史を思想化（帝国主義と植民地化する力の露呈）することあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意義を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

そこで、自己回帰のパラドックスと自己言及のパラドックスを確認した後で、「ポストモダン」をキーワードに現実世界のテキストの解釈を目指しつつ、プレモダン（前近代）→モダン（近代）→ポストモダン（脱近代）→トランスモダン（横断的近代）を対照的に重層的に講義します。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き：「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方：「今ここ」
3. 「モダン」の語源と定義について：建築と写真の事例（プリント）
4. 言語について：ソシュールの言語観：言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの偏在性とディスコースについて：
6. プレモダン（前近代：絶対王政と重商主義）（17・18世紀）
7. モダン（近代：生産資本主義社会の文化）（19・20世紀）
8. ポストモダン（脱近代：消費資本主義社会の文化）
9. 西洋の理性批判：デカルト、ヘーゲルとマルクス、ニーチェ、フーコー、デリダなどを中心にして近代化批判の根っここのところを捉えていきます。
10. トランスモダン（横断的近代：モダンとポストモダンの内から外へ）
11. レビュー：冷戦後における自己組織と反省の人間の特質について

履修上の留意点

平常点30%、ターム・ペーパー（レポート作成）50%。さらに、前期、後期に関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだペーパーも提出：20%。クラスでの発表者には別途評価。

成績評価の方法

◇開講時にプリントを配布し、必要なテキストを指示します。

参 考 書 等

◇随時指示し、適宜コピーも配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ また よう た ろ う 川 股 陽 太 郎	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのは、そうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみると、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば、容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとは、イギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見たいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

現代のイギリス人、およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。「血」もさることながら、それを決定するのはその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人の侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性とその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して始めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあつて最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためにも自国の文化はいわずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白いものが多々見受けられる。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を歓迎する。「文明」と「文化」の区別がつかない学生に、この講座は特に向いていると思われる。

成績評価の方法

レポートと学年末の試験で評価し、この二つの等価に評価する（50点・50点）。レポートはレポート用紙10枚～30枚程度ものを、前期1回（7月）、後期1回（12月）に提出。

教 科 書

教科書は使用しない。レポートを作製するさい、少なくとも数冊の文献を参照すること、また「引用文」には（注）を付け、書名とページ数を記し、その他の参考文献名を記入すること。

参 考 書 等

講義形式をとる。その理解の一助として、視聴覚機材（オーバー・ヘッド・プロジェクター等）を用い、写真、絵図、資料（2,000～3,000枚）を提示しつつ講義を進めていく予定である。また、合理的に講義を進めていくために、必要と思われる資料を適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (2) 〔ドイツ文化論〕	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	短国・短英	4

講義のねらい

この授業では、18世紀半ばの啓蒙主義から現代までのドイツの思想や芸術を、現実の政治や社会の歴史と関連させながら、その変遷のダイナミズムに即して見ていきたいと思ひます。

ヨーロッパのなかで後進国であったドイツは、イギリスやフランスに比べて中央集権国家の成立が大幅に遅れ、19世紀の後半までいくつかの小国に分裂していました。ドイツとは言語圏を中心にした文化圏の名前であり、国の名前ではありませんでした。ドイツは、1871年、普仏戦争の勝利を挺子にしてようやく国家統一を成し遂げます。これまで文化圏のみがドイツであったことをむしろ誇りにしていたドイツが、今や政治圏としてのドイツになり、さらに植民地獲得競争で列強と覇を争う軍事国家としてのドイツに変貌して行きます。

こうした歴史の経過のなかで、ドイツの文化は大きな震幅で変遷します。しかしそうした変遷にもかかわらず、その底にはカント以来の批判精神ないし自己省察の精神が脈々と流れており、それが時代の節目節目にさまざまなヴァリエーションで現われているように思ひます（例えば戦後40年に際してのヴァイツゼッカー前大統領の演説を想い浮かべて下さい）。このことは、同じように遅れて近代化を成し遂げた日本の場合と比較すると、一層顕著であると言えましよう。

以上のような観点から、ここでは日本との対比も含めた大きな世界史の流れの中でドイツ文化をとらえ、その意味を考えて行きたいと思ひます。このことが日本文化を顧みる契機になればと願っています。

成績評価の方法

筆記試験かレポートの予定です。

教科書

教科書は用いません。参考書は、そのつど、指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (3) 〔スペイン語圏の歴史と文化の諸相〕	うえ の かつ ひろ 広 上 野 勝 広	短国・短英	4

講義のねらい

2億5千万人を越える言語人口を擁するスペイン語圏の背景となる歴史と文化の諸相を探訪する。一般に皮相的なイメージで捉えられてしまうことの多い同地域への理解と関心を深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期はスペイン、後期はラテンアメリカを対象にする。歴史については、いくつかの重要なトピックを絞り、概説する。文化面では、国民性、宗教、芸術、料理、観光等を取りあげる。

履修上の留意点

本講座を通じて、受講者自らが問題を発見し、追究する契機としてもらいたい。

成績評価の方法

前・後期各1回のレポートにより行う。

教科書

特定の教科書は使用しない。必要に応じて講義資料をプリントにして配布する。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

条件が許せば、ビデオ等の映像教材を活用する。

外 国 語 科 目



外 国 語 科 目

必修・選択必修科目

英

語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たなか たもつ 田 中 保	短 国 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ南部作家たちの作品を講読しながら、より高度な構文の理解と大意の把握をし、Reading Comprehension の向上を図る。
また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニング力を養う。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 授業中の小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

1. 『現代アメリカ南部作家選』（南雲堂）¥1,600
2. 『10分間ベーシック・リスニング』（桐原書店）¥950

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	おおかわ ひろし 大 川 浩	短 国 1 年	2

講義のねらい

英国の作家D. H. ロレンス（1885～1930）の生、性、愛などを取り扱ったエッセイを読み、あわせて英文の内容の把握と読解力の滋養に努めることを目途とする。
辞書を活用して、事前の準備を行なうこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季課題に出題されるレポートの提出・及び随時、施行される小テスト等、総合的に判断し、評価する。

教 科 書

未定

そ の 他

金曜・4

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	まち だ なお こ 町 田 尚 子	短 国 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

文体の優れた小説を原文で読む楽しさを共有できればと願っています。まず前期は Kyoko Mori の *Shizuko's Daughter* を取り上げます。この小説は、12歳の少女 Yuki (Shizuko's daughter) が母親 (Shizuko) の自殺による喪失感、その後の父親の再婚と継母との軋轢・葛藤を経て、19歳、大学入学を機に家を出、経済的にも自立する、思春期から成人へと成長する7年間のストーリーを縦糸に、また少女が自己形成の支えとした母親との思い出 (共有体験) を横糸に織られた、きわめて精緻な出来映えの作品です。アメリカ図書館協会のヤングアダルト (十代後半の青少年) 向き最優秀作品、ニューヨーク・タイムズ等の書評でも高い評価を受けています。Kyoko Mori は日本で生まれ育ち、現在、ウイスコンシン州の大学で英語と創作文学を教えています。

授業は演習形式で行いますから、予習を前提とします。後期は皆さんの希望を聞きながら、作品を選ぶ予定です。

成績評価の方法

平常授業での担当発表と前期・後期試験の成績を総合して評価します。

教 科 書

Kyoko Mori, 『*Shizuko's Daughter*』 (Fawcett Juniper:New York) 紀伊国屋

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たか の ひで お 高 野 秀 夫	短 英 1 年	2

講義のねらい

英作文・スピーチ、口語的表現等の基礎を養い、書く、聞く、話す能力を身につける。…教養と実用の両面から読み書き話すこと、また…その国の文化、歴史、風俗、思考方法等を知ること。専門書を原書で読めるようになることを目標としています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- ① Natural Speed で英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後期

前期と同じ授業計画。

授業の進め方

- ①30~40分間 テープの英語
- ②50~60分間 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、19世紀英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ①前期・後期一回づつテスト実施
 - a. テープの英語 b. 教科書
- ②課題のレポート提出

教 科 書

- ① *To Please His Wife And Other Stories*
- ② *Listening Capsules*.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I	よし ざわ えい し りう 吉 沢 栄 治 郎	短英 1 年	2

講義のねらい

日常使われる言いまわしが即座に口をついて出るようにしていきたい。そのためには、何度も反復、朗唱し、メモに取り、折あらば実際に使ってみること。使ってゆくことの中から、次第に英語は身についていくものです。

初めはブロークンでも、その是正に努めていけば、やがては Good English が自分のものとなっているでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの和文順次、英訳していきます。
いくつかの可能な訳が考えられますが、でき得るかぎりその英訳を掲げていき、それらのニュアンスの相違についてもふれます。要は、自前の英訳をひとまずペンを取って記してみること。その際英英辞典も使って英語らしい英語 (Idiomatic English) になるようにしてみることが肝要です。英英辞典は思ったより使いやすく、使い馴れば引きこなせます。英英辞典であれ、英和辞典であれ、何か一冊引きつぶして下さい。

また、平素から日誌を英語でつけてみるのもよい。たとえ 3 行でも、積み重なって、有効なものだ。書き留める習慣を養うと得るところは大きい。

一つの課 (A, 10題 B, 7題) のうち、A を先に英訳していく。一回の授業で 5 題ずつこなしていく予定。A を終えた後、B へ進む。

履修上の留意点

和英辞典と英英辞典を併用する。

成績評価の方法

1 月の定期試験で評価します。

教 科 書

第 1 回の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語	まち だ なお こ 町 田 尚 子	短放 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英語で現代科学の諸問題を考えながら、英語の基礎力が身に付く授業です。テキストの問題テーマ毎に課題または小テストをする予定です。授業は演習形式なので、課題を担当して発表する積極的な授業への参加姿勢を高く評価します。

成績評価の方法

平常授業での課題発表と小テストおよび前期・後期試験を総合して評価します。

教 科 書

アイザック アシモフ『太陽からの黄金ーアシモフ エッセイ集』金星堂 ¥1,597

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	た な かもつ 田 中 保	短 放 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

より高度な構文の理解と文章の大意の把握に重点を置きながら読解力を身につける。
また、サブ・テキストを使用して、英語運用のための文法を習得し、実践的語学力の養成を行なう。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト（授業内）
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

1. 『ピューリッツァー賞作家傑作短篇集』（朝日出版社）¥1,200
2. 『大学英文法のエッセンス』（朝日出版社）¥900

ド イ ツ 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	あづま ゆうじろう 吾 妻 雄 次 郎	短国・短英1年	2

講義のねらい

1週1回の授業をいかに有効に生かすかが課題です。簡単な文章を読み、耳で聞きとり、話すことができるように、基本的な文法をも修得するのがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

英語に比べ、ドイツ語の文法はやや複雑です。従って最初少し油断したために分からなくなり、興味を失うことがあります。何事によらず初めが肝要です。教室での指示に従って、短い時間で結構ですから、集中して予習復習に時間を割き、いつも前向きに取り組んで欲しいと思います。

成績評価の方法

出席状況や理解度、その他年2回程のテストで評価。

教 科 書

関口一郎著『楽しくドイツ語を！』¥1,800

参 考 書 等

参考書は特に必要無し。独和辞典は必要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	よしだ ふみこ 吉 田 文 子	短国・短英1年	2

講義のねらい

ドイツ語初級文法の習得、それを基にして簡単な文章を読み簡単な会話もできるようにすることを目指します。

カセットテープで会話を聞き、その文型を使ってパートナーあるいはグループ練習が授業の主体となります。

ドイツの都市ハイデルベルクでの生活を題材にした教科書を使いますが、それを通してドイツ(ドイツ語圏)の文化、生活習慣、食習慣にも触れていきたいと思っています。

耳と口による練習が主となりますので授業は欠席せず積極的に参加していただきたいと思いません。

成績評価の方法

成績評価は2～3回の小テスト、平常の小テスト、授業態度をもとにします。

教 科 書

『明快ドイツ語』(朝日出版社2,200円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語	あ づま ゆう しる 吾 妻 雄 次 郎	短 放 1 必	2

講義のねらい

放射線科に与えられた、唯一の、一度だけのドイツ語の時間です。近ごろはこの貴重な時間を通じて、ドイツ語の初歩のすべてとまではいかなくとも、この言語を通じて、何かを学ぼうとする意欲の感じられる学生が見られるようになりました。簡単な文章から、基礎的な文法の初歩を学び、こちらの意志が相手に通じるような表現を身につけるところまでいきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語の文法は英語に比べ、やや複雑です。はじめ少し油断すると、(休んだりしても)理解できなくなり、興味を失い、挫折のもとになりかねません。ブランクは自分の責任で埋めておくのが大学生の在り方です。教室での指示に従って、短時間、集中して、予習・復習に成果を見いだして下さい。

成績評価の方法

出席の状況や理解度、年2回程度のテストで評価。

教 科 書

諏訪功著『半期・通年のドイツ語入門』同学社 ¥1,600

参 考 書 等

特に必要なし。独和辞典は必要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語	よ し だ ひ み こ 吉 田 文 子	短 放 1 必	2

講義のねらい

ドイツ語初級文法の習得が目的ですが、文法事項の細かい説明をできるだけ避け、例文と練習問題をくり返し口頭で練習することでドイツ語に慣れ、自然に文法が身につくことを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

カセットテープを使い、パートナー練習もやります。

履修上の留意点

外国語の習得には積みかさねが大切ですので復習に努め授業には積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

成績評価は2～3回のテスト、平常の小テスト、授業態度をもとにします。

教 科 書

「はじめまして」(朝日出版社2,300円)

フ ラ ン ス 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	たけだまさずみ 竹 田 正 純	短国・短英1年	2

講義のねらい

フランス語を、文法に片寄らないで、バランスよく聴き・話すことを中心にすえて、総合的な力が身につくようになることを目指す。しかし、読解力の養成にも時間をさいていく。

講義の内容・
授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、読解を考慮した副教材（教室で配布）で不足部分を補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので、指定するカセット・テープをよく聴き、実践力の向上に努めてほしい。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教 科 書

嶋崎陽一「フランス語のひとつき」（朝日出版社）¥2,000

参 考 書 等

数江譲治「フランス語のABC」（白水社）¥1,600

中 国 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I	伊 禮 智 香 子	短国・短英1年	2

講義のねらい	基本的な文法事項、拼音の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって進め、適宜補う。
履修上の留意点	予習をすること、授業時に質問に答えてはじめて出席とみなす。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提に、前期、後期の試験と小テストで総合的に判断する。
参考書等	『太郎の中国語』滝沢恭子・陳祖葆 朝日出版社 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I	ひろ かね かな こ 弘 兼 加 奈 子	短国・短英1年	2

講義のねらい	昨今、中国語に対するニーズが急速に高まって来た。このクラスでは、中国語を学ぶことによって中国に親しむということから始めたい。
講義の内容・授業スケジュール	教科書を中心に、多く聞き、話すことを主として学習を進める。特に前半は発音や声調に留意し、美しい中国語、通じる中国語を目指す。 後半は授業の進捗に応じて生活習慣や考え方の違いについても言及出来たらと思う。
履修上の留意点	中国語は見ればある程度意味はわかるが、発音はかなり難しいと言える。休まないように。私語は禁止だが、口頭練習の時には恥ずかしがらずに大きな声を出すこと。
成績評価の方法	前後期試験の他に小テストを数回行なう。筆記の他、聞き取りのテストも行なう予定。
教科書	相原茂『中国語へのパスポート』朝日出版社・カセット込み2,200円。
参考書等	特になし。
その他	授業形態 講義、テープ教材等。

ス ペ イ ン 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I	き とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	短国・短英1年	2

講義のねらい

知識としてスペイン語より実際に使えるスペイン語の習得をめざす。基本の文法事項を学びながら、身近な事柄から表現できるよう指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

初級用テキスト（20課）を終わらせるのを一応目標とするが、生徒の希望や理解度に合わせるので、必ずしもスケジュール通りに進むとは限らない。

履修上の留意点

外国語の習得には、根気よく少しづつ知識を積み重ねて行くことが大切である。それには、当然の事ながら、授業にできる限り出席すること、必ず復習をしてから次の授業に出ること、毎日少しづつ単語を覚えて語彙を増やす努力をすることを勧める。

成績評価の方法

毎回授業の始めに、前回の学習事項についての簡単なテストを行う。この小テストと後期試験で最終成績評価を決定する。

教 科 書

石崎優子、フェリサ・レイ「スペイン語世界への窓」芸林書房 1,854円

参 考 書 等

最初の授業で指示する。

再履修クラス

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I 〔再 ク ラ ス 〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	短国・短英 2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の理解とその応用表現を中心として学びながら、話題は海外旅行、日本と欧米の比較、さらに最近話題のコンピューター・ネットワークなどに及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに、年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普通の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にファックスやパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教 科 書

- 1) 『会話表現のための英作文』 桐原書店 1,430円
- 2) “The Black Cat and Other Stories” 南雲堂 880円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 〔再 ク ラ ス 〕	い せ むら さだ お 伊 勢 村 定 雄	短放 2年	2

講義のねらい

本課では英語学習の基本を文字通りマスターすることを目指す。発表・イントネーションの基礎、辞書の利用法を中心に置き、トレーニング方式を取る。

講義の内容・
授業スケジュール

3時間に1課平均で進むが、初回に詳細は説明するので必ず出席のこと。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況及び考査（ペーパーテスト・読みのテスト）

教 科 書

D.トロケロシヴィリ他『たのしい経済英語』、南雲堂 1,950円

参 考 書 等

中型英和辞典なら何でも可。

そ の 他

事前の準備を前提として学生自身に答えてもらったり、発音練習をしてもらいつつ、比較的节奏で進める予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I 〔 再 ク ラ ス 〕	もも ずみ さいむ 百 濟 勇	短国・短英 2 年	2

講義のねらい

長い間ドイツの研究所の同僚と仕事をしていると、駒沢大学の学生にはやはり1カ国語は徹底して、その周辺に数ヶ国語の外国語をマスターして欲しいと思う。もち論日本の条件だけで専門をベースにした語学研修はかなりの限界がある。諸君は初学年で単位を落としている。成績が悪くて落とした訳ではない。その原因は本人が良く承知している。怠けていただけだ。もう一度根本的に外国語履修の重要性、学び方を身につける事をこのドイツ語の授業を通じて行なう。そこで《反復練習》の方法をとる。その具体化は自分の頭で考え反復してもらうために、原則として毎回授業の終わり20分間を利用して、少テストを行う。それを毎回採点して返すが、1年間のテスト数及び配布プリントは相当なものになる。期末試験は行わず、この平常点で成績を評価する。新学期開始までベルリンで在外研究を行っているので使用教科書に関しては授業が始まってから指摘する。当面はプリントを利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 〔 再 ク ラ ス 〕	もも ずみ さいむ 百 濟 勇	短放 2 年	2

講義のねらい

長い間ドイツの研究所の同僚と仕事をしていると、駒沢大学の学生にはやはり1カ国語は徹底して、その周辺に数ヶ国語の外国語をマスターして欲しいと思う。もち論日本の条件だけで専門をベースにした語学研修はかなりの限界がある。諸君は初学年で単位を落としている。成績が悪くて落とした訳ではない。その原因は本人が良く承知している。怠けていただけだ。もう一度根本的に外国語履修の重要性、学び方を身につける事をこのドイツ語の授業を通じて行なう。そこで《反復練習》の方法をとる。その具体化は自分の頭で考え反復してもらうために、原則として毎回授業の終わり20分間を利用して、小テストを行う。それを毎回採点して返すが、1年間のテスト数及び配布プリントは相当なものになる。期末試験は行わず、この平常点で成績を評価する。新学期開始までベルリンで在外研究を行っているので使用教科書に関しては授業が始まってから指摘する。当面はプリントを利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅰ 〔再クラス〕	はまき せつ お夫 浜 崎 設 夫	短国・短英2年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法の習得に比重を置くが、日常会話で使う簡単な表現方法も学んでもらう。秋までには辞書を使って初級の文章を読めるようにしたい。また、フランスに関する諸情報も提供したい。

講義の内容・
授業スケジュール

文法読本のテキストを使用する。1年間で基本文法を終了するが、その間に練習問題や文章の読解を積極的にやってもらいたい。テープも使用する。

履修上の留意点

なるべく毎回出席すること。遅刻しないこと。辞書、ノートはテキストと共に必ず持って来ること。

成績評価の方法

前期後期の試験、予習（宿題）の回数、出席回数、授業態度等を参考にする。

教 科 書

山下浩，内藤陽哉著『カイエ・ドゥ・フランセ』（駿河台出版社 1,400円）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語Ⅰ 〔再クラス〕	り うん 李 雲	短国・短英2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業ではまず4回ぐらい発音を学んだ後、教科書本編に入る。本文で会話を学び、そのあとを追いかける形で、文法と練習問題を学んでいく。教科書は各課とも比較的会話体の本文、文法事項をまとめたポイントと練習問題のトレーニングの順で構成されている。

履修上の留意点

漫然と出席するのではなく、本文の書き取りや簡単な日文中訳ができるように、きちんと予習と復習を要求する。

成績評価の方法

成績は、平常点、出席点、年間4回の試験、小テストなどを総合して判定する。

教 科 書

尹景春，竹島毅著『中国語はじめの一步』白水社 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I 〔 再 ク ラ ス 〕	さ とう ま り の 佐 藤 麻 里 乃	短 国 ・ 短 英 2 年	2

履修上の留意点

平常点を重視するので、毎回必ず出席し、授業態度には十分注意すること。

成績評価の方法

平常点と試験により評価すること。

教 科 書

開講時に指示。但し、各自前年度に使用したものを必ず持参のこと。

参 考 書 等

辞書（西和）を毎回持参のこと。

外 国 語 科 目
選 択 科 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読 〔英語聖書〕	し 清 水 祐 次 しみず ゆうじ	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

英語聖書を読み、その簡潔で力強い文体の美しさを味わうことに重点をおく。
はじめに聖書の概念的知識から、英語聖書成立の歴史、その文化的・文学的意義などについて講義したあと、英語聖書中の要所を選びながら講読をすすめる。
英語聖書には、現在市販されているものだけでも数多くの version があるが、その中から欽定訳の香りを良く伝える現代語訳である Revised Standard Version または New King James Version をテキストに用いたいと考えている。

成績評価の方法

前期・後期の試験、提出課題並びに平常点等で総合的に評価する。なお、欠席が授業時数の3分の1を超える場合には、原則として単位の修得はできない。

教科書

具体的なテキストについては未定。教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	や 矢 島 直 子 やま なおこ	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

イギリス演劇界の大物 Harold Pinter の *The Caretaker* を読む。Pinter は不条理の劇作家と言われているが、初期の作品はむしろきわめつけのリアリズムとも言える作品で、現実に日常交わされる会話を切り取ってみせているような作風である。3人の男性登場人物の関係を緊密に描いた作品である。1冊を読み終えたら、学生諸君と相談して次の作品を決める。
授業はなるべく学生諸君にやってもらい演習形式で行なう。
到達目標は、演劇作品を自力で読めるようになることである。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が20%、前期中間テストと後期中間テストが30%、前期末試験と後期末試験が50%である。ただし、受講者が少ない場合は、平常の授業で実力がかなり分るので、前・後期とも中間テストは行わず、前期末試験と後期末試験のみとする。その際は、両試験の占める割合は80%とする。

教科書

Harold Pinter, *The Caretaker*, London, Methuen & Co Ltd.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	まえ だ おさむ 前 田 脩	短国・短英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

19世紀イギリス文化を中心とした講読の授業です。前期は、ヴィクトリア女王時代の時代背景を少しでも明らかにしながら、テキストを読みすすめます。後期は、ヴィクトリア時代の庭園の図版や写真等のコピーを使いながら読みます。

成績評価の方法

日常評価、前期・後期テストを総合評価します。

教 科 書

Miles Hadfield *A History of British Gardening* PENGUIN ¥2,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	短国・短英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代は文字通り社会が時々刻々変化している激動期である。その中で、我々は絶えず自分をしっかり確立していかななくてはならない。本授業では多数の英字新聞、雑誌の記事から環境問題・経済・政治・社会問題を取り上げ、自分の周囲をきちんと見据えたいと思う。なお、時事英語には倒置、省略、品詞の転換など語学的に見て興味深い語法が見られるので、それらのスクールグラマーを越えた表現にも目を向けたいと思う。

教 科 書

「世界ニュース展望 '97」金星堂

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	はやし 林 あき 明 と 人	短国・短英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカの abc news を用い、リスニングの向上およびニュース英語に慣れることを目的とします。授業の進め方は、まず教員が学生に少し難しいと思われる単語の説明をし、そのあと学生はテープを5回を聞き、ニュース全体を大まかに把握します。このとき学生には何も与えられません。ここで数名の学生に、どの程度把握できているかニュース全体の内容に関して質問をします。このあとニュースをもう一度始めから聞き、全文をディクテーションしながら内容を確認します。そして最後に教員からニュース文が手渡され、学生はそれを見ながらもう一度テープを聞き、どこが聞こえなかったか各自確認します。一つのニュースが10行くらいで、リスニング中心ということもあり内容（政治・経済に限らずあらゆる話題）は比較的簡単ですが、アメリカで放送されているニュースそのままですので聞き取りとしては少し難しいかもしれません。しかし、慣れるに従って1時限の間に数多くのニュースをこなせるようになると思います。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用いますので、市販の教科書は用いません。授業時にプリントを配付します。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	う ひで かず つ 秀 和 都 宮	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

このクラスではアメリカのTVニュースを中心に、現在アメリカで使われている英語を総合的に学んで行く。衛星放送、インターネットなどを通してわれわれの周囲には英語の必要性が増々大きくなっている。

講義の内容・
授業スケジュール

まずビデオを見て視覚から入って行き、次にテープを聴いて速度の早い英語に慣れるようにする。次に、見、聴きた英語に対して英語で質問をする。テキストがあるので、学生は予習をすることが出来る。

履修上の留意点

かなりの努力が要求される。

成績評価の方法

3分の2以上の出席。毎日がテストのつもりで授業をすすめて行くので、定期試験は行わない。

教科書

山根・K.Ymane『テレビニュースで学ぶ英語(5)』金星堂 1,597円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おち 落 あい 合 かず 和 あき 昭	短国・短英1・2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

この科目の講座名は「アメリカ映画 ー鑑賞と台本研究ー」とし、その目的は、ビデオで映画を鑑賞し、映画台本を使いながら、映画台本の読み方、および、現代アメリカ口語英語や慣用語句の用法を学び、ヒヤリングや会話能力を高めることにある。また、この科目のレベルは中級程度とし、「英会話Ⅰ」、「英会話Ⅱ」や「L.LⅠ」、「L.LⅡ」を受講したことのある学生を対象にしている。そのため、受講者は上記の科目を履修したか、少なくとも、現代口語英語を一、二年学んだことのある学生が望ましい。言うまでもなく、映画の台詞は会話で成り立っているため、「会話体」の英語をまったく学んだことのない学生は授業についていくのが難しいであろう（もちろん、本人の努力しだいで、ついてこれる学生もいる）。また、この科目は映画の台詞をほぼ完全に理解できる学生、すなわち、レベルとしては、上級に属する学生にとっては、極めて物足りない科目でもある。

語学を身につけるには、追いつめられるぐらいでない、なかなか上達しない。そのため、このクラスは徹底した演習形式を取る。学生の予習を前提にして、授業を進める。学生は毎回必ず映画台本の下調べ（10ページ程度）をしてこなければならない。授業中は、教師側から学生に台詞やト書の意味や口語の用法について、時間の許す限り、質問をする。また、映画や英米の日常生活で多用される現代口語英語の表現に関する課題を年間10回程度出す。試験は定期試験の形では行わず、授業中に、年間2～3回、ヒヤリングや現代口語表現に関する試験を行う。そのため、これらの「発表」、「課題」、「試験」についてくることのできる学生のみが受講することを薦める。

また、この科目は40名収容のLL教場を使用するため、最初の授業のときに、受講希望者を40人に限定する。40名に満たない場合は、全員に「受講許可証」を手渡す。応募者が40名を越えた場合は、くじ引きとする。くじ引きは最初の授業のときに行い、くじ引きに当たった学生には「受講許可証」を手渡す。いずれの場合も、学生はこの「受講許可証」を持って、履修登録をする。この「受講許可証」のない学生の登録は、いかなる理由があっても、無効である。このような方法をとるため、最初の授業に欠席した学生はこの科目は受講できない。

成績評価の方法

「授業中の発表」及び「課題」が50%、「試験」（2～3回）は50%とし、出席に関しては、全平常授業回数（「試験」は除く）の3分の2に達しない場合は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『理由なき反抗』 蒼洋出版 2,000円
- 2) 『アーサー』 蒼洋出版 2,000円
- 3) 『NTC's Dictionary of American English Phrases』 マクミラン・ランゲージハウス 3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお ば なお き 大 庭 直 樹	短国・短英1・2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスでは、「知のコンピューター」活用を楽しむ。
まず、コンピューターを楽しむには、キーボードと仲良くなることである。受講者全員がソフトType Quick for Windows を使ってブラインドタッチでキーボードが打てるように訓練する。この訓練を1年間続けることによって、受講者は、相当のスピードでキーボードを操作できるようになる。

第二の課題は、Office 95 を使いこなすことである。Office 95 は Word 95 (ワープロ)、Excel 95 (表計算)、Power Point (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理) を中心としたアプリケーションである。Word 95 と電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第三の課題は、インターネット (マルチメディア) の世界を体験することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。しかし、ネット・サーフィンで大切なことは、インターネットを一人歩きする目的を持って情報探しができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第四の課題は、Windows95 のネットワーク (リモートアクセス、ファイルの共有、Fax機能、電子メール、LAN) を理解して、それらの機能を活用することである。受講生は、コンピューターの操作と通信の知識を身につけ、時間と距離を超えて、居ながらにして情報の交換を可能にする方法を学ぶ。

英語に特に興味がある学生は、マルチメディア語学教材「マイクロ・イングリッシュ Windows版、その他CDなど」を使って、学生がコンピューターを相手に、英会話、英文読解、英文作成、TOEFLの問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用することである。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のドキュメントを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

教 科 書

受講者が購入するもの
Office 95 ナツメ社。
Type Quick for Windows
フロッピーディスク

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて情報教育センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

最初の授業のときに、受講希望者に一定数まで「受講許可証」を手渡す。この「受講許可証」を持って、履修登録をする。この「受講許可証」のない学生の登録は無効とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	にしむら ゆうこ 西村 祐子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

コンピューター、ビデオ、CDROM, などを多岐に用いて生きた英語を学ぶ。前期はまずコンピューターになれ, さまざまな英語のビデオ作品を見ながら英語で内容をまとめたり, プロットのつくりかたなどを学ぶ。後期には英語での大学紹介, 私の一日, などのテーマでの実際のビデオ制作をグループで手がけてみる。さらにインターネットへのアクセスをこころみる。TOEFL模試が年3回ある。

履修上の留意点

TOEFLスコアが最低でも400, TOEICでは550なければ脱落の可能性が高い。途中で脱落すれば単位がとれないことをよく考えてから登録して欲しい。

成績評価の方法

平常点のみ。提出物が多岐にわたるが, 提出しなければ成績はつかない。

教 科 書

授業で指示する。

参 考 書 等

授業で指示する。

そ の 他

ビデオテープ, ビデオカメラ, コンピューター, カセットテープなどすべての機器をつかった宿題がでる。

最初の授業のときに, 受講希望者に一定数まで「受講許可証」を手渡す。この「受講許可証」を持って, 履修登録をする。この「受講許可証」のない学生の登録は無効である。

英 会 話 II

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ピアス, D. M.	短国・短英2選	2

講義の内容

This is an advanced class for English conversation, but if you are at the elementary level, it is still a good course for you. In this class we will continue the basic conversation practice of English Conversation I ; we will practice conversation patterns for everyday situations and practice elementary dialogues. We will also spend some time reviewing grammar, particularly for TOEFL, EIKEN, etc., some time on English composition, and some time practicing listening comprehension. Most of all we will also practice advanced conversation. Every week we will have conversation practice for holding "intelligent" dialogues about interesting topics instead of simple everyday conversation. I will also give short lectures on the differences between Japanese and American culture, and you will have practice talking to each other about what you think about these topics. The advanced conversation practice will give you very good preparation for the English III classes in the next year. You will love the course ; please join in!

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ベンディネリイ, P. A.	短国・短英2選	2

講義のねらい

A CONTINUING ORAL ENGLISH CLASS FOR STUDENTS WITH CONFIDENCE IN BASIC ORAL ENGLISH SKILLS.

成績評価の方法

EMPHASIS WILL BE PLACED ON SPEAKING. STUDENTS WILL BE REQUIRED TO PREPARE IDEAS ON VARIOUS CURRENT EVENTS FOR WEEKLY DISCUSSION.

教 科 書

NO TEXT. TOPICS WILL BE PRESENTED WEEKLY EITHER BY VIDEO TAPE OR PRINTED HANDOUT.

担当者名	配当学科	単 位
シグラー, P. M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

This course will focus on getting students to communicate on a wide variety of basic topics. Reading, writing and oral skills will be emphasised and brief writing assignments and oral presentations are required of each student.

成績評価の方法

Student assessment will be based upon several reports, presentations, quizzes and semester examinations.

教科書

Insights for Today, Heinle & Heinle

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア550以上。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ランダー, J. S.	短国・短英2選	2

講義のねらい

The focus of this class will be towards improving Listening skills, and speaking skills. We will spend time on learning new vocabulary, practicing useful expressions, role play, discussion and fluency. class participation and attendance are to be considered important, and are important factors in determining grades.

成績評価の方法

Will use movie scenes From “GHOST” and “FORREST GUMP”

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ウェルズ, J. K.	短国・短英2選	2

講義のねらい

Hi students,

If you are able to communicate in English freely, please come to my level 3 English conversation class. This class is not for the shy student, and you will be given weekly homework to help improve your ability to speak!

Attendance is very important!! Hope to see you in class

Regards,
John Wells

担当者名	配当学科	単 位
デンドウ, G.	短国・短英2選	2

講義のねらい

This course will concentrate on developing the oral skills of students through discussion. This class is recommended for only those students who have a sincere desire to study challenging materials and work hard to improve their language skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will participate in discussions focusing on current events, controversial issues, and personal interests. Special emphasis will be put on the study of news and current events throughout the academic year. Students will study relevant vocabulary to assist in comprehension and discussion of class materials. Sources for class materials will include various textbooks, magazine and newspaper articles, as well as units developed by the teacher.

Details of class activities will be explained at the first class meeting.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. Students will be expected to keep themselves informed of news and current events as well as review materials on a regular basis.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance and attendance.

教 科 書

No text will be used. Bringing dictionaries to class is highly recommended.

参 考 書 等

Various types of handouts will be used to facilitate discussion.

英 語 L L II

〈英語LLIIの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LLI程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を習得します。英検準1級合格程度をめざします。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ピアス, D. M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

This is an advanced class for English conversation, but if you are at the elementary level, it is still a good course for you. In this class we will continue the basic conversation practice of English Conversation I; we will practice conversation patterns for everyday situations and practice elementary dialogues. We will also spend some time reviewing grammar, particularly for TOEFL, EIKEN, etc., some time on English composition, and some time practicing listening comprehension. Most of all we will also practice advanced conversation. Every week we will have conversation practice for holding "intelligent" dialogues about interesting topics instead of simple everyday conversation. I will also give short lectures on the differences between Japanese and American culture, and you will have practice talking to each other about what you think about these topics. The advanced conversation practice will give you very good preparation for the English III classes in the next year. You will love the course; please join in!

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	短国・短英2選	2

講義のねらい

LLIに続く中級レベルとして、とくに英語のビデオの多様な内容を英語で要約する力、簡単な英語の口頭説明などの力をつける。コンピューターでの作業の基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はコンピューターの基礎とビデオの内容の英語によるまとめに力を注ぐ。後期にはそれらに加え、インターネットと接続して情報を収集するやり方を学ぶ。年間3回程度のTOEFL模擬試験がある。

履修上の留意点

すくなくともTOEFLスコアが400程度以上であること。(TOEICならば500以上。)これ以下の英語力の場合は大変きつく、過去の例からいって脱落する可能性が大である。

成績評価の方法

成績はすべて提出物による平常点でおこない、試験はおこなわない。ただし提出物は英語サマリー、聞き取り内容のタイピング、コンピューター作業によるフロッピー提出、テープへの吹き込みなど多岐にわたるものをこなさなくてはならない。

教 科 書

使用する教科書、その他は最初の授業に指定する。

そ の 他

ビデオ、テープレコーダー、コンピューター使用。

担当者名	配当学科	単 位
かざま のりひこ 風 間 則 比 古	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

この科目の目的は、英語によるコミュニケーション能力を向上させ、TOEICの問題にも対応出来るように、その基本であるリスニングの能力を強化することです。

授業は、TOEICのレベル別に4章に分かれた教材を使い、「テーマ」や「大意」の推測や、「音」をつかむトレーニングに重点を置いて、英語を英語のまま理解出来るように毎回その日の内容を繰り返して練習する方法を進めます。

成績評価の方法

成績評価は、授業内での復習テストや定期テストなどの結果を総合して判断します。尚、出席が全授業の3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教 科 書

『Listening Trainer』朝日出版

英語 L L III

〈英語 L L III の授業内容と履修上の留意点〉

上級：L L II を修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検 1 級、TOEFL550点以上を目指した訓練コースです。

担当者名	配当学科	単 位
いわ 岩 やま 山 よし 義 はる 春	短国・短英2選	2

講義のねらい

この科目では授業の前半はテープの会話を聞き、アウトラインを英文で書く練習をする。テープは種々の話題を数人で議論する内容を選んだ。テープは長く、早口なので前の週に次にやる所を渡すので予習をすること。

授業の後半は英国や米国のビデオ・レクチャーを見て、種々の問題に答えてもらう。

成績評価の方法

全評価のうち、毎回提出する英文のアウトライン等を50%、前・後期末の試験（口頭発表）は50%とする。出席が全授業のうち3分の2に満たない場合は不合格となる。

教科書

テキストはプリントを使用する。

担当者名	配当学科	単 位
にし 西 むら 村 ゆう 祐 こ 子	短国・短英2選	2

講義のねらい

L L II に続くシリーズで、授業はすべて英語でおこない、質問その他も英語でおこなう。一年を通じて基礎的な社会科学の手法を英語を用いながら学んでゆき、討論、発表を中心として英語での発表能力をつけることに重点をおく。特に英語の教科書のまとめと平行して英国の大学の社会科学研究課程で用いられているビデオをみながら内容の把握などをおこなう。後期にはそれに加えてインターネットでの情報収集を英語でおこなう為、コンピューター操作の基礎を学ぶ。

履修上の留意点

TOEICスコア600以上、もしくはTOFELで480以上でなければ到底ついてゆけないので、受講者はよく考えて登録すること。

成績評価の方法

年3回程度TOFELでの模試を行うが、成績評価はすべて平常点でおこない、英語による発表、まとめ、エッセイライティングなどを中心とする。定期試験はおこなわない。

教科書

教科書その他は始めの授業で指定する。

参考書等

教科書その他は始めの授業で指定する。

その他

ビデオ、テープレコーダー、コンピューター使用。

担当者名	配当学科	単 位
おお かわ ひさ子 大 澤 ひさ子	短国・短英2選	2

講義のねらい

上級。lecture がききとれ、議論できる程度をめざしたい。
LⅡレベルを修得していることを前提とする。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストをヒアリング、ディクテーション、スピーキング等で訓練する。

履修上の留意点

TOEFLスコア550、英検1級程度

成績評価の方法

前期試験50点、後期実習授業50点

教 科 書

World Times of Japan
Michigan Action English Step 6

そ の 他

ビデオ、後期はスピーチ、ディスカッション等含む。

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA(選)	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

基本的なドイツ語の文法をマスターできるように、しかもわかりやすく説明していきます。ただし、初習の外国語は継続的に勉強しないと力になりませんので、出席を重視します。欠席しないように。成績評価は、試験だけでなく、日常の学習経過を重点に総合的に判断します。

教 科 書

浦野『ドイツ文法の要』(郁文堂、1,648円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (選)	井 田 清 子 い だ せい こ	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生のための文法中心の授業です。文章を理解するための基本的な文法事項の動詞、冠詞、名詞、形容詞の用法などを、一年間で習得して、生きたフランス語を、無理なく正確に学ぶのが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を中心にしながら、できるだけ総合的にフランス語を習得できるよう、日常的な会話や、わかりやすい興味のある文章も同時に学びます。こうして身に付けた文法知識を実際に例文の中で応用しながら、各種の文章を理解できるようにしましょう。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜まずに、自分で面白さを味わって下さい。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験を中心に、通常点も加味します。

教 科 書

教科書は、佐野栄一他著『エクロジオン（フランス語文法）』（駿河台出版社）を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A (選)	かわ むら しょう こ か 村 昌 子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

ヒアリングを通じて、中国語の発音及び基礎文法を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

中国語は発音に特徴のある言語であり、聞き取り能力の習得は、中国語に習熟するための大切なはじめの一歩となる。教科書は、文法説明及びテープを聞いて問いに答えるスタイルの練習問題より成っている。練習問題はやや多く、従って受動的に漫然と聴講していると授業についてゆけない。積極的に取り組まねばならないが、努力の結果をはっきり実感できる教科書である。意欲ある学習者を歓迎する。

履修上の留意点

中国語 I B (選) を併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

出席点50%、年4回程度のテストの成績50%で判断する。

教 科 書

相原茂編著『中国語へのパスポートーヒアリング演習ー』（朝日出版社 2,136円）

そ の 他

『標準中国語辞典』[第2版]（白帝社 2,300円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A (選)	ナバロー, ポロ, L. S.	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIÉNとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 I ・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 II ・IRA+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・天候や天気
の表現・SABERとCONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞
12. 再帰動詞・再帰代名詞の位置
13. 比較の表現・最上級
14. 過去を表す時制

履修上の留意点

試験は年2回－7月と1月－、筆記で行なう予定です。

教 科 書

辞書、参考書については、授業時に紹介する。その他プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (選)	お 織 だ しげ み 織 田 繁 美	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

人間の中心になる部分を形成するのは母国語で、これが何より大切なのはいうまでもありません。母国語の豊かな世界をいかに深く理解していくか、私たちは常に心しなければなりません。しかし母国語の他に別の言葉を知るとは、私たちの世界を更に豊かにしてくれます。皆さんは既に英語をかなりの程度習得し、英語の世界が日本語の世界とどれ程かけ離れているか実感しておられるでしょう。ドイツ語の世界は、英語の世界とはまた異なっています。最初は発音、文法の規則に地道な努力を必要としますが、前期も終り、後期も半ばになると、かなり程度の高い勉強をそれ程苦もなく勉強している自分に気付くことと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

最初一月位は発音の規則を順を追って勉強し、それからテキストに入ります。テキストでは一課毎にディアロークで会話文に当たり、文体構成等の練習がなされ、次いで読本部では日常生活が取り上げられ、その後、内容の確認をドイツ語ですするという操作がなされる。勿論、その都度テープレコーダを利用して耳の練習もします。

履修上の留意点

成績評価の方法、参考書等は最初の授業で話します。

教 科 書

土井, 木下『生きたドイツ語』郁文堂 1,854円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (選)	と お や ま ひ る お 遠 山 博 雄	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

文法事項の説明をしてから、辞書を使って口語的な文章を少しずつ読む練習をしていきます。黙読でなく発音しながらの読解をめざします。

履修上の留意点

毎回辞書を持って出席し、手と口を動かして参加することが大切です。

成績評価の方法

2回の口頭試問を予定していますが、参加人数によっては筆記試験に変更する可能性もあります。その他に、動詞活用の書き取りを行いません。

教 科 書

教科書は、嶋崎陽一著『仏検5級・4級にチャレンジ! フランス語のひとつき』朝日出版社 2,000円。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I B (選)	お が わ た か し 小 川 隆	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

必修のワク以外に自発的に中国語を学ぼうとする人のための初級クラス。この一時間で中国語の発音と文法の最低限の基礎を一通り学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめ数回ピンインとよばれる中国語独自のローマ字表記法を学ぶ、その後1日1課平均のペースで基礎的な文法項目とそれを使った易しい会話文を学んでゆく。毎回、新しい内容を学び、それが次の項目の基礎になってゆけるので、休まず出席し、その課の内容は必ずその週のうちに身につけてしまうよう努めてほしい。

履修上の留意点

週1コマのこの時間内でもとにかく一通りの基礎を学べるよう進めるが、これだけでは練習量が絶対的に不足である。時間が許すかぎり、IA(選)と併せて履修するようにしてほしい。またテレビ、ラジオの講座なども利用して中国語にじかに触れる時間をなるべく多く確保してほしい。

成績評価の方法

成績評価の方式その他は一般のIA-I Bクラスに準ずる。

教 科 書

荒川清秀他『中国語のエッセンス』同学社、¥1,650

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	うり 瓜 谷 アウロラ	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

このクラスではスペイン語の初級文法を学ぶとともにかんたんな会話の練習にも力を入れたいと思います。語学の修得には地道な努力が不可欠なので出席も重視します。

教科書

宮本博司『ようこそスペイン語の世界へ』 大学書林 ¥1,648

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II (選)	し 志 真 とみえ 斗美恵	短国・短英2選	2

講義のねらい

現代の家族や男女関係について、文化史的・社会的な観点から考察したテキストです。文章は平易で、初級文法の復習コーナーや文法および内容についての練習問題もあわせて付せられています。ドイツ語 I で習った文法をていねいに復習しながら読みすすめてゆきます。

成績評価の方法

定期試験および平常点で総合的に評価します。

教科書

Ursula Richter・小川さくえ著『男と女の未来』 同学社 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ(選)	伊藤 藤 なお	短国・短英2選	2

講義のねらい

フランスの日常生活に関連したテーマ(失業問題, 犯罪, 休暇, 政治)をやさしい時事フランス語で解説したテキストの講読を通じて, 読解力の向上を目指すとともに, 今日のフランスが抱える問題について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は講読が中心になります。文法に関しては、「フランス語1」で学んだことの復習, 新しい事項の学習を, 練習問題をしながら, 行います。またテキストがスムーズに読めるよう, 発音の矯正を徹底的に行います。

履修上の留意点

基本単語と平易な文章で綴られたやさしいテキストです。辞書を用いて必ず予習をし, 指示された課題は必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

前・後期の試験, 「履修上の留意点」の要望が満たされたかどうかを踏まえて, 成績評価を行います。

教 科 書

テキスト『時事フランス語で読む「フランスの四季」』(著者 クリスチャン・ボームルー 朝日出版社 1,500円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語Ⅱ(選)	曽根 博 隆	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

この教科書では中国, 特に北京を舞台とした旅行会話を中心として, 基礎的な会話表現を学ぶ。教科書は, 各課とも会話体の課文・要点・練習などから構成されている。基本的な文法事項を復習すると共に, 常用文型の習得と口頭練習を重点に授業を行う。授業では中国語をなるべく多く使うよう心掛けるつもりである。

履修上の留意点

履修者は予習・復習をして, 積極的に授業に参加して欲しい。

成績評価の方法

成績は平常点と試験を総合して判定する。

教 科 書

『中国語中級会話テキスト 北京旅行』白帝社 1,800円

そ の 他

辞書は必要である。最初の授業で説明をするので, まだ持っていない者は説明を聞いてから購入して欲しい。すでに持っている者はそれを最初の授業に持参して欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語Ⅱ(選)	ナバロ, ホワン J.	短国・短英2選	2

講義のねらい

この一年を通じ、卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

動詞の過去形(不完了過去・不定過去)を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。

履修上の留意点

予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。

教 科 書

この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たなか たもつ 田 中 保	短国1選	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ南部作家たちの作品を講読しながら、より高度な構文の理解と大意の把握をし、Reading Comprehension の向上を図る。
また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニング力を養う。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 授業中の小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

1. 『現代アメリカ南部作家選』(南雲堂) ¥1,600
2. 『10分間ベーシック・リスニング』(相原書店) ¥950

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	おおかわ ひろし 大川 浩	短国 1 選	2

講義のねらい

英国の作家 D. H. ロレンス (1885-1930) の生、性、愛などを取り扱ったエッセイを読み、あわせて英文の内容の把握と読解力の涵養に努めることを目指す。
辞書を活用して事前の準備を行なうこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季課題に出題されるレポートの提出・及び随時、施行される小テスト等、総合的に判断し、評価する。

教科書

未定

その他

金曜・4限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	まちだ なおこ 町田 尚子	短国 1 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

文体の優れた小説を原文で読む楽しさを共有できればと願っています。まず前期は Kyoko Mori の *Shizuko's Daughter* を取り上げます。この小説は、12歳の少女 Yuki (*Shizuko's daughter*) が母親 (*Shizuko*) の自殺による喪失感、その後の父親の再婚と継母との軋轢・葛藤を経て、19歳、大学入学を機に家を出、経済的にも自立する、思春期から成人へと成長する7年間のストーリーを縦糸に、また少女が自己形成の支えとした母親との思い出 (共有体験) を横糸に織られた、きわめて精緻な出来映えの作品です。アメリカ図書館協会のヤングアダルト (十代後半の青少年) 向き最優秀作品、ニューヨーク・タイムズ等の書評でも高い評価を受けています。Kyoko Mori は日本で生まれ育ち、現在、ウイスコンシン州の大学で英語と創作文学を教えています。

授業は演習形式で行いますから、予習を前提とします。後期は皆さんの希望を聞きながら、作品を選ぶ予定です。

成績評価の方法

平常授業での担当発表と前期・後期試験の成績を総合して評価します。

教科書

Kyoko MORI, 『*Shizuko's Daughter*』 (Fawcett Juniper: New York) 紀伊国屋

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たかのひでお 高野秀夫	短英1選	2

講義のねらい

英作文・スピーチ、口語的表現等の基礎を養い、書く、聞く、話す能力を身につける。……教養と実用の両面から読み書き話すこと、また……その国の文化、歴史、風俗、思考方法等を知ること。専門書を原書で読めるようになることを目標としています。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

- ① Natural Speedで英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家Thomas Hardyは、運命論者として知られ、「この宇宙にはImmanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後 期

前期と同じ授業計画。

- ① 30～40分間 テープの英語
- ② 50～60分間 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、19世紀英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ① 前期・後期一回づつテスト実施
a. テープの英語 b. 教科書
- ② 課題のレポート提出

教 科 書

- ① *To Please His Wife And Other Stories*
- ② *Listening Capsules*.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	よしざわえいじろう 吉 沢 栄 治 郎	短英1選	2

講義のねらい

日常使われる言いまわしが即座に口をついて出るようにしていきたい。そのためには何度も反復、朗唱し、メモに取り、折あらば実際に使ってみること。使ってゆくことの中から、次第に英語は身につけていくものです。初めはブロークンでも、その是正に努めていけば、やがてはGood English が自分のものとなっているでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの和文を順次、英訳していきます。いくつかの可能な訳が考えられますが、でき得るかぎりその英訳を掲げていき、それらのニュアンスの相違についてもふれます。要は、自前の英訳をひとまずペンを取って記してみること。その際英英辞典も使って英語らしい英語 (Idiomatic English) になるようにしてやるのが肝要です。英英辞典は思ったより使いやすく、使い馴れば引きこなせませす。英英辞典であれ、英和辞典であれ、何か一冊引きつづけて下さい。

また、平素から日誌を英語でつけてみるのもよい。たとえ3行でも、積み重なって、有効なものだ。書き留める習慣を養うと得るところは大きい。

一つの課 (A, 10題 B, 7題) のうち、Aを先に英訳していく。一回の授業で5題ずつこなしていく予定。Aを終えた後Bへ進む。

履修上の留意点

和英辞典と英英辞典を併用する。

成績評価の方法

1月の定期試験で評価します。

教 科 書

第1回の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	よし だ ふみ こ 吉 田 文 子	短国・短英1選	2

講義のねらい

ドイツ語初級文法の習得、それを基にして簡単な文章を読み簡単な会話もできるようにすることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

カセットテープで会話を聞き、その文型を使ってのパートナーあるいはグループ練習が授業の主体となります。
ドイツの都市ハイデルベルクでの生活を題材にした教科書を使いますが、それを通してドイツ(ドイツ語圏)の文化、生活習慣、食習慣にも触れていきたいと思っています。

履修上の留意点

耳と口による練習が主となりますので授業は欠席せず積極的に参加していただきたいと思いません。

成績評価の方法

2～3回のテスト、平常の小テスト、授業態度をもとにします。

教 科 書

『明快ドイツ語』(朝日出版社 2,200円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	あ づま ゆうじろう 音 妻 雄次郎	短国・短英1選	2

講義のねらい

放射線科に与えられた、唯一の、一度だけのドイツ語の時間です。近ごろはこの貴重な時間を通じて、ドイツ語の初歩のすべてとまではいかなくとも、この言語を通じて、何かを学ぼうとする意欲の感じられる学生が見られるようになりました。簡単な文章から、基礎的な文法の初歩を学び、こちらの意志が相手に通じるような表現を身につけてところまでいきたいと思いません。

履修上の留意点

ドイツ語の文法は英語に比べ、やや複雑です。はじめ少し油断すると、(休んだりしても)理解できなくなり、興味を失い、挫折のもとになりかねません。ブランクは自分の責任で埋めておくのが大学生の在り方です。教室での指示に従って、短時間、集中して、予習・復習に成果を見いだして下さい。

成績評価の方法

出席の状況や理解度、年2回程度のテストで評価。

教 科 書

諏訪 功著『半期・通年のドイツ語入門』同学社 ¥1,600

参 考 書 等

参考書は特に必要なし。独和辞典は必要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	たけ だ まさ ずみ 竹 田 正 純	短国・短英1選	2

講義のねらい

フランス語を、文法に片寄らないで、バランスよく聴き・話すことを中心にすえて、総合的な力が身につくようになることを目指す。しかし、読解力の養成にも時間をさいていく。

講義の内容・
授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、読解を考慮した副教材（教室で配付）で不足部分を補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので、指定するカセット・テープをよく聴き、実践力の向上に努めてほしい。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教 科 書

嶋崎陽一「フランス語のひととき」（朝日出版社）¥2,000

参 考 書 等

数江譲治「フランス語のABC」（白水社）¥1,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I	い れい ち か こ 伊 禮 智 香 子	短国・短英1選	2

講義のねらい

基本的な文法事項，拼音の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にそって進め、適宜補う。

履修上の留意点

予習をすること。授業時に質問に答えてはじめて出席とみなす。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、前期、後期の試験と小テストで総合的に判断する。

教 科 書

『太郎の中国語』滝沢恭子・陳祖蓀 朝日出版社 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I	ひろ かね かな こ 弘 兼 加 奈 子	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

昨今、中国語に対するニーズが急速に高まって来た。このクラスでは、中国語を学ぶことによって中国に親しむということから始めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を中心に、多く聞き、話すことを主として学習を進める。特に前半は発音や声調に留意し、美しい中国語、通じる中国語を目指す。
後半は授業の進捗に応じて生活習慣や考え方の違いについても言及出来たらと思う。

履修上の留意点

中国語は見ればある程度意味はわかるが、発音はかなり難しいと言える。休まないように。私語は禁止だが、口頭練習の時には恥ずかしがらずに大きな声を出すこと。

成績評価の方法

前後期試験の他に小テストを数回行なう。筆記の他、聞き取りのテストも行なう予定。

教科書

相原茂『中国語へのパスポート』朝日出版社、カセット込み2,200円。

参考書等

特になし。

その他

授業形態 講義、テープ教材等。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

知識としてのスペイン語より実際に使えるスペイン語の習得をめざす。基本の文法事項を学びながら、身近な事柄から表現できるように指導する。

講義の内容・授業スケジュール

初級用テキスト（20課）を終わらせるのを一応目標とするが、生徒の希望や理解度に合わせるので、必ずしもスケジュール通りに進むとは限らない。

履修上の留意点

外国語の習得には、根気よく少しずつ知識を積み重ねて行くことが大切である。それには、当然の事ながら、授業にできる限り出席すること、必ず復習をしてから次の授業に出ること、毎日少しずつ単語を覚えて語彙を増やす努力をすることを勧める。

成績評価の方法

毎回授業の始めに、前回の学習事項についての簡単なテストを行う。この小テストと後期試験で最終成績評価を決定する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ「スペイン語世界への窓」、芸林書房、1,845円

参考書等

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	伊藤 幸一	短国 2 選	2

講義のねらい

英語の理解を通して、日本語も考えたい。小人数ではあるが、大凡が進学希望であると聞くので、意見を取り入れて、教材は決める。少なくとも、毎回当てて、やって貰うが、復習のための宿題や、まとめのためのテストについては相談しながら。

成績評価の方法

積極的に授業に参加して貰えると思われるので、評価は自ずと決まるか。最初の授業時に、教材を決めると共に、詳細を説明するので出席されたい。

教科書

上記の通りであるが、新刊書から、の予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	滝 静 寿	短英 2 選	2

講義のねらい

英文科2年の基礎英語であることを念頭におき、速読を主としたドリルを行う。西洋の文化・芸術の背景となる『ギリシャ神話』をとり上げ、輪読しながら教養を身につける一助にしたい。また読み終えたら、日本の昔話を英作してみる時間を作る予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期・後期前半：ギリシャ神話概説と速読。
後期後半：日本の昔話の英作と発表。

履修上の留意点

輪読するが、慣れるにしたがいテキストを見ないで聞く訓練をするので、朗読する者は聞く者が理解できる読み方をすることが肝要である。後期後半は、自分で英作した日本の昔話を話して聞かせることになるので、英作文の力をつけなければならない。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II	よし ざわ えい じろう 吉 沢 栄 治 郎	短 英 2 選	2

講義のねらい

- ① 荘重なもの、軽妙なもの、ユーモアに富んだもの等々様々なエッセーにふれて、英米の随筆に親しんでもらいたい。
- ② こうした〈読み〉を通じて、みずからペンをとって折り折りの心にかぶことどもを、日本語で書き留め、それを英語に直してみよう。
class ではそのサンプルをあげてみます。ともかく書きつづる面白さを体得してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

様々なジャンルから取り上げたエッセーを逐次、訳していきます。意味が一通り分かったところで、こんどはそのエッセーについて自分のコメントを記してもらおう。はじめに和文を、つづいでそれを即、英訳してみます。つまり、エッセーの内容把握につとめ、その率直な感想を日英両語で簡潔に記そうというわけです。
前期は軽い随筆と、科学的読みもの（科学者の筆になる随筆に近いようなもの）を、後期は、少し重厚な調子のもの、及び政治国民生活等に関する文節を中心に読み進めていきます。

履修上の留意点

辞典を丁寧に引いて正確を期したい。

成績評価の方法

1月の定期試験で評価。

教科書

その都度プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II	くま ざき ひさ こ 熊 崎 久 子	短 英 2 選	2

講義のねらい

戦後華やかにアメリカ文壇に登場し、1990年代後半に数多くの作品を発表したトルーマン・カポーティの中期の代表作「ティファニーで朝食を」を読みます。方言、俗語などもしばしば出てきますが、内容、表現を楽しめるよう、読解力の向上を図ります。愛着を込めて描かれているニューヨークの風物、都会的なスマートな雰囲気味わえるよう期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- ① ヴィデオ・テープを用いてアメリカ映画 "Breakfast at Teffernys's" を観賞し、hearing の訓練を行う。
- ② 内容について意見の交換をする。内容の理解を深める。
本文内容についての意見の発表、その他問題点についての討論など、いずれの場合もクラス全員の自発的発表、参加を主体に授業を進めます。

履修上の留意点

活発な発言と意見の交換を求められますので出席者は十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握し、また語句の下調べ、英語表現に関しても事前に必ず独白の意見をまとめておいて欲しい。質問に対しては即答できるようにしておくこと。

成績評価の方法

前期、後期各一回行う試験の評価 ……………60%
平常点 ……………40%

教科書

"Breakfast at Tiffany's" (清水書院)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II	あづま ゆうじろう 吾 妻 雄 次 郎	短国・短英 2 選	2

講義のねらい

1年次に修得したドイツ語の基本構造を復習し、確認する場にしたい。従って少し複雑な文章の読解力、それから会話の原点としての聞き取り・表現力を養うことに力点をおきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

この『ねらい』をより効果あらしめるためには、これまでの到達点の確認、そして新しい分野に備えての予習を怠りなく、この繰り返しを習慣化して欲しく思います。

成績評価の方法

出席の状況や理解度、年2回程のテストで評価。

教 科 書

大谷弘道著『ドイツ語 話しかた教室』 三修社 ¥2,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II	かとう せつこ 加 藤 節 子	短国・短英 2 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

昨年度の基礎をもう一度別のテキストを使って復習しながら、更に文法事項を終りまで学習します。たくさんの絵によって単語の数をふやし、練習問題をして文法が身につくようにします。シャンソンも所々にまじえてあるのでおぼえましょう。

履修上の留意点

予習復習が不可欠です。

教 科 書

安田悦子「F・コム・ファシル」白水社 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ	あまの 野 ぜつ節	短国・短英2選	2

講義のねらい

- ①まとまった会話文，文章の読解を通して発音，語法の基本を復習し，その定着をはかる。
- ②中国語の雰囲気を楽しむ。
- ③中国の人とその生活の理解を深める。

成績評価の方法

- ①総合テスト。
- ②出席。
- ③学習態度（予習復習，課題提出など）。

教科書

山下輝彦・新谷雅彦・関根謙・李青著「北京恋情」同学社，¥1,700

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ	に 丹 お しょう 昌 いち	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

一学期の前半は，一年次の復習にあてる。

履修上の留意点

動詞の活用など，一年次にくらべて文法内容がさらに難しくなるので，履修者諸姉のより積極的な努力を期待したい。

成績評価の方法

期末テストの結果と同様，平常の学習態度も重視する。

教科書

最初の授業時に相談して決めるが，基本的にはプリントを主にする予定。

保 健 体 育 科 目



必修科目

健康・スポーツ実習 スポーツ実技 開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日					
1	禪・ 仏教・ 国文	※江口	トレーニング	商	牧野	室内球技	政 治	村松	ハンドボール	短 国	※田中	ソフトボール			
		田中	サッカー		村松	卓球		秋田	サッカー		村松	室内球技			
		森本	ジョギング		田中	テニス		光永	トレーニング		高橋	テニス			
		竹田	体操		※高橋	空手道		※大石	空手道		三幣	ゴルフ			
		高森	卓球		館岡	ゴルフ		森本	ジョギング		秋田	卓球			
		関本	室内球技		光永	トレーニング		江口	テニス						
		矢野	剣道		幸前	ソフトボール									
		浅野	テニス												
	内山	ソフトボール													
2	英 文・ 地 理	秋田	サッカー	経 済 1	田中	卓球	法 律 1	江口	テニス	経 営 1	※光永	トレーニング	田中	ソフトボール	
		江口	トレーニング		三幣	室内球技		※竹田	体操		館岡	ゴルフ	短	村松	室内球技
		※森本	ソフトボール		高橋	空手道		光永	トレーニング		森本	ソフトボール	英	高橋	テニス
		竹田	体操		※館岡	ゴルフ		大石	太極拳		牧野	室内球技	※三幣	ゴルフ	
		高森	卓球		光永	トレーニング		秋田	サッカー		江口	テニス	秋田	卓球	
		関本	室内球技		幸前	ソフトボール		館岡	ゴルフ		高橋	空手道			
		矢野	剣道												
		浅野	テニス												
	※内山	ジョギング													
3	歴 史・ 社 会	秋田	サッカー	経 済 2	牧野	室内球技	法 律 2	村松	室内球技	経 営 2	※光永	トレーニング			
		森本	ゴルフ		※村松	卓球		竹田	体操		館岡	ゴルフ			
		竹田	体操		田中	テニス		光永	トレーニング		森本	ソフトボール			
		田中	トレーニング		館岡	トレーニング		※江口	テニス		牧野	室内球技			
		高森	卓球		三幣	ゴルフ		森本	ソフトボール		江口	テニス			
		関本	室内球技		幸前	ソフトボール		館岡	ゴルフ		高橋	空手道			
		矢野	剣道												
		浅野	テニス												
	内山	ジョギング													
4										短 放	高橋	屋外球技			
											※秋田	室内球技			

※は、科目の主担当者。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔ソフトボール〕	た 田 ^{なか} ^{よし} ^{たか} 中 佳 孝	短 大 1 必	2

講義のねらい

ソフトボールの基本技術を習得し、ルールを理解することにより、見るスポーツから参加するスポーツに発展させる。また、模擬試合をすることにより、戦術的なことを理解し、より楽しくゲームが行なえ、野球観戦にも違った視野を持つことができるようになる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明と諸注意
- 2 時限目：用具の説明と使い方、キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本、ルールの説明と実際
- 3 時限目：キャッチボール&ゴロの補球、バッティングの基本、ルールの説明と模擬ゲーム
- 4 時限目：ゴロの補球と1塁送球、トスバッティング1、ルールの説明と模擬ゲーム
- 5 時限目：フライボール補球の基本、紅白ゲーム
- 6 時限目：トスバッティング2、ゲーム
- 7 時限目：ルートバッティング、ゲーム
- 8 時限目：W-up, リーグ戦（スローピッチ）
- 9 時限目：W-up, リーグ戦（スローピッチ）
- 10 時限目：W-up, リーグ戦（スローピッチ）
- 11 時限目：W-up, リーグ戦（ファーストピッチ）
- 12 時限目：W-up, リーグ戦（ファーストピッチ）
- 13 時限目：W-up, リーグ戦（ファーストピッチ）
- 14 時限目：W-up, 順位決定戦（ファーストピッチ）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装でよい。運動シューズを用意する事。帽子は、自由。用具は全て大学で用意する。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔室内球技〕	むら ^{まつ} ^{まこと} 村 ^た ^誠 秋 田 浩 一	短 大 1 必	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1, ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2, ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3, ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3, ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト, ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス, ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本, ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サブ・レシーブ・スパイクの応用, ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト, ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットング, ミニラリー, スマッシュ, ドロップショット
- 13 時限目：クリアー, ネット・ショット, ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス, ストロークの応用, ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト, ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点), 実技テスト (20点), 態度点 (10点), 60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 テ ニ ス 〕	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	短 大 1 必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2時限目：ラケットティング、ミニラリー
- 3時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4時限目：バックハンド “ ”
- 5時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9時限目： “ （戦術と応用）
- 10時限目： “ ”
- 11時限目：ダブルスのルールとポジションニング
- 12時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 13時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 14時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズ（白基調）を必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 ゴ ル フ 〕	み ぬま はる み 三 幣 晴 三	短 大 1 必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 卓 球 〕	あき た こう いち 秋 田 浩 一	短 大 1 必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングル、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 屋 外 球 技 〕	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	短 大 1 必	2

講義のねらい

屋外球技は、自分の能力や技術に合わせてテニス、ソフトボールを中心に行なう授業である。テニスもソフトボールも生涯を通じて楽しく行なえるスポーツで、身体を通して体力、健康を積極的に充実させ、豊かな情操の発達と精神活動を賦活させるものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明と受講上の諸注意
(ソフトボール)
- 2 時限目：キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本
- 3 時限目：キャッチボールとゴロの補球、バッティングの基本
- 4 時限目：補球と送球、バッティング
- 5 時限目：紅白ゲーム
- 6 時限目：紅白ゲーム
- 7 時限目：紅白ゲーム
(テニス)
- 8 時限目：テニスのラケットティング、グラウンドストロークの基本
- 9 時限目：ボレー、サーブ
- 10 時限目：ラリーの応用とミニゲーム
- 11 時限目：半面でのシングルスゲーム
- 12 時限目：シングルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合
- 15 時限目：トーナメント形式の試合

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装でよい。運動シューズを用意する。帽子は、自由。用具は全て大学で用意する。

成績評価の方法

成績評価は出席点を重視し、実技と素素の受講態度を加味して評価する。

そ の 他

雨天時は教室にてビデオ教材を用いた解説、分析などテニスに必要な技術を学びまたは、トレーニングルームで基礎体力づくりを行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 理 論 (前 期)	よし た みのる 吉 田 稔	短 放 1 必	2

講義のねらい

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好 (well-being) な状態であって、単に病気に罹患していないとか、病的ではないということではない」。これはWHO憲章によって定義された健康の概念である。今や我が国の平均寿命が世界一となり、健康状態は諸外国に比べ極めて良好といえる。しかしながら、我が国は21世紀には本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老人問題が重要な課題となっている。今や時代のニーズに対応した保健活動のみならず将来を展望した保健活動が重要視されて来ている。ここでは現在そして将来の健康の確保に必要な諸問題について考える。

教 科 書

石川哲也他著「新編公衆衛生学 (第2版)」(東京教学社)

参 考 書 等

『国民衛生の動向』(厚生指標 臨時増刊) 厚生統計協会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 再 ク ラ ス 〕	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短 大	2
ス ポ ー ツ 実 技 (前期), (後期)〔再クラス〕		短 大	(半期) 1

講義のねらい

- (1) できるだけ授業に出席することを心掛ける。
- (2) 準備運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高めるよう努力する。
- (3) バスケットボール・卓球・バドミントンの技術やルールを習得し、将来様々なスポーツに取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (4) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で協調性を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. } ドリブル・パス・シュートの練習
3. }
4. }
7. } 総合練習・ゲーム
8. } 卓球の説明・サーブ・ラリー
9. } サーブ・レシーブ・ラリー
10. }
14. } 総合練習・シングルスゲーム
15. }
16. } バドミントンの説明・ラケットとシャトルを使った遊び
17. }
18. } サーブ・レシーブ・スマッシュ
19. }
23. } 総合練習・シングルスゲーム
24. }
30. } 総合練習・ダブルスゲーム

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- (3) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (4) 自分の荷物は各自で十分管理する。

成績評価の方法

出席80%，総合評価20%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 再 ク ラ ス 〕	たけ だ ゆき お 竹 田 幸 夫	短 大	2
ス ポ ー ツ 実 技 (前期),(後期)〔再クラス〕		短 大	(半期) 1

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球, バドミントン, バレーボール, バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして, 各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも, 将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって, それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限 オリエンテーション, 前期授業内容の説明
- 2 時限 卓 球 (ラケットの握り方, フットワーク, ミニゲーム)
- 3 時限 " (サーブとリターン, ルールの解説, シングルスゲーム)
- 4 時限 " (シングルスゲーム)
- 5 時限 " (シングルスゲーム)
- 6 時限 " (ダブルスゲームの進め方, ゲーム)
- 7 時限 " (ダブルスゲーム)
- 8 時限 " (まとめと評価)
- 9 時限 バドミントン (ラケットの握り方, フットワーク, 半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限 " (ストローク, ドロップショット, スマッシュの練習, シングルス)
- 11 時限 " (ルール解説, シングルスゲーム)
- 12 時限 " (ダブルスゲームの進め方, ダブルスゲーム)
- 13 時限 " (ダブルスゲーム)
- 14 時限 " (ダブルスゲーム)
- 15 時限 " (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限 オリエンテーション, 前期授業内容の説明
- 2 時限 バレーボール (パスとサーブの技術, ミニゲーム)
- 3 時限 " (アタックとブロッキングの技術, ルール解説)
- 4 時限 " (フォーメーション, ゲーム)
- 5 時限 " (ゲーム)
- 6 時限 " (ゲーム)
- 7 時限 " (ゲーム)
- 8 時限 " (まとめと評価)
- 9 時限 バスケットボール (パス, ドリブル, ショットの基本技術)
- 10 時限 " (レイアップショット, ジャンプショットの技術, ルール解説)
- 11 時限 " (ファウルの種類と罰則の解説, ゲーム)
- 12 時限 " (ゲーム)
- 13 時限 " (ゲーム)
- 14 時限 " (ゲーム)
- 15 時限 " (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は, 本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア, ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお, 卓球, バドミントンで使うラケットは, 貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには, 毎回授業に出席して, 実技を实践することが重要である。したがって成績は, 出席点70%, 実技点30%の割合で評価する。実技点は, 各種目における個人別の技能, およびゲームの結果を加味して評価する。

選 択 科 目

生涯スポーツ実習開講種目一覧

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日
1 時限					
2 時限	科目名： 生涯スポーツ実習 1	科目名： 生涯スポーツ実習 4		科目名： 生涯スポーツ実習 8	科目名： 生涯スポーツ実習 12
	バドミントン 担当：長濱	トレーニング & ニュースポーツ※ 担当：大石		室内球技 担当：宮沢	室内球技 担当：牧野
3 時限	科目名： 生涯スポーツ実習 2	科目名： 生涯スポーツ実習 5	科目名： 生涯スポーツ実習 6	科目名： 生涯スポーツ実習 9	科目名： 生涯スポーツ実習 13
	バドミントン 担当：長濱	簡化太極拳・太極 推手※ 担当：大石	バドミントン 担当：宮沢	卓 球 担当：長濱	室内球技 担当：牧野
4 時限	科目名： 生涯スポーツ実習 3		科目名： 生涯スポーツ実習 7	科目名： 生涯スポーツ実習 10	
	トレーニング & ニュースポーツ※ 担当：大石		バドミントン 担当：宮沢	卓 球 担当：長濱	

※：本校第 2 体育館にて実施，それ以外は，本校第 1 体育館で実施。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習1・2 (前期), (後期)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (3) バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
- (4) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

また、技術課題として、以下の点に留意して行う。

- (1) フォアハンド・バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) スマッシュを打つことが出来る。
- (3) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. サーブ, ラリー
3. サーブ・スマッシュ・ドロップショット
4. 半面での簡易ゲーム
5. }
} } 総合練習・シングルスゲーム
9. }
} } 総合練習・ダブルスゲーム
10. }
} } 総合練習・ダブルスゲーム
15. }

履修上の留意点

- 1) 定員は、40名とする。
- 2) 実技は本校第1体育館で行う。
- 3) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- 4) シューズは体育館専用のものを用意すること。
- 5) その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%, 総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習3・4 (前期), (後期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシンがなくてもできるメディシンボールやユニットダンベル等、簡単な器具で行う体力づくりを正しく行い、現在及び将来の健康、体力の維持増進を目的とする。また、ニュースポーツとして現在静かなブームをおこしている。簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラを余暇ゲーム感覚で行い、楽しみながら生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習5 (前期)・(後期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

太極拳は中国古来の武術であるが、筋骨を鍛えるものではなく、屈伸運動・円運動を基本とした一種のバランス運動であり、呼吸法にのっとっておこなう健康体操である。起勢から収勢までの24の動作を行い、現在および将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、太極拳動作の活発性や反応能力、技術水準を高めるためにゆっくり円滑に二人で対になって行う一定の対抗性を具えた太極推手と組み合わせ、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 オリエンテーション
- 2 重心の移動・腹式深呼吸運動
- 3 第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 第二組 左右搂膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 第三組 左揽雀尾・右揽雀尾
- 6 第四組 单鞭・雲手・单鞭
- 7 第五組 高探馬・右蹬脚・双峰贯耳・轉身左蹬脚
- 8 第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 綜合・太極推手(基本動作)
- 12 綜合・太極推手(单推手)
- 13 綜合・太極推手(双手平円)
- 14 綜合・太極推手(定步推手)
- 15 テスト

履修上の留意点

- 1) 定員は、40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。
- 3) 教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習6・7 (前期), (後期)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (3) バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
- (4) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

また、技術課題として、以下の点に留意して行う。

- (1) フォアハンド・バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) スマッシュを打つことが出来る。
- (3) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. サーブラリー
3. サーブ・スマッシュ・ドロップショット
4. 半面での簡易ゲーム
5. }
7. } 総合練習・シングルスゲーム
8. }
9. }
11. } 総合練習・ダブルスゲーム
15. }

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- (3) その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 8 (前期), (後期)	みやざわ えい きく 宮 沢 栄 作	短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活における動的プログラムは益々減少しつつある。このような環境の中にあつての身体運動の意義を再認識し、生涯身体を動かす意識を育成し、その実践として開講する。

講義の内容・
授業スケジュール

実施内容は室内球技として、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球の4種目を実施する。

原則的な展開としては、各々の種目を3～4時間づつ実施する。ただ受講者数によっては、2種目を同時に実施することもある。ここではとりあえず1種目づつの実施スケジュールを記して置く。

(1時間目)

オリエンテーション、授業目標の説明

(2時間目) バスケットボール

ボール扱いとしてパス、ドリブル、シュート技の基本技術

(3時間目)

3：3のミニバスケットゲーム

(4時間目)

5：5のゲーム

(5・6・7時間目) バレーボール

パス、トス、スパイク、サーブの基本技術を行った後に、6人制ゲーム。

(8・9・10時間目) バドミントン

コート4面を使用して、シングルス、ダブルスのゲームを主とする。

(11・12・13・14時間目) 卓球

基本的技術と同時に、シングルス、ダブルスのゲームを行う。

(15時間目) 評価。

履修上の留意点

- 1) 定員は、50名とする。
- 2) 実技は本校第1体育館で行う。
- 3) 服装は運動の出来るもの、体育館用シューズを用意すること。
- 4) 用具は全て貸与する。

成績評価の方法

出席およびテストで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習9・10 (前期), (後期)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (3) 卓球の楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
- (4) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

また、技術課題として、以下の点に留意して行う。

- (1) フォアハンドドライブにより、連続打球ができる。
- (2) チャンスボールに対して、スマッシュによる高速な打球ができる。
- (3) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
3. サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
4. サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
5. }
} 総合練習・シングルスゲーム
8. }
} 総合練習・ダブルスゲーム
9. }
} 総合練習・ダブルスゲーム
12. }
- 13.
14. まとめ
- 15.

履修上の留意点

- 1) 定員は、50名とする。
- 2) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- 3) シューズは体育館専用のものを用意すること。
- 4) その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習12・13 (前期), (後期)	まきの野 牧 野	短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、ゲームを楽しむための基本的な技術・ルール・審判法を学び、技術・体力の向上をはかるとともに、仲間づくりを通して、運動やスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) オリエンテーション、授業内容の説明 (バスケットボール)
- (2) ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2対1
- (3) ランニング・パス、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- (4) フルコート3対2、モーション・オフense・ドリル、ゲーム (リーグ戦)
- (5) ハーフコート4対3、モーション・オフense・ドリル、ゲーム (リーグ戦)
- (6) ハーフコート2対2、3対3、ゲーム (リーグ戦)
- (7) モーション・オフense・ドリル、ハーフコート4対4、ゲーム (リーグ戦)
- (8) 実技テスト、ゲーム (トーナメント) (バドミントン)
- (9) ストロークの基本技術 (回内、回外)
- (10) オーバー・ヘッド・ストローク
- (11) アンダー・ハンド・ストローク
- (12) サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- (13) 総合練習、ダブルスのゲーム
- (14) 総合練習、ダブルスのゲーム
- (15) 実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- 1) 定員は、50名とする。
- 2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- 3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (シーズンコース・スキー)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	短国・短英選	1

講義のねらい

わが国においてスキーは、国民のスポーツとまでいわれるまでに普及し、「生涯スポーツとして楽しむことのできる種目である。将来においてもスキーを楽しむために、実習によって基礎技術を身につけるとともに練習方法やゲレンデにおけるマナーについても理解を深めたい。

実習は、スキーの技能レベルに応じて1班10名程度の班に分けて実施する。各班とも本学教員、および全日本スキー連盟指導員の指導によってスキーの基礎技術の習得を目指す。初心者、シュテムターンの習得、中・上級者はウェーデルン技術の習得および完成を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1) オリエンテーション：
平成10年1月24日（土）12：10～12：40
事前の詳細な説明をおこなう予定なので、受講生は教務部掲示板に注意しておくこと。（会場は未定）
- 2) 実習内容

1日目〈2月16日（月）〉	午前	軽井沢スケートセンター集合
	午後	各班に分かれての実習（初級、中級、上級）
2日目～4日目	午前・午後	各班に分かれての実習（初級、中級、上級）
5日目〈2月20日（金）〉	午前	各班に分かれての実習・評価
	午後	軽井沢プリンスホテルスキー場解散

履修上の留意点

シーズンコース・スキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 1) 日 程：平成10年2月16日（月）～2月20日（金）の5日間
- 2) 場 所：軽井沢プリンスホテルスキー場（予定）
- 3) 受講料：48,000円。なお、現地集合・解散なので、交通費は含まれない。
受講者は、費用を平成9年5月12日から5月23日までに経理部窓口にて納入すること。
- 4) 定 員：120名。履修希望者は、教務部窓口にて事前登録科目受付期間に受付を済ませること。
定員になり次第、受付を締め切る。
- 5) 『履修届』に関する注意：教務部に提出する『履修届』には、シーズンコース用に設定された『土曜日、8時限（後期）』に記入すること。
- 6) スキー用具とウェア：スキー用具は、現地でレンタル可能（有料）。
ウェアは、各自で事前に準備しておくこと。

成績評価の方法

実習（5日間）に参加すれば、1単位が認められる。なお、各班において実施する実技テストと実習参加態度、ならびにスキーの基本技術やマナーの理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

成績評価の方法

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部に連絡すること。実習が始まってからは、軽井沢スケートセンターホテルに必ず連絡を入れること。なお、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (シーズンコース・ゴルフ)	み ぬさ はる り 三 幣 晴 三	短国・短英選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。本講義は、大学内で行われているゴルフ授業を一步進めて、自然の中での実際のゴルフを基本からラウンドまで体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに大学内の授業やその他で体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやラウンドにおけるエチケット、さらに同伴競技者（パートナー）とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。生涯スポーツ実習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフをとおして良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション・班わけ・打席練習（7番アイアン／グリップ・アドレス・スイングの基本練習）／講義・ビデオ《ゴルフスイングの基本》
- 2日目：打席練習（7番アイアン・9番アイアン）、アプローチ練習、打席練習（ウッド）、パッティング練習／講義・ビデオ《ゴルフのエチケット・マナー》
- 3日目：打席練習（5, 7, 9番アイアン, ウッド）、アプローチ練習（PW, SW, 7番アイアン）、パッティング練習／講義・ビデオ《ゴルフルール・ラウンドの注意事項》
- 4日目：ラウンド（本コース・ショートコース）／講義《ラウンドの反省と総括》
- 5日目：ラウンド（本コース・ショートコース）

場 所：宿 泊 軽井沢スケートセンターホテル ☎0267-46-1111
練習場 軽井沢ゴルフ練習場（アプローチ練習場を含む） ☎0267-48-1211
コース 馬越ゴルフコース／和美パー3コースその他

期 日：平成9年9月8日（月）～12日（金） 4泊5日

集合／解散：現地（軽井沢スケートセンターホテル）の予定／詳細（時間：道順など）は下記のオリエンテーションで説明するので必ず出席すること。

費 用：¥48,000円（予定）※上記費用には交通費は含まれない。

納入方法：上記48,000円を、経理部窓口で、平成9年5月12日から5月23日までに納入すること。

オリエンテーション：平成9年7月12日（土）12：10～12：40 2研-101教場
※必ず出席すること。

履修上の留意点

- 1) 定員は、40名とする。
- 2) 服 装：一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
- 3) シューズ：練習は運動靴でもよいが、ラウンドはゴルフシューズが必要。特に経験者は、正式の本コースをラウンドするので、ゴルフシューズは各自で購入するか、知人に借りてくること。
- 4) ゴルフグローブ：各自で必ず用意すること。
※ゴルフクラブ・ボール・ティーは大学で用意するが、自分のものを持参してもよい。
- 5) 「履修届」に関する注意：教務部に提出する「履修届」には、シーズンコース用に設定された「土曜日、8時限（前期）」と記入してください。

成績評価の方法

出席を主体として、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中・前期)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	短国・短英選	1

テニス集中A 担当：え ぐち じゅん いち
江 口 淳 一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前 ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後 ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前 フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後 ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前 半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)
- 3日目午後 “ ” (戦術と応用)
- 4日目午前 ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後 ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前 トーナメント形式の試合
- 5日目午後 まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズ (白基調) を必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。), 授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の化学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中コース実施について

- (1) 実施期間：7月20日 (土)～24日 (水), 7/20更衣の上, テニスコート集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド テニスコート
- (4) 定 員：40名程度とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限 (前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習(集中・後期)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	短国・短英選	1

テニス集中B 担当：え ぐち じゅん いち
江 口 淳 一

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど応用技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前 フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後 ラリーの応用練習
- 2日目午前 より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後 より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3日目午前 ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後 ダブルス(平行陣への移行)
- 4日目午前 ダブルス・ゲーム(メンタル面を考慮した)
- 4日目午後 シングルス・ゲーム(メンタル面を考慮した)
- 5日目午前 団体戦形式の試合
- 5日目午後 まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズ(白基調)を必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況(出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の化学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日(土)～25日(水)、12/21更衣の上、テニスコート集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド テニスコート
- (4) 定 員：40名程度とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限(後期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習(集中・後期)	三 幣 晴 三	短国・短英選	1

ゴルフ集中 担当：三 幣 晴 三

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。本講義は、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやエチケット、さらに練習仲間とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツ実習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフをとおして良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション・打席練習（7番アイアン／グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義・ビデオ：ゴルフスイングの基本
- 2日目：打席練習（7番アイアン・9番アイアン）、アプローチ練習、打席練習（ウッド）、パッティング練習
講義・ビデオ：マナーとエチケット
- 3日目：打席練習（5, 7, 9番アイアン, ウッド）、アプローチ練習（PW, 7番アイアン）、パッティング練習
講義：ゴルフルール
- 4日目：打席練習（5, 7, 9番アイアン, ウッド）／近隣のゴルフ練習場での打席練習
講義：ゴルフラウンドの基礎知識
- 5日目：グラウンドでのコースラウンド（6ホール）

場 所：玉川校舎グラウンド

期 日：平成8年12月21日（土）～25日（水）

集 合：平成8年12月21日（土）AM10:00 玉川校舎グラウンド

費 用：練習場での打席練習代として ¥1,000円（4日目に持参すること）

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
シューズ：運動靴（ゴルフシューズは禁止する）

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

集中コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）、12/21更衣の上、玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 体 育 理 論 (前 期)	たなかよし たか 田 中 佳 孝	短 国 ・ 短 英 1 選	2

講義のねらい

日常生活を健康に過ごす事の栄養学と正しい食生活の知識を学び、特に最近その重要性が話題になっているビタミンの働きについて識る。又、ダイエットの原理と正しい方法について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目 体に必要な栄養素
- 2 時限目 ビタミンの役割とその働き
- 3 時限目 ビタミンの欠乏症
- 4 時限目 ビタミンの薬理作用について
ビタミンCは何故風邪に効くのか？
- 5 時限目 さまざまなビタミンの薬理作用
- 6 時限目 タバコの悪害とビタミン
- 7 時限目 酒の悪害とビタミン
- 8 時限目 妊娠時の食べ物について
- 9 時限目 人間は何故太るのか？
ダイエットの基本
- 10時限目 ダイエット法各論
}
- 12時限目
- 13時限目 } 身近にある体に良い食べ物
- 14時限目 }
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点

遅刻・早退・私語は認めない。

成績評価の方法

15回の授業中に4回の出席をとり、1回につき5点とする。学期末に100点満点のペーパー試験を行ない、合計で120点満点とする。成績は80点以上を「優」とするが、100点以上については全100点とする。

参 考 書 等

使った図書・文献等は授業中に知らせる。

そ の 他

講義の補助としてビデオを授業中に2～3回使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保健体育理論（前期）	むら まつ 村 松 まこと 誠	短国・短英1選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる成人病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目 オリエンテーション
- 2時限目 健康観の変遷
- 3時限目 現代の健康観
- 4時限目 健康の成立要因
- 5時限目 健康の成立条件
- 6時限目 病気の原因
- 7時限目 疾病構造の変遷と病気の予防
- 8時限目 現代の感染症
- 9時限目 喫煙と健康
- 10時限目 飲酒と健康
- 11時限目 ストレスと健康
- 12時限目 食べ物と健康
- 13時限目 運動と健康
- 14時限目 環境と健康
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点

原則として出席は取らないが、数回の小テストを行なう予定

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

参考書等

教科書は特に指定しないが、保健体育概論（保健体育部編）を参考図書とする。

Ⅱ 全学共通科目

(夜間開講)

1 宗教教育科目



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
仏教と人間	おおにしりゅうほう 大西龍峯	短仏1必	4
仏教と人間 〔再クラス〕		H8年度以降生 短 仏	
仏教と人間（前期）		H7年度以前生 短 仏	2

講義のねらい

仏教の教えが、現代人にとってどんな意味をもち、またどんな役割を果たし得るかを考えていくことが、本講座の目的です。

そこで、まず仏教の歴史的概略と基礎的教義を紹介した上で、その宗教的な意味と特質を明らかにしたいと思います。そしてそれらの教義が、現在の日本の社会に発生する人間的な問題にどう応用できるかを探ってみることにしたい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

テキスト、資料等は授業で配布します。

2 教養教育科目

(1) 人文分野



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
文 学 〔日本文学－古典－〕	やま した てつ ろう 山 下 哲 郎	短 仏	4

講義のねらい

本年度は、中世随筆文学の代表的な作品、兼好法師の『徒然草』を読む。わが国の古典文学に親しみ、その作品世界を愉しみながら読み進めていくことを目標とする。古典作品を原文で読解していくため、内容の理解にはやや努力を要するが、年間を通してできる限り多くの章段の読解を期したい。作品の時代的背景や、各章段の関連事項など、特に問題となる事柄に関しては時間をかけて、じっくりと考えていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前・後期を通じて作品の講読を行うが、前期のはじめの教講において、作品の兼好や『徒然草』という作品についての概説を行う予定である。

履修上の留意点

履修にあたっては、各自必ずテキストを用意すること。関連資料等は随時配布する。

成績評価の方法

成績評価はレポートと出席状況で行う。レポートは原稿用紙(400字詰) 5枚以上で、年度末に提出すること。なお、レポートの課題等の詳細については開講時に指示する。

教科書

テキストは以下のものを使用する。
木藤才蔵校注 新潮日本古典集成『徒然草』(新潮社 昭和52年) 2,500円

参考書等

参考書については授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
文 学 〔日本文学－近代－〕	おお いずみ まさ ひろ 大 泉 政 弘	短 仏	4

講義のねらい

昨年度(1996年)は森鷗外・北村透谷・島崎藤村など浪漫主義作家の作品を通して、明治と言う「近代社会」がいかに個を拘束し、自我が閉塞状態にあったかを講義した。本年度も、明治20年代から30年代にかけて特徴的作品を紹介しながら「社会」と「個」「自我」の問題を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

前期 「文学」という概念の説明と、日本の文学思潮とその特殊な流れの背景や明治日本固有の近代概念についておおまかに講義する。その際、具体的に作品を紹介しながら講義するが、受講生は各作品を必ず読んで講義に出席して欲しい。
後期 前期が概論的なので、後期は個々の作品を精読しながら上記テーマを考えたい。昨年度が島崎藤村の詩「若菜集」の一部で終わっているため、今年度は「文学界」「国民之友」の中から選び出して読んでみたい。

成績評価の方法

前期のレポート・後期の期末試験で総合的に評価する。

教科書

教科書は特に定めませんが、講義の中で指示した作品は必ず講義の前に読んでから出席してほしい。明治20年代の作品の中にはなかなか読めない作品もあるが、そのような場合は別として、文庫や図書館等で簡単に読める作品は必ず読んで欲しい。また、参考書も同様に講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
歴史学 〔日本近代史〕	はやし 林 あきら 彰	短 仏	4

講義のねらい

今日、我々は激しくゆれうごく時代に生きている。こうした時代に確信をもって生きていくためには、過去の激動の時代に、人々がどのような生き方をし、どんな信念を勝ち取ってきたのか、を学びとる必要がある。我々が、歴史を学ぶ理由の全てとはいわぬまでも、重要な動機の一つはそこにある。とりわけ、現代の世の中を主体的に生きたいと望んでいる人たちにとって、その気持ちはことのほか強いと思う。こういった問題意識をもちつつ、講義では近代日本史を人物史・事件史を追いながら、思想史的にとらえていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初の3～5回の講義は、歴史学入門として「歴史学の学び方」「歴史学と社会とのかかわり」等をやり、次に近代日本史を幕末から第二次大戦（太平洋戦争）までの予定で思想史的にたどることにする。その間に、何人かの人物やいくつかの事件をとりあげ、近代史の中での位置づけ、役割を講義してみたい。

履修上の留意点

要望として、ノートは各自とった方がよいと思う。質問はしてもよい。静聴して欲しい。

成績評価の方法

ペーパーテスト。

教科書

教科書はなし。

参考書等

参考文献は、講義のさいに指示する。

その他

授業の方法は、講義形式としたい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
歴史学 〔中国古代理史〕	も 茂 ざわ 澤 みち 方 なお 尚	短 仏	4

講義のねらい

中国の古代理史とは、秦の始皇帝、李斬等が活躍する以前の歴史を通観するとともに、その中国の西北方にいたとされる少数民族との関係を中心に、中国の文献等に基づく情報の稀少性に充分配慮しつつ、最近の青銅器の銘文の分析を再検討しながら、その西北方の異民族の実態に迫ろうとするものである。

それは解読困難を極める王国維、郭沫若等の研究が不可欠である。それには、古代中国の文字学（小学）的知識がどうしても必要である。

それは中国古代理史をひもとくためにも、又日常我々が使う漢字について注がれた説文学の膨大な諸成果がある。多岐茫羊の感が深い、それらの研究を無視しては、研究が進展しない。そういう小学の知識、清朝考証学に敬意を表しつつ、この幻とも思われる西北方の民族の研究にけんめいの努力を捧げた王国維やプルセックの研究を紹介しつつ、この謎に迫ってみたいと思っている。又中国古代理史の諸子百家の思想の根源にさかのぼってみたい。

教科書

『韓非子』の思想史的研究（近代文藝社）

科目名	担当者名	配当学年	単 位
歴史学 〔中国古代思想史〕	も 茂 ざわ 澤 かち 方 なお 尚	短 仏	4

講義のねらい

中国古代とは、私の場合、漢代以前を指す。その時代を含むが、私の関心は、中国の諸子百家の思想の源流を尋ねることにある。それは老子、孔子、孟子、荀子、荘子、列子、楊朱、中不害、商鞅、管子、韓非子、李悝等の活躍した春秋戦国時代に遡及して、それぞれの思想を歴史的に解明しようという願いに支えられている。果たして「道」とは何か、「常道」とは何か。「自然」とはと問題は複雑多岐にわたり、把えんとし把えきれない程深遠である。しかし私は私の関心に依って支えられている長年にわたる研究成果の一端を示して、諸君とともに、この四千年とも五千年とも言われる歴史をもつ中国の心臓部に立ち入ってみたいと思っている。

教科書

『韓非子』の思想史的研究（近代文芸社）

科目名	担当者名	配当学年	単 位
哲学 〔西洋思想の源流〕	かわ 河 たに 谷 あつし 淳	短 仏	4

講義のねらい

主に西洋思想の源流であるヘレニズムとプライズムをその哲学的原理に関して学ぶ。紀元前6世紀頃に登場した古代ギリシア哲学では概して人間と神々とは「自然」に包摂されて共存調和するものとして、また「自然」は永遠に回帰するものとして捉えられていたのに対し、ユダヤ教を母体として1世紀頃に成立したキリスト教では人間と自然は「神」の意志に服すべきものであり、創造と終末によって限られた歴史意識のうちで捉えられる等、両思潮には互いに異なる考え方が含まれていた。だが中世以降近現代にいたる西洋思想の歴史は、或る意味で両思潮の総合や対立、あるいは復活によって展開されてきたと見ることができ、両思潮は文字どおり西洋思想の源流をなしている。しかも近現代の西洋思想が今日の文明世界を規定しているという側面は否めない事実であることから、両思潮を学ぶことによって、同様に我々が現代に生きていく上で、なにがしか示唆を得ることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義では以下の内容を順次取り上げる。
- (イ) 古代ギリシア哲学——ソクラテス以前の哲学、ソクラテス・プラトン・アリストテレス、古代末期の人生論
 - (ロ) キリスト教思想——ユダヤ教とキリスト教、教父哲学とスコラ哲学
 - (ハ) 古代ギリシア哲学及びキリスト教思想の近現代における影響史

履修上の留意点

哲学や宗教だけでなく、文学（例えばギリシア悲劇）等の古典にも親しむようにすること。

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

授業中にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
哲 学 〔近代の人間観と世界観〕	伊 古 田 小 宮 山 <small>いこみやま こみやま</small>	短 仏	4

講義のねらい

ルネサンス期から18～19世紀の近代哲学における人間観と世界観を学ぶことをめざす。今日は「ポスト・モダン」の時代だということがよく云われる。それは、「モダン」つまり「近代」の考え方や制度が様々な問題を露呈してきたために、何らかの仕方ですべて「近代」を乗り越えることが求められているからであろう。しかし、他方では、「近代」の原理や制度はそう簡単に捨て去られるものでもない。「近代の超克」というスローガンには、用心してかからねばならないものもある。そもそも「近代」とは何かは自明のものではないし、絶えず問いかえされている問題である。「近代」についての正しい理解の上に立てこそ、「現代」の自己理解も誤りないものになると思われる。そこで、近代哲学において、いかに古代・中世以来の人間観世界観が改められ、そしていかなる様相で展開してきたかを、捉える必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義では主に以下の内容を扱う。
- (イ) 近代以前の人間観と世界観
 - (ロ) ルネサンス期の哲学
 - (ハ) 経験論と功利主義
 - (ニ) 合理論
 - (ホ) 啓蒙主義
 - (ヘ) カントとドイツ観念論

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

授業中にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
論 理 学 〔科学方法論と現代論理学〕	丸 山 豊 樹 <small>まる やま とよ き まる やま とよ き</small>	短 仏	4

講義のねらい

言葉をしゃべる時、文法を意識することが殆どないように、論理もまた、その存在が意識されることはあまりない。
そのような論理を取り出して、その法則性を探究するのが論理学であり、それは形式論理学と科学方法論とを含む。ここで形式論理学というのは、アリストテレス以来の伝統的論理学と現代の記号論理学を含んでいる。科学方法論は、形式論理学で扱われる演算繹法の他に、帰納法等の考察を含む。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は、①伝統的論理学 ― 概念論・命題論・推理論、②記号論理学 ― 命題論理学・述語論理学の順で扱うが、帰納推理の項等で科学方法論にも言及する

履修上の留意点

講義に対する積極的取組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

そ の 他

講義が中心になるが、問題演習の時間をできるだけ多くとることにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
論 理 学 〔科学方法論と現代論理学〕	やまもと あつゆき 山 本 敦 之	短 仏	4

講義のねらい

言葉をしるべの時、文法を意識することが殆どないように、論理もまた、その存在が意識されることはあまりない。

そのような論理を取り出して、その法則性を探究するのが論理学であり、それは形式論理学と科学方法論とを含む。ここで形式論理学というのは、アリストテレス以来の伝統的論理学と現代の記号論理学を含んでいる。科学方法論は、形式論理学で扱われる演算繹法の他に、帰納法等の考察を含む。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は、①伝統的論理学——概念論・命題論・推理論、②記号論理学——命題論理学・述語論理学の順で扱うが、帰納推理の項等で科学方法論にも言及する

履修上の留意点

講義に対する積極的取組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

そ の 他

講義が中心になるが、問題演習の時間をできるだけ多くとることにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
倫 理 学 〔西洋倫理学〕	すねき 木 すすむ ひこ彦 末 木 恭 彦 河 谷 淳	短 仏	4

講義のねらい

人間がただ生きるのではなく、「よく」生きることを目的とする生物だということは、考えてみれば不思議なことだ。両者が具体的にどう違うかと問われれば答えに困るが、我々はこの二つのことが違うということは知っているし、「よく」生きるとは、「うまく」あるいは「快適に」生きるとか、「強く」あるいは「美しく」生きることとは何となく違うのではないかと思っている。倫理学は「よいこと」あるいは「悪いこと」の意味を分析し解明する学問である。そこでは大ざっぱに言って次の二つのことが問題になる。すなわち、何が「よい」（あるいは「悪い」）のか。そして「よい」（あるいは「悪い」）とは何なのか。例えば、人を殺すことや盗むことは「悪い」ことだろうが、それらにも様々な様態があり、それらを一概に「悪い」と一言で言ってしまうことにはためらいが残るし、もしかしたら「よい」殺人というものもあるのかもしれない。また様々な事柄がともに「よい」（あるいは「悪い」）と呼ばれるのだから、そこにはそれらに共通の統一的な「何か」が生起していると考えerことは自然である。とすればそれは何なのか。一体いつから我々はこんなふう考えるようになったのだろうか。西洋ではこの種の考えが登場した古代ギリシア以来、倫理学は、哲学や神学あるいは法学など諸学問の思想的基盤として大きな役割を果たしてきた。

講義の内容・授業スケジュール

東洋思想と対比しつつ西洋倫理思想史上の考え方のうちいくつかをとりあげて解説する。

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

そ の 他

参考書は講義中に適宜指示する。

(2) 社会分野



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 白出	短 仏	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

『ポケット六法』有斐閣

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔 法 と 権 利 〕	みつ だ まさ よし 光 田 督 良	短 仏	4

講義のねらい

本講座は、「法学・憲法」と二つの標題を持ちますが、全体としては、「法と人権」というテーマのもとに講義をすすめます。人権を保障している憲法も「法」の一つです。そこで、まず、「法とは何か」ということを検討します。そのためには、できるだけ多くの「法現象」を見聞することが必要です。それは、これらについての個別分野の専門科目が多く存在する事からも理解できます。しかし、「法学」の講義が、それぞれの個別分野を概観するような内容であれば、中途半端な内容となってしまいます。したがって、講義では、これら個別分野の科目に共通する、法の一般的な、基礎的な考え方について検討します。

次に、憲法の内容に入ります。「憲法」の講義の目的は、日本国憲法の内容を、主として憲法解釈学の立場から理解することにあります。憲法の講座では、本来、日本国憲法全体を対象として検討しなければなりません。講義では、本講のテーマおよび時間的制約から、特に人権を中心に検討します。具体的には、人権の内容、限界、制限といった点が主たる内容となります。もっとも、その際、国会、内閣、裁判所などの統治（政治）機構についても、人権との関連において、人権をよりよく確保するための制度という観点から、必要に応じて、採り上げます。

「法の一般的な、基礎的な考え方」、「人権の内容、限界、制限」の検討のいうと、どうしても抽象的で、難解であると考えられがちです。しかし、抽象的な検討に終始すれば、十分な理解もできませんし、また学修する意欲、興味を損なうこととなります。そこで、講義では、できるだけ、判例など実際に起きた具体的事柄に例を求め、分かりやすく説明するつもりです。

また、人権をめぐる法現象は社会現象の一つですので、現実の社会において現在生じている事柄についても、「今」の法を考えるという意味において、関連性、必要性に応じて採り上げるつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、具体的には以下のようなスケジュールで行います。

序 法学・憲法を学ぶに当たって

- I 法とは何か
 - 1 法とは何か－法の定義
 - 2 法と道徳（関係の歴史・区別の基準）
 - 3 法の構造
 - 4 法における強制（主体・方法・意味）
 - 5 法の目的（正義・秩序）
 - 6 法の効力
 - 7 法の適用
 - 8 法の解釈

- II 憲法における人権
 - 1 日本国憲法の基本原理
 - 2 基本的人権の視角
 - 3 包括的人権
 - 4 法の下での平等
 - 5 内心の自由
 - 6 信教の自由と政教分離
 - 7 表現の自由
 - 8 経済的自由
 - 9 身体的自由
 - 10 社会権
 - 11 立法と国会
 - 12 行政と内閣
 - 13 裁判と司法

履修上の留意点

講義では、「検討する」という姿勢を重視します。したがって、受講者も、講義を聞き、板書を写し、それを覚えるということではなく、常に「考える」という態度で望んでほしいと思います。そのためには、少なくとも、教科書の講義該当部分を読んでおくことが必要です。

成績評価の方法

成績は、学年末に行う試験を中心に評価します。受講者数にもよりますが、出席をとった場合、それを平常点として評価することもあります。

教科書

I の分野については、有沢知子・光田督良・山本悦夫著 『法と社会生活』尚学社 2,060円
II の分野については、古野豊秋編 『スタンダード憲法〔テキスト版〕』尚学社 1,000円

参考書等

六法（用途に応じた種類等については開講時に紹介します）。参考書等は講義の進行に応じその都度紹介します。

その他

主として講義の形式ですすめます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 学 〔現代経済と人間〕	みょう せ まさ はる 明 瀬 政 治	短 仏	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にとっては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に抑さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

①難しいことを、あーそうか、と言わせたい

②きょうは「経済学」か、と言わせたい

そして、

③結構おもしろい(じゃん)、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りで業間チェック(クイズ)を行い、平常点として考慮します。

教 科 書

教科書は、酒井泰弘 著『はじめての経済学』(有斐閣) 1,957円を使用しますが、基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参 考 書 等

幸村千佳良 著 『経済学事始』(多賀出版)
伊藤 元重 著 『入門経済学』(日本評論社)
林 俊彦 著 『需要と供給の世界』(日本評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 学 〔現代社会を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短 仏	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題—大衆社会、高度情報化社会、高度消費社会等—を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社
学術文庫
その他授業中に適宜指示したい

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 学 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短 仏	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代文化」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して見た「現代文化」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代文化」の諸問題——文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R. ニスペット『現代社会学入門1～4』講談社
学術文庫
その他授業中に適宜指示したい

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ 杉 井 純 一 じゆん いち	短 仏	4

講義のねらい

文化人類学という学問に近づく第一歩は、まず、地球上には様々な生活を営み、独特の慣習、文化を形成している人々が存在しているという事実を改めて気づくことから始まります。文化人類学はそうした民族や文化の多様性を相互に比較することで、「人間とは何か」といった根源的な問いに答えようとするものです。例えば、人々の生活空間や神話・儀礼の分析などを通して、「人間を取りまく世界・宇宙の成りたちやしぐみ」についての観念体系を解釈していきます。

本講義では、文化人類学の基礎を最初に学び、その上で、「民族とコスモロジー（宇宙観、世界観）」についての理解を深めます。そして最後に「民族とコロモロジー」に関する典型的な事例を取り上げ、より詳細に検討します。こうした過程で、受講者の皆さんが文化人類学的な見方、まなざしを身につけていくことを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の項目を予定しています。

- I 文化人類学入門
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化とコミュニケーション
 3. 環境と経済
 4. 婚姻・家族・親族
 5. 政治と権力
- II 民族とは何か
 1. 民族とエスニシティ
 2. 民族と国家
 3. 民族と宗教
 4. マイノリティ（少数民族）
- III コスモロジーの理解
 1. 共同体と象徴的秩序
 2. 呪術と宗教
 3. 神話と象徴
 4. 儀礼と世界観
 5. 災因論と病因論
- IV 民族とコロモロジーの諸相

成績評価の方法

出席、レポート、試験の成績をもとに総合的に評価します。

教科書

特に教科書は指定しない。適宜プリントを配布します。

参考書等

1. 概説書
 - ・祖父江孝男『文化人類学入門』中公新書
 - ・村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』有斐閣
2. 民族とコスモロジーについて
 - ・吉田禎吾『宗教人類学』東京大学出版会
 - ・佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』新曜社

その他

可能な限り、ビデオを利用し、感想を問うつもりです。

科目名	担当者名	配当学年	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	あべ 倍 <small>つかさ</small> 幸	短 仏	4

講義のねらい

文化人類学は文化的に異なった諸社会を理解するべく創始された学問である。およそ100年の学史は、端的に「他者」の発見の過程であったともいい得る。テーマは「異質な人々」ということになるのだろうか、前期は我々が「異質な人々」をどう解釈し、受け入れるかあるいは拒絶するかを、後期は現代社会が直面する「文化・民族」の行方を中心に考察してゆく。みなさんがこれまで馴染んできたこれまでの学問方法——任意の社会の「病因」「異常」を見つけ、指摘してゆく——とはまったく異なる体系である。

履修上の留意点

講義中に紹介する参考書を一冊でも多く読んでください。

成績評価の方法

原則として後期に試験を行い、評価する。不安のある場合は自発的にレポートを提出すること(保険です)。テーマは文化人類学に関連するものであれば何でも構わない。形式・枚数も自由。強制ではない。

参考書等

年間を通じての参考書として『文化人類学を学ぶ』(有斐閣選書)をあげておく。他の参考書は講義の中で指示してゆく。

科目名	担当者名	配当学年	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	ほうり 尚 <small>しょう</small> 一	短 仏	4

講義のねらい

冷戦後の国際政治、国際関係の変化を具体的な事例をもとに分析、解説する。その過程で日本と外国の政治システム、政治参加の違いを検証する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、内外政治の具体例を取り上げ、国際政治の仕組み、国際社会での国益の問題、国家、民族、宗教の関わりを考察する。
年間を通して、冷戦後の国際政治の動向を適格につかめるように指導する。
若い世代が日本だけでなく、国際政治への関心を高めるよう解説する。

履修上の留意点

講義をより実りあるものにするため、学生の積極的な発言を期待する。
新聞、テレビなどを通して、日本、世界の政治情報をできるだけ知るようになってほしい。

成績評価の方法

7月、12月、2月ごろに、講義に関するテストを実施する。最終評価は論文作成とする。

教科書

教科書などは特定しない。国際政治などに関する論文などを参考資料としてプリントし、その都度配布する。

その他

教材をもとに、時にグループ・ディスカッションや学生の考え方を聞くこともある。

科目名	担当者名	配当学年	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	やま だ あつし 山 田 敦	短 仏	4

講義のねらい

政治学入門講座の1つとして、「政治を見る眼」を養うことを目的とする。副題にあるとおり、国際社会のなかで現代日本が直面するさまざまな問題点や課題を取り上げるが、いわゆる時事問題解説ではなく、出席者ひとりひとりが政治問題を考えていくための「分析の道具」を提供することがねらいである。政治学・国際政治学の理論や概念を手がかりに、今日の国際社会と日本について、各自が意見を形成していくことを望む。

講義の内容・授業スケジュール

主として以下の項目を取り上げる。詳しい授業のスケジュール表は、第1回目の講義で配布する。

1. イントロダクション
2. 「ジャパン・プロブレム」とは何か
3. 日本異質論
4. 日本ただ乗り論
5. 貿易摩擦と日本
6. 国際組織と日本
7. 日本の国際貢献

履修上の留意点

出席者の希望も取り入れて講義内容を充実させたいので、はじめにアンケートを実施する。日本政治あるいは国際政治で特に関心がある問題を2～3つ考えておくこと。授業中の質問、反論、激論を歓迎する。

成績評価の方法

中間レポートと学期末試験による。どちらも、①論旨明快であるか（発想だけで裏付けがなければ不可）、②みずからの意見を述べているか（参考書の丸写しは不可）を評価基準とする。

教科書

特定の教科書は使用しない。さらに詳しく勉強したい出席者のために、最初の講義で項目別の参考文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	くさ か やす お夫 日 下 泰 夫	短 仏	4

講義のねらい

統計学は、観測値（バラツキをもったデータ）から観測値の源泉に関する結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定などに広範に使用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と方法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 統計的方法の本質、2. 記述統計、3. 標本空間と確率、4. 確率変数と確率分布、6. 母集団と標本、7. 推定、8. 検定、9. 相関、10. 回帰

履修上の留意点

統計学は数学の一分野であり、積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

後期末に行う試験を主に、出席状況、演習を加味して評価します。

教科書

P.G. ホーエル（浅井晃、村上正康 共訳）「初等総計学」（培風館）、¥1,700。

参考書等

開講時に紹介します。

その他

重要な部分はその講義の終了の都度個別に演習を実施しますが、全講義の終了直前（12月頃）に3～4時間をかけて演習を行います。ここでは、これまでに学習した全内容に関する典型的な問題とその解答について解説し、自習のための便宜を図ります。また、モンテカルロ・シミュレーションなど、パソコンを使用したいいくつかの演習（デモストレーション）を講義内容に沿って実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会 科学 論 〔社会認識の思想〕	あ べ 部 弘 あ べ 部 弘	短 論 仏	4

講義のねらい
(方針・目標)

「社会科学」という概念はフランス革命の最中に生まれ、その後19世紀のヨーロッパ社会の発展過程の中で体系化されてきた。「社会科学」の誕生は実は「人間科学」の宣言を告げ、人間とは何か、ということ和社会との関係のなかで明らかにすることになった。そして「人間社会」を造り、発展させて行くのは他ならない自分たち「人間」なのだということを宣言したのであった。したがって「社会科学」と呼ばれる「科学・思想」は「社会認識の思想」と言われる。

この講義では「社会科学」がどのような生成・発展過程を経てきたのかを明らかにすると同時に、実際にこれまでに種々の思想家等が書いてきた古典的な「社会科学」の文献を読んでその体系を把握するとともに、講義をする講師・受講生共々それらの文献を通してそれぞれの文献が経験した社会を認識し、現在の社会を把握するとともに将来を展望することを課題とする。

講 義 計 画

I 講義

- 1 : フランス革命と社会科学論の登場
- 2 : 資本主義体制と社会科学論
- 3 : 「社会科学」の意味するもの

II 実習

- 1 : ジャン・ジャック・ルソー : 『社会契約論』(1762年)
- 2 : 福沢諭吉 : 『学問のすゝめ』(1872-76年)
- 3 : フリードリヒ・エンゲルス : 『空想から科学へ』(1880-92年)
- 4 : 渡辺洋三 : 『法というものの考え方』(1959年)

成 績 評 価
(試 験 等)

「実習」で評価する。
具体的には、四冊の文献を読み文献ごとにレポートを作成し、提出するものとし、この4回のレポートで評価する。
レポート時期は7月・10月・12月・1月とする。

教 科 書 ・ 参 考 書

「実習」で用いる文献(受講生は講義履修に当たって購入しておいてください)
『社会契約論』, 岩波文庫
『学問のすゝめ』, 岩波文庫
『空想から科学へ』, (大月センチュリーズ) 大月書店
『法というものの考え方』, 岩波新書
[参考] 阿部弘 : 「社会科学」について, 駒澤大学経済学会『経済学論集』Vol.20-No.3
阿部弘 : 市民と経済学, 『祝禱 文化講演集』第八輯, 駒澤大学, 1996.12

そ の 他

講師との連絡が便利のように、連絡先を掲げておく。
研究室 : 第2研究館5F : No.2538 / 電話 : 03-3418-9360
講師の住所 : ☎179 練馬区光が丘6-1-4-204 / TEL 03-3976-7984

(3) 自然分野



科目名	担当者名	配当学年	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	短 仏	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。
授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鍵として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。
- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
 - ② 自分や他人の性格を理解する。
 - ③ 自分の性格形成史をふり返る。
 - ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
 - ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
 - ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。
毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版, 1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——, ナカニシヤ出版, 1,600円

科目名	担当者名	配当学年	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	短 仏	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。
自分のことは自分が一番良く知っているようでいて、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。
本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。
- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
 - ② 自分や他人の性格を理解する。
 - ③ 自分の性格形成史をふり返る。
 - ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
 - ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
 - ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。
毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版, 1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——, ナカニシヤ出版, 1,600円

科目名	担当者名	配当学年	単位
生物学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村 敏 枝	短 仏	4

講義のねらい

地球が誕生してから現在までを30センチの物差しであらわせば、人類の歴史は1ミリメートルにも満たない。その人類が、いま地球の支配者のようにふるまって、ほかの生物を圧迫している。実際、1,600年以降、1,000種以上の種が地球上から姿を消してしまった。「現在、動物500種、植物4,000種が絶滅の危機にある」と、95年11月国連環境計画は発表した。このような状態が続き、自然も失われていったとき、独り人類の繁栄は期待できるのだろうか。

間違いなく、地球は将来人類絶滅の瞬間を用意している。人類にそれを避ける手段はない。できることは、その瞬間をどれだけ先に送るかだけなのだ。人類が救わなければならないのは「病んだ地球」、「傷ついた地球」ではなく人類自身である。守らなくてはならないのは、人類の生存が可能な現在の地球環境である。現在の私たちの生活のありかたが、人類史の長さを決定する。将来の世代のために私達はどうすべきなのか一緒に考えましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 生物の生活：生命の維持・植物の物質生産・動物の個体群・社会・行動
2. 生態系：物質の循環・エネルギーの流れ
3. 人間による環境破壊：オゾン層の破壊・地球温暖化・酸性雨・化学物質汚染など（これらのうちの幾つか）

そ の 他

教科書は未定。参考書はその都度紹介します。期末試験と平常点とで総合評価をします。意見発表の機会を設けるので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
生物学 〔生態と進化〕	しみずよしかず 清 水 善 和	短 仏	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後で連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しているわけであり、進化を抜きにして生物を理解することはできない。一方でこの地球上には現在1,000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。この生物の多様性が生物を理解するもう一つのカギである。さらに、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。本講義では生物の進化や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げる主な項目：進化と遺伝子、進化論と総合進化説、進化のタイムテーブル、動物の系統、植物の系統、種の定義と属性、種分化と絶滅、生物多様性、分子進化、人類の進化、生態系、食物連鎖と生態ピラミッド、物質循環、生態的地位、植生帯、植生遷移、個体群の動態、共生、都市と生物、など。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜紹介する。

そ の 他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
コンピュータ基礎 〔コンピュータと情報〕	み よ し げ あき 三 好 重 明	短 仏	4

講義のねらい

コンピュータとは何かという問いから始めて、実習を交えながらコンピュータというものについて概説していく。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとは何か、その構成要素は何か、シリコンや金属の塊に過ぎないコンピュータがどういう仕組みで計算できるのか、コンピュータの動作原理（アルゴリズム）はどういうものか、プログラム言語とは何であってどうして必要なのか、ハードウェアとソフトウェア及び応用ソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング、論理代数と論理回路、情報の表現、等の簡単な解説の後に実際にコンピュータを操作する実習として簡単なプログラムを書き（プログラミング）、それをコンピュータに実行させることをやりたい。時間が許せばワープロや表計算などの応用ソフトウェアの実習も行えるかもしれない。プログラミングにはPASCALと、余裕があればCも使ってみたい。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び演習（授業時間中に適宜行う）によって行う。

教 科 書

講義の初めに指定する予定である。

そ の 他

実習のため計算機室で講義を行うが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
コンピュータ基礎 〔コンピュータと情報〕	たけだ よういち 竹 田 洋 一	短 仏	4

講義のねらい

今日の情報化時代、コンピュータが我々の社会において果たす役割はきわめて重要なものとなっております、この技能を少しなりとも有することは特にこれからの若い世代にとってはほとんど不可欠であるとみなして良いであろう。本授業の目的とするところは、未経験の初心者を対象にして、①コンピュータに関する最低限の基礎的知識、並びに②将来必ず必要になる代表的なビジネスソフトの操作経験、を身につけてもらうことにある。とはいえ堅苦しく考えるには及ばない。基本的な姿勢として、無味乾燥な学問的知識を強いて覚え込ませるといふ形はなるべく取りたくはない。むしろ「習うより慣れろ」に重点を置いて、パーソナルコンピュータ(PC-9801FA)を実地に操作する演習を中心に据え、「コンピュータとはこんなことまで出来るんだ!」といった感動を一人一人が自分自身の感覚で味わってもらいたいものと願う次第である。

講義の内容・授業スケジュール

この基本的指針の通り、次のような実際上の目標を設定して授業を進めたいと思っている。まず最初は、現在もっともポピュラーになったパソコンのオペレーティングシステムの代表格であるウィンドウズ(MS Windows 3.1)に親しみ、習熟することを目指す。タイピングや日本語入力などのキーボードの操作、マウスを用いたウィンドウズの基本的テクニックから初めて、ファイル並びにディレクトリの取り扱い、フロッピーディスクへのデータの読み書き、オンラインヘルプの利用法、などをまず学習する。そしてウィンドウズ付属の簡易ワープロと描画ソフトを用いてデータの交換と貼り付けの手法を学び、絵入りの文書が作成できるまでの基礎を身につける。

しかる後にビジネスソフトパッケージの代表格であるマイクロソフト社の「OFFICE」に含まれる各ソフトを用いての実習に取り組む。前期は主に表計算ソフトの「EXCEL」を扱うことにする。基本的な帳簿計算やグラフ作成の手法を学習することで、如何にこの種のツールが実際のビジネスにおいて便利なものであるかを自分自身で体験してもらいたい。後期は「データベースの取り扱い」をメインテーマに据えたい。前期で慣れたEXCELに加えて、高機能のデータベースソフト「ACCESS」を用いて大量のデータの取り扱いと整理の仕方を学ぶ。できれば最終的には、初歩的なレベルのプログラミング(EXCELやACCESSの基本言語である Visual Basic for Application で簡単なマクロを組んだり短いモジュールを書いたりすること)によって、独自のシステムやインターフェイスを作ることのできる段階にまで到達してもらいたい。

履修上の留意点

先にも述べたように初心者を対象とするので特に予備知識の必要性はないが、折に触れて課題や宿題を出すつもりであるので授業以外でもパソコンの使用が必ず必要となるであろう。そのためには情報教育センターの自習室のパソコン群があるので、センターにこの利用のための登録(登録料1,000円)をする事はほとんど必須であるものと理解されたい。

成績評価の方法

各人の成績は、一年を通しての出席の様子、課したレポートや課題の提出状況と出来具合、おのおの前期後期の終わりに行う計2回の試験の点数、などにに基づき総合的に判断して決定する。

教科書

本年の授業では決まった教科書は特に用いない。しかし毎回授業の際にプリントを配布する予定である。

参考書等

一方各人の興味、レベルに応じて自分に合った参考書を購入することは積極的に勧めたい。これについては開講後適宜紹介する。

その他

授業は、ひと月のうち1回は講義室での講義、残りの3回(ないしは4回)はパソコン室での実習と解説、という割合で進めたい。なお、実習室のパソコンの台数が限られているため、受講者数は約80名が上限である。従って受講希望者が多い場合は選考をせざるを得ないので、その旨理解されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 球 科 学 〔自然景観の成立ち〕	うるし ばら かず こ 漆 原 和 子	短 仏	4

講義のねらい

地球の陸地形成の歴史を説明し、日本の位置の特色を明確にする。また、地球をとりまく大気の変化の歴史をたどる。そして今日の地球の人間活動について考察をする。講義の骨子は次のとおりである。

- 1) 世界の陸域と日本列島の成り立ちについて論じ、日本列島の世界的位置づけをおこなう。
- 2) プレートテクトニクス観点から日本の地殻変動について説明する。
- 3) 第四紀における気候変化と人類の進化、海水準変動について述べる。
- 4) 歴史時代の気候変化とそのメカニズムについて述べる。
- 5) 人間活動によって引き起こされた地盤沈下、土砂崩れ、海岸侵食などについて述べる。

成績評価の方法

期末テスト、レポートによって行う。

教 科 書

貝塚爽平：日本の地形，岩波新書，G38，480円。

そ の 他

講義を原則とする。適宜スライド、プリントの配布をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 球 科 学 〔自然景観の成立ち〕	むら た あき ひこ 村 田 昌 彦	短 仏	4

講義のねらい

現在、地球は強化した人間活動により、その様子を変えつつある。例えば、大気中での温室効果気体の増加、オゾン層の破壊などである。一方で地球は、人間が地上に現れる以前から、様々な環境の変動を経験してきた。この環境の変動をみることは、現在おこりつつある人間活動による環境改変の程度を評価するうえで、重要なことである。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、古環境との比較の中で、現在の地球環境問題をとらえていくこととしたい。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点。

教 科 書

教科書はなし。

参 考 書 等

参考書等は随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然環境論 〔環境と自然保護〕	し 清 みず 水 よし 善 かず 和	短 仏	4

講義のねらい

南極大陸上空のオゾン・ホールは年々拡大の傾向にある。最近の異常気象の頻発は地球の温暖化とつながりがあるのではないかと疑われている。ヨーロッパや北米の針葉樹の森を禿げ山にした酸性雨は日本でも各地の森林を枯らし始めているらしい。増え続ける自動車の排気ガスによる大気汚染は相変わらずで、スギ花粉症の急増との関係も指摘されている。河川や湖沼の水質改善も頭打ちで浄水器やペットボトル入り飲料水の人気は当分続きそうである。都会をあふれたゴミの山は地方の山林を荒し回っている。何百年も管理が必要な原発や核兵器から出る放射性廃棄物もたまる一方である。熱帯林を中心に世界の原生林が伐採され、絶滅に瀕する動植物が急増している。道路、住宅、ゴルフ場などの開発により日本人に親しまれてきた里山や田園の風景が急速に失われている。私たちははたして次の世代に健全な自然環境を引き継ぐことができるのだろうか。本講義では自然環境に係わるさまざまな問題を取り上げ、関連する自然科学分野の基礎知識を復習した上で、その歴史的背景、発生のメカニズム、人間や他の動植物に与える影響、問題解決の取り組みなどを概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げる主な項目：地球環境の成立、生態系と物質循環、地球の温暖化、オゾン層の破壊、大気汚染と酸性雨、ゴミ問題、上下水道と水質汚染、公害の歴史、生物の多様性、熱帯林の破壊、森林の効用、捕鯨をめぐる論争、保全生物学、自然保護の制度と施設、環境倫理など。

成績評価の方法

テスト、レポートと出席により評価する。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

板書中心の講義形式。必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	しの 篠 はら 原 まさ 正 お 雄	短 仏	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質環境においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は地球環境の支配的な要因である太陽放射とその役割について学ぶ。太陽放射の変動、地球軌道の変化、太陽放射を受ける側の大気、海、生物の役割を学び、金星などと比較しながら、地球温暖化の問題を考える。

後期は、オゾン層、自然放射線、太陽磁場・地球磁場と宇宙線、月の影響、地球の過去と未来等のテーマを取り上げる。

成績評価の方法

学期末に行う筆記試験により、平常点を加味する。

参 考 書 等

『環境の科学』学会出版センター その他、講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
情 報 数 学 〔 情 報 と 論 理 〕	三 好 重 明 み よ し げ あ き	短 仏	4

講義のねらい

この講義では、コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際の数学的部分の基礎についての解説を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

したがって、基本的な数学の言葉の説明から始めて、論理代数と論理回路、アルゴリズムとその存在、計算量の問題、等を解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教 科 書

講義の初めに指定する予定である。

外 国 語 科 目



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	おか ざま とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	短 仏 1 年	2
英 語 I 〔 再 ク ラ ス 〕		短 仏 2 年	

講義のねらい

文化相対論の「異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する」という観点からは、異文化についての学習の意義が理解されます。また、「外国語を学習することによって、母国語の限界が越えられる」という言語相対論によって英語学習の必要性が確認できるとおもいます。さらに、今日の言語発達史は、母国語を学ぶ子供は、6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得することを明らかにしています。従って、大学の語学教育は、人間の能力の十分な開発と完成を目指す教育の発達段階にある学生たちにとって必須の教育過程であるといえます。それ故、授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密かつトータルな読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

授業では、読解の過程で文法・文の構造について適宜解説することによって、テキストの内容の正確な理解を目指します。理解を深めるために必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50％）、前期試験に代わる夏季レポート（25％）、後期試験（25％）による総合評価とします。

教 科 書

『ダーウィンとその時代』鶴見書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	いし はら こう さい 石 原 孝 哉	短 仏 2 年	2

講義のねらい

日常的な言葉による英語の総合的運用能力の向上を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

新聞英語に代表される日常的な文章を読解する能力を身につける。練習問題を通して応用能力を向上を向上させる。

履修上の留意点

授業は演習方式でおこなうので、必ず十分な予習をしてくること。出席を重視する。

成績評価の方法

試験は中間、期末の2回。ほかにレポート、小テスト、平常点を重視する。

教 科 書

- a. 『Sketches of Life』三修社 1,400円
- b. プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅰ	しばのひろこ 柴野博子	短仏1年	2
ドイツ語Ⅰ 〔再クラス〕		短仏2年	

講義のねらい

この授業は、ドイツ文法の最も基本的な事柄のみを集中的に教え、ドイツ語の大枠を掴ませることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の文法は体系的に構成されていますので、ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に三回行います。この三回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ』、三修社、1,550円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語Ⅰ	やぎあけみ 八木明美	短仏1年	2
フランス語Ⅰ 〔再クラス〕		短仏2年	

講義のねらい

フランス語の基本的な文法を一年間で学習すると同時に、読む・書く・話す・聞くという総合的な練習をできるだけ多く取り入れてゆく予定です。毎回必ず宿題を出し、小テストも行います。新しい語学を理解し習得するためには、たゆまず努力し続けなければなりません。

履修上の留意点

週一回の講義には積極的な態度で出席して下さい。また、各自が徹底的に復習し反復練習することを望みます。

成績評価の方法

成績評価は、期末試験（年間2回）の結果を重視すると考えて下さい。

教科書

『青い風船』朝日出版社

参考書等

授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅰ	みやもとあつこ 宮本厚子	短仏1年	2
中国語Ⅰ 〔再クラス〕		短仏2年	

講義のねらい

中国語の初歩を学ぶ。ローマ字を用いた発音記号（ピンイン）の習得、簡単な構文と基本的な語彙を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

初歩の学習において、最も重要であるのは発音であると考え、また自習の難しい部分であると思われるので、講義の際も発音に重点を置くことになろう。

成績評価の方法

出席とテストの成績の両方で評価するので、まじめに出席することが望まれる。テストは前後期末に各一回。学期中に小テストを適宜行う。

教科書

竹島金吾・児野道子 改訂版『中国語123』白水社 2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅰ	にわしょういち 丹羽昌一	短仏1年	2
スペイン語Ⅰ 〔再クラス〕		短仏2年	

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音練習に重点をおき、ついで音読と初歩的な文法を習得する。

履修上の留意点

第二外国語の学習には日頃かなりの努力と根気を要する。その点をわきまえ、漫然とした気持で履修届をだすことのないよう、老婆心ながら一言。

成績評価の方法

期末試験の結果以上に、平常の学習態度を重視する。

教科書

石原忠佳他著『コミュニケーションのスペイン語』大学書林

参考書等

辞書を購入のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	短 仏 1 年	2
ロ シ ア 語 I 〔 再 ク ラ ス 〕		短 仏 2 年	

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておろかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

戸辺又方『1年生のロシア語』白水社(¥1,400)

参 考 書 等

露和辞書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	イセトープ, S. B.	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

The aims of this course are to develop listening comprehension and knowledge and practice of simple oral expressions for communication. Students are expected to acquire a basic ability to understand and talk with English native speakers and to be able to express basic day to day needs. For example, they should be able to deal with practical conversational situations such as meeting people, shopping, following directions, talking about present and future activities, health problems, etc.

In order to achieve these aims, the textbook, "prime Time English" will be used together with the accompanying cassette tapes. The emphasis in this textbook is on oral practice, stimulating pair work and group work activities and a variety of listening exercises. Supplementary listening material, role-playing and dictation will also be introduced in this course.

Regular attendance is necessary. Student assessment will be based on attendance, homework and classroom assignments, class participation and periodic testing.

教 科 書

"Prime Time English" (Student Book) by michael Rost Long man Publisher

保 健 体 育 科 目



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論（前期）	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

我々日本人は世界一の長寿を誇っているが、ほんとうに健康で活力に満ちた生活を送っているのだろうか。最近のデータによれば体格は非常によくなったけれども、それに反して体力は低下している。それでどのような生活をし、体力の増強を計らなければならないかを中心に講義を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代生活の身体活動、余暇と運動
2. 体力の定義、時代の変遷と体力
3. 運動を起こす身体のしくみ
4. 運動を持続する身体のしくみ
5. 運動の継続体験に対応する身体の変化
6. 体力の指標と運動の激しさの尺度
7. 体力トレーニング理論
8. 体力、運動能力の個人差と素質
9. 運動と外気環境
10. 運動と心理的要因
11. 運動と食事・薬物
12. 運動と疲労
13. ドーピング論
14. エイズ問題
15. オリンピック論

履修上の留意点

出席50%以下の者は採点の対象にしない。

成績評価の方法

出席30%，テスト70%で評価する。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

「保健体育理論」「体力論」「人間と健康」

そ の 他

主として講義で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりで考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義の内容から、自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方についての理解を深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限 オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限 人間と健康 (心と体、現代病)
- 3 時限 " (心と体、ストレス)
- 4 時限 " (心と体、肥満とダイエット)
- 5 時限 体力とトレーニングの方法 (基礎的な体力要素)
- 6 時限 " (体力要素の特徴)
- 7 時限 " (トレーニング方法)
- 8 時限 スポーツ運動の理論 (スポーツ運動の特徴)
- 9 時限 " (運動の上達、習熟とは)
- 10 時限 " (運動の発達)
- 11 時限 " (スポーツにおける右と左)
- 12 時限 " (イメージトレーニング)
- 14 時限 まとめ
- 15 時限 試 験

履修上の留意点

授業において扱う内容、知識として聞くだけでなく、自分の身近な、そして具体的な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

成績評価の方法

授業最後の試験と出席を加味して成績評価を行なう。

教 科 書

駒沢大学保健体育部編『保健体育概論』カズサ出版部、1,700円

参 考 書 等

授業内容と関わりのある以下の書籍を参考図書として上げておきたい。

- 1) 芦原 睦著『心でおきる身体の病』講談社ブルーバックス 760円
- 2) D. チョプラ著『パーフェクトヘルス』ダイヤモンド社
- 3) 白石 豊著『スポーツ上達の基礎理論』自由現代社 1,200円

そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらおう場合もある。また、バイオフィードバック装置 (脳波測定装置) 等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔卓球〕	みや ぎわ さい まく 宮 沢 栄 作	短仏1・2選	2

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは益々減少しつつある。このような生活環境特に二部学生に対して例え少ない時間であっても、卓球を通じて身体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1時間目)
オリエンテーション、目標の説明
- (2時間目)
ラケットの種類の特長、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- (3時間目)
サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- (4時間目)
サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- (5時間目)
サービス、バックハンド
- (6時間目)
サーブレシーブ、バックハンド
- (7時間目)
総合練習
- (8時間目)
総合練習、シングルスゲーム
- (9・10・11時間目)
シングルスゲーム
- (12・13・14時間目)
ダブルスゲーム
- (15時間目)
まとめ、テスト

そ の 他

服装は運動義、体育館用シューズ
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔トレーニング&ニュースポーツ〕	おお いし たけ し 大 石 武 士	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシンがなくてもできるメディシンボールやユニットダンベル等、簡単な器具で行う体力づくりを正しく行い、現在及び将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、ニュースポーツとして現在静かなブームをおこしている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラを余暇ゲーム感覚で行い、楽しみながら生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 オリエンテーション
- 2 トレーニング・スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 トレーニング・スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 トレーニング・スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 トレーニング・スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 トレーニング・スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 トレーニング・スポーツチャンバラ：審判規則・ゲーム
- 8 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 9 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 10 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 11 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 12 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 13 まとめ
- 14 まとめ
- 15 テスト

履修上の留意点

- 1) 定員は40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席率70%，総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔バドミントン〕	ひろ 谷 五 郎	短仏1・2選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時間目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時間目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時間目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時間目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時間目：同第2日目
- 7 時間目：同第3日目
- 8 時間目：同第4日目
- 9 時間目：同第5日目
- 10時間目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時間目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時間目：同第2日目
- 13時間目：同第3日目
- 14時間目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時間目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服 装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントン・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔バドミントン〕	み ぬま はる み 三 幣 晴 三	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時間目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時間目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時間目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時間目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時間目：同第2日目
- 7 時間目：同第3日目
- 8 時間目：同第4日目
- 9 時間目：同第5日目
- 10 時間目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時間目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時間目：同第2日目
- 13 時間目：同第3日目
- 14 時間目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時間目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服 装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントン・シャトルコックは大学で用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 〔卓球〕	まる やま せい いち 丸 山 精 一	短仏1・2選	2

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは益々減少しつつある。このような生活環境特に二部学生に対して例え少ない時間であっても、卓球を通じて身体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1時間目)
オリエンテーション、目標の説明
- (2時間目)
ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- (3時間目)
サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- (4時間目)
サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- (5時間目)
サービス、バックハンド
- (6時間目)
サーブレシーブ、バックハンド
- (7時間目)
総合練習
- (8時間目)
総合練習、シングルスゲーム
- (9・10・11時間目)
シングルスゲーム
- (12・13・14時間目)
ダブルスゲーム
- (15時間目)
まとめ、テスト

そ の 他

服装は運動義、体育館用シューズ
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔空手道〕	わ だ じつ まさ 和 田 實 正	短仏1・2選	2

講義のねらい

この科目は、体育実技の一つの種目であり、空手道の技を運動要素として体育授業を行う科目です。

空手道は、技術的には身体の手の前指先から足の指先までの殆どの関節と筋肉を用いて、体の伸縮・力の強弱・技の緩急を心がけながら前後左右に進退する。所謂全身運動です。また精神的には、対人の格闘技に伴う緊張と集中、信頼と礼儀及び闘志と自制の心の修養が空手道実践に内在しています。

この空手道の特性を生かして、現在及び将来の健康の維持・増進、身体の均衡ある発達及び自律の精神の育成のための一つの方法を体験してもらうために体育実技の授業に叶うよう空手道の技を組み立てて行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

空手道の授業は、1期の授業回数は15回の予定です。

その展開は、

1. 空手の技の説明 突き・蹴り・受け・立ち方・動き方など。
2. 拳の握り方・正拳の突き方の実習。
3. 騎馬立ち・前屈立ちによる逆突き。
4. 前屈立ちによる逆突きと足の運び。
5. 前屈立ちによる全身と順突きの要領。
6. 足の移動、腰の動き及び突きの三つの動きのまとめ方。
7. 対面して順突き。間合いを測る。
8. 鋭い出足、正確で速い突きの出し方。
9. 体の伸縮・力の強弱・技の緩急実習
10. 受け技 上段揚受け
11. 基本一本組手 上段突きと揚受け。
12. 受け技 中段外受け
13. 基本一本組手 中段突きと外受け。
14. 反復練習
15. テスト 達成度を評価の一部とする。

履修上の留意点

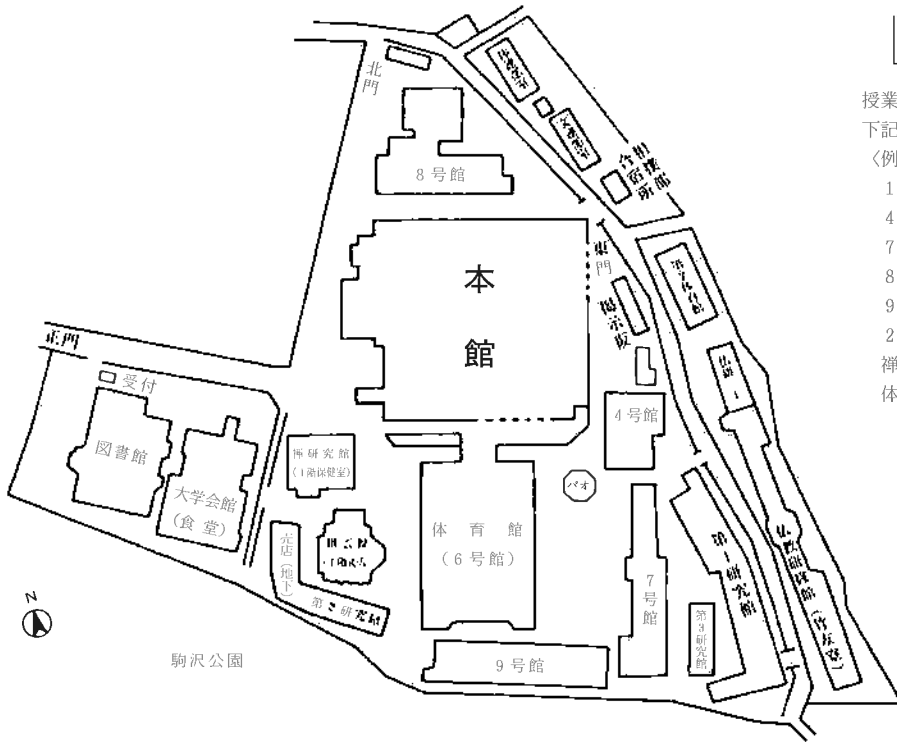
実技科目であるので、出席して実績することが重要である。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況を主として行う。

駒澤大学の構内図

駒澤短期大学の構内図



教場案内

授業時間表に載っている教場は下記のように見て下さい。

〈例〉

- 1-301 本館(1号館)3階
 - 4-204 4号館2階
 - 7-110 7号館1階
 - 8-150 8号館1階
 - 9-390 9号館3階
 - 2研-101 第2研究館1階
 - 禅研-201 禅研究館2階
 - 体育館 体育館2階
- (ただし選択種目により第2体育館になる)

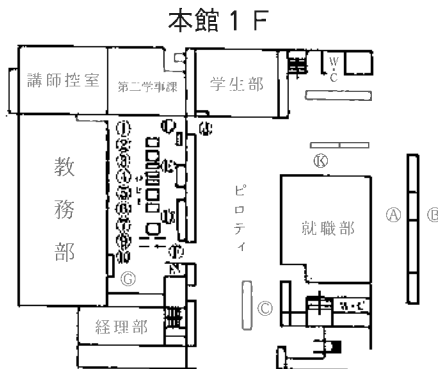
掲示

- Ⓐ第1掲示板(表面)
公示・告示・学生部・就職部関係連絡事項、教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項、その他
- Ⓑ第2掲示板(裏面) - 臨時掲示板 -
教務部関係連絡事項(12月~3月) 就職部関係連絡事項(8月)
- Ⓒ第3掲示板 - 臨時掲示板 -
教務部関係連絡事項(12月~3月) 就職部関係連絡事項(4月~11月)
- Ⓓ休講掲示板・ビデオ教場使用一覧(当日)
- Ⓔ証明書自動発行機・教場変更掲示板
- Ⓕ授業時間表カウンター
- Ⓖ大学院・留学生関係掲示板
- Ⓖ国際センター掲示板
- Ⓘ留学生専用・海外留学掲示板
学外諸機関からの案内・募集広告等
- ⓫第2部休講掲示板
- ⓫第2部掲示板
- ⓫第2部学生掲示板

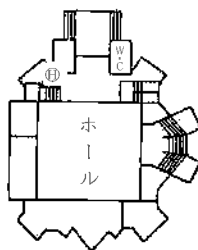
各事務室・掲示板配置図

教務部窓口

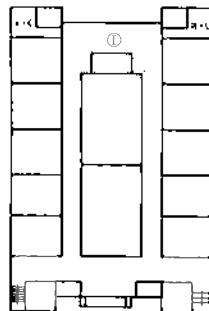
- ①教職課程
学校図書館司書教諭講座
- ②博物館学講座
社会福祉主事講座
社会教育主事講座
- ③科目等履修生 聴講生 卒業証書
- ④証明書関係
(健康診断書は学生部)
- ⑤諸届願
休学・復学・退学・死亡
改氏名・本籍地変更・
住所変更・保証人変更
- ⑥大学院関係・留学生関係
卒業論文(仏教学部・文学部)
- ⑦転部転科
- ⑧履修・試験・成績・学業相談
学部演習(仏教学部・経済学部
法学部・経営学部)
- ⑩時間割変更・休講・外国語指定届



耕雲館2F



体育館1F



第二学事課窓口

学生係	教務係
⑦	④
⑥	③
⑤	②
	①

- ①教職課程・聴講
- ②履修相談・時間割・休講
- ③履修届・試験・学業成績
- ④証明書(教務関係)
- ⑤課外活動・身分証明登録・学生相談
学生証再交付
- ⑥会計・短期貸付・奨学金・諸届願
- ⑦証明書(在学関係)・アルバイト・遺失物

